Defi SPORTS NV

DF09801 取付･取扱説明書

Operation & User's Manual

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

●ご使用になる前に必ずこの「取付･取扱説明書」と「製品ガイド」「保証書」をよくお読みのうえ内容を理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

●特に「安全上のご注意」「使用上のご注意」「製品の取り付け」に記載事項は必ずお読みください。

●本製品は、日本国内専用品です。海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

●本製品は、12V車専用です。

●事故防止のため、運転中、本製品のテレビや動画を見たりなど、または注視、操作は絶対にしないでください。

●事故防止のため、実際の交通規則や道路状況に従って走行してください。

●法定速度内で、周囲の状況を確認し、安全運転してください。絶対に競うような運転や危険走行は、しないでください。



本製品をお買い上げいただき
誠にありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分内容を理解した上で取り付けや操作を行ってください。特に、安全上のご注意は必ずお読みください。
また、お読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

目次

chapter 01　はじめに

chapter 02　製品概要

chapter 03　Sports&ECO Cluster

目次

chapter 04　ナビゲーション機能：地点検索

chapter 05　ナビゲーション機能：ルート探索・案内

chapter 06　ナビゲーション機能：登録管理

目次

目次

chapter 11　データベースについて／故障かな？

はじめに（お客様・取り付け業者様へ）

お取り付け、ご使用の前に行っていただくこと

●本体および付属品が全て入っているかをご確認ください。

●お取り付け、ご使用の前にこの取付・取扱い説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとはいつでも見れる、取り出せるところに必ず保管してください。

●本体を車両に取り付ける前に、付属のＡＣアダプターを接続し、内蔵ボタン電池を充電してください。
※充電されずにそのまま車両に取り付けると、イグニッションオフ後、ＧＰＳ情報が初期化され、メーター画面やナビゲーション画面での時計表示や現在位置が正しく表示されないなど使用条件件によって正しく動作しないことがあります。（充電方法：P36 参照）
※初期立ち上げ時は、必ず５～１５分程度GPS情報を取得するのに時間がかかります。故障ではありません。
※内蔵のボタン電池は充電式です。3日以上使用しないと電池容量が減りGPS情報が初期化されることがあります。充電すれば機能は復帰します。
※内蔵ボタン電池は充電式電池です。経時劣化、使用環境により充電性能が変化します。充電しているが、イグニッションオン後、GPS情報(時計表示や現在位置）の取得に時間がかかるようでしたらお買い上げいただいた販売店経由で弊社までボタン電池交換の依頼をしてください。（有償交換）

●本製品は車両情報を表示する機能を搭載しております。本製品お取り付けの前に本取扱説明書、及び取り付ける車両のメーカーが発行している整備解説書、配線図に示されている内容や安全に関する注意事項をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けいただけますようお願いいたします。また、本製品(および本製品が取り付けられている車)を他の人に貸し出したり譲渡する場合は、取扱説明書及び保証書も必ずお渡しください。

なお、最新のエンジンコンピュータ配線図は当社ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

http://www.nippon-seiki.co.jp/defi/

●本製品の仕様や本書は、製造・梱包時の情報や法規に則って制作されています。

●本製品の仕様や画面表示、外観、本書内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

●イラストはイメージです。画面の色などは実際と異なる場合がありますのでご了承ください。

●本製品は防水仕様ではありません。

免責事項

●お客様、または第三者が本製品の使用を誤ったとき、静電気や電気的なノイズの影響を受けたとき、故障による修理のときなどに、登録されていた内容が変化・消失した場合、当社は補償を行いません。

●事故時や業務用で使用されている場合の損害についての補償は行いません。

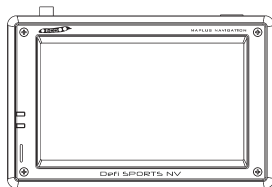
●本製品の使用、または使用不能による付随的な損害（事業利益の逸失、記録内容の変化や消失など）に関して、当社では一切の責任を負いかねます。

●お客様が本体やmicroSDカードへ登録された個人情報（登録地点など）は、お客様の責任において管理を行ってください。特に本製品を第三者へ譲渡、廃棄する場合は、お客様の責任において消去等の処置を行ってください。当社では登録された情報による損害について、一切の責任を負いかねます。

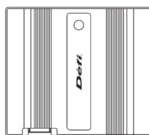
●本製品は日本国内向けに製造されたものです。海外ではご使用になれません。

構成部品（取り付け業者様へ）

●本体および付属品で、下記部品、数量が全て入っているかをご確認ください。



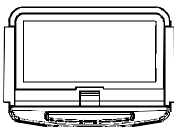
SPORTS-NV本体　1ケ



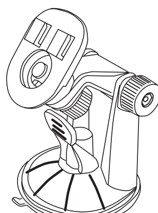
コントロールユニット　1ケ



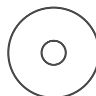
取付・取扱い説明書　1部



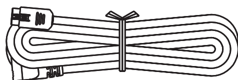
クレードル　1ケ



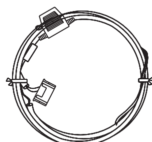
回転型スタンド　1ケ



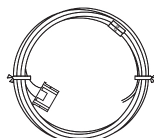
ベース吸着板　1ケ



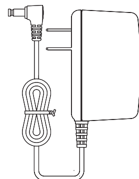
通信ケーブル　1ケ



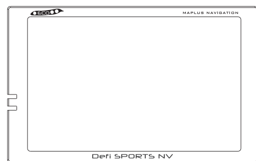
電源ハーネス　1ケ



車速・エンジン
回転数信号ハーネス　1ケ



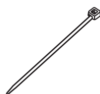
ACアダプター　1ケ



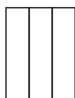
トップパネル　1ケ



両面テープ❶　1ケ



タイラップ　1ケ



両面テープ❷　1ケ



ピタック　1ケ



車種別接続ガイド　1部

安全上の注意（取り付け業者様へ）

安全・取扱いに関するご注意【必ずお読みください】

本製品及び取付・取扱説明書（本書）では、本製品を正しくお取り付け、お使いいただき、ご使用者や周囲の人々が事故や危害、損害を負うことなく、本製品を安全に使用していただくために、様々な表示や注意事項の表示を行っています。

本書では、取扱いを誤った場合などの危険の程度を「危険」「警告」「注意」の3つのレベルで分類しています。また、本製品を安全に正しくお使いいただくために必ず行っていただきたい事項と、守っていただきたい事項を「確認」として分類しています。内容をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けください。

⚠危険	取扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負うことがあり、かつその切迫度合いが高いことが想定される場合。
⚠警告	取扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害の発生が想定される場合。
確　認	「必ず行っていただきたい事」、「必ず守っていただきたい事」を示しています。

注意内容の性質表示

⚠	⚠は、注意（警告を含む）をしなければならない記号です。
🚫禁止	🚫は、行為を禁止する記号です。（絶対にしてはいけない事です。）
❗強制	❗は、行為を指示する記号です。（必ず行っていただく事です。）

■取付作業をする前に（取り付け作業者様へ）

⚠危険

❗ 作業を行う時は必ず車が動き出さないような措置をし、エンジンを停止してから行ってください。作業中に車が動き出したり、火災の原因になり大変危険です。

❗ 配線作業中は必ずキーシリンダーから鍵を抜き、バッテリーのマイナス(－)ターミナルを外してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。

⚠ シートベルトやエアバックなどの安全装置や、エンジン、ステアリング、ブレーキなどの走行性能と直接関係する部位のハーネスの加工時および配線の接続時(ネジの脱着など)は誤配線に十分注意してください。車両不具合による事故や火災の原因となり大変危険です。

❗ 配線の接続はハンダ付けを行うか、又はエレクトロタップかギボシを使用し、接続部の絶縁を必ず行ってください。また、配線に衝撃やテンションがかかるところは、緩衝材やコルゲートチューブなどで保護してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。

❗ 電源配線時、電源ハーネスに断線がないか、または断線しかかっていないか確認してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。

電源配線時、IGN ハーネス接続ラインの車両側に 30A 以下のヒューズがあることを確認してください。30A を超えるヒューズの場合、ショート故障の際に溶断せず火災の原因となり大変危険です。

❗ 電源ハーネスのヒューズを交換する場合は、必ず規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用した場合、火災の原因となり大変危険です。

製品は水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けないでください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。

安全上の注意（取り付け業者様へ）

⚠警告

- 運転や視界の妨げになる場所には絶対に取り付けないでください。取付箇所・取付方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにしてください。（P10 本体取付位置について参照）誤った取付箇所・取付方法は、製品の脱落や車両破損の原因、運転の妨げとなります。
- 乗員保護装置（エアバック等）の作動に影響を及ぼす場所に取り付けないでください。保護装置作動時にケガの恐れがあります。
  （取付位置の安全性を考慮し、販売店、取付店またはカーディーラーへご相談の上、取付位置をきめてください。）
- 本製品を絶対に分解や改造をしないでください。保証の対象外となるだけでなく、故障や事故の原因となります。
- エンジン停止直後は絶対に作業を行わないでください。エンジン停止直後はエンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う可能性があります。
- 必ず既存の配線に影響が出ないような配線を行ってください。また、車速･エンジン回転数信号配線の際は、最初にコントロールユニットの電源配線を行い、イグニッションキーオン時にコントロールユニットの電源確認マークが点灯することを確認の上、再度バッテリーのマイナス(－)端子を外し、車速･エンジン回転数信号の配線作業を行ってください。車両のコントローラーなどが破壊する恐れがあります。
- 製品が故障したり誤動作した場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用すると車両の故障や事故の原因となります。
- 作業中は幼児･子供等を近づけないでください。部品等が外れて飲み込む等の恐れがあります。
- 必ず指定の取付スタンドを使用してください。
  回転型スタンドを取り付ける前に、取り付け位置を決めてください。
- 取り付けたい位置で、ＧＰＳが受信できる／ワンセグが受信できる／他の機器に影響がないかを確認してください。
- ベース吸着板を取り付ける際は、ダッシュボード上の汚れを拭き落として貼り付けてください。
- ベース吸着板を貼り付ける際は、できるだけ平坦な場所に取り付け、ベース吸着板全体を上からしっかりと押さえて、貼り付けてください。全面で貼り付けされていない場合や、平坦な場所でないと振動などで本体が脱落する恐れがあります。
- 振動の大きい場所には取り付けないでください。
- 貼り付けは1回のみです。貼りなおすと粘着力が弱くなります。
- 安全を考慮し強力な粘着テープを使用しているため、ダッシュボードから剥がす場合、ダッシュボードを傷めたり、破れたりすることがあります。
  ご購入いただいたお客様に説明し、合意の上お取り付けください

安全上の注意(取り付け業者様へ)

本体の取付位置について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準の改正(平成17年1月1日)に伴い、下記の範囲内の視界を確保することが義務付けされました。
ダッシュボード上に機器を取り付ける際は、下記の図のように運転者の視界を妨げないように取り付けてください。

前方視界基準

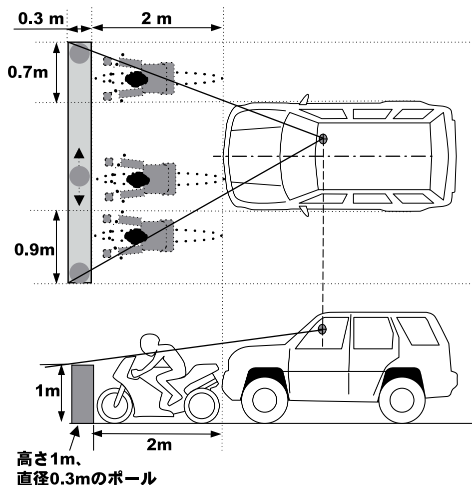
■対象車種

・専ら常用の用に供する自動車(乗員定員11人以上のものを除く。)

・車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

■基準概要

・自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したもの)を鏡等を用いず直接視認できること。



注意

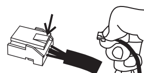


- 12V仕様車専用です。12V車以外には取り付けないでください。
- 使用しない配線は絶縁テープなどで完全に絶縁してください。また、取り付け時に外したり、ゆるめた部品やコネクター、新たに配線したものなどは必ず正しく組付け、固定してください。
- 本製品に過大な力をかけたり、ぶつけたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品の端子などに必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。
- 本製品付属のハーネス以外で配線をしないでください。
- 車体やネジ部などに、配線をはさみ込まないようにしてください。故障の原因となります。
  ハーネスは点火信号や無線、HIDユニットのハーネスなどのノイズの発生しそうな場所を避けて配線してください。点火系などのノイズは誤動作の原因となります。
- 本体及びコントロールユニットに無線機や携帯電話等電波を発する機器が触れないように設置してください。誤動作の原因となります。

安全上の注意(取り付け業者様へ)

⚠注意

- 車速•エンジン回転数信号ハーネスは、エンジン、排気管、過給機付近には配線しないでください。ハーネスの破損、溶断の原因になります。
- エンジンルーム内で配線を分岐する際は、防水処理を確実に行ってください。
- ハンダ付けで火傷をしたり、配線•部品の端面•尖った部分等に当たり手を切傷することがないように手袋を着用してください。
- 本体及びコントロールユニットは、水のかかる場所、湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所、ヒーターの吹き出し口やその周辺には取り付けないでください。
- 車両にお取り付けの場合、製品を使用しない時は、市販のモニターカバーなどをかぶせるようにしてください。特に直射日光のあたる場所、炎天下の車内での長時間放置の際は注意してください。
- コードやコネクター部を強く引っ張らないでください。
破損の原因となります。
コネクターを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。



- イグニッションオンや電源を投入し、「ドライバー」「助手席」を選択後、メインメニュー画面を表示したら音量の設定を行ってください。
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となります。
- インストルメントパネルの助手席側及びセンターに製品を埋め込まないでください。
車両の保安基準に適合しません。

安全上の注意（お客様・取り付け業者様へ）

取扱いに関して（お客様・取り付け業者様へ）

⚠ 危険



⃠ 分解、改造はしないでください。

⃠ 本体を火中、水中に投入しないでください。

⃠ 本製品は、充電式ボタン電池を内蔵、使用しています。
内蔵のボタン電池を他の用途や方法で使用しないでください。

⃠ 内蔵ボタン電池を傷つけたり、傷つけるおそれのある方法で使用しないでください。
本体を分解して内蔵ボタン電池を取り出したり、本体を傷つけることにより内蔵ボタン電池が破損すると、発熱や発火、漏液、破裂の原因となり大変危険です。
次のことは絶対にしないでください。

- 指定以外の方法や機器を使って充電しないでください。
- 本体から内蔵ボタン電池を取り外して他の機器で使用しないでください。
- 本体や内蔵ボタン電池の分解や改造を行ったり、釘や刃物などで傷つけたりしないでください。
- 本体を踏みつけたり落下させるなど、強い衝撃を与えないでください。
- 本体を火中へ投入したり、加熱しないでください。火のそばや高温になる場所に放置しないでください。
- 本体内部へ水を入れないでください。
- 万一、内蔵ボタン電池が露出してしまったときは、内蔵ボタン電池の⊕と⊖を金属などで接触させたり、アクセサリーなどの金属製品と一緒に持ち運ばないでください。
- 内蔵ボタン電池が液漏れを起こしているときは、内部の液体に触らないでください。

内部の液体が皮膚に付着すると負傷する恐れがあります。また、目に入った場合は失明する恐れがあります。

❗ 内蔵ボタン電池が破損したり液漏れを起こしている恐れがある場合は、ただちに電源を切って使用を中止し、販売店または当社までご連絡ください。

❗ 内部の液体が皮膚や衣類に付着したときは、ただちにきれいな水で洗い流してください。
目に入ったときは、目をこすらずにきれいな水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください。

❗ 内蔵バッテリーが液漏れを起こしているときは、ただちに火気から遠ざける。
漏れた液体に引火し、発火や破裂の原因となる恐れがあります。液体に直接触れないようにして火気から遠ざけてください。

❗ 本製品はナビゲーション機能を搭載しております。ナビゲーションはあくまで走行の参考として地図や音声で案内するものですが、道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合があります。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識などの実際の交通規制（一方通行など）に従って走行してください。

❗ 本製品はワンセグテレビ機能を始め、Photo PlayerやMovie Playerなどの機能を搭載しております。これらの機能を、車でご視聴の場合は、必ず安全な場所に停車して視聴してください。運転中は絶対に使用しないでください。

❗ 本製品は、表示する情報によりさまざまな操作を必要とします。運転中は絶対操作を行わず、必ず安全な場所に停車して操作してください。

❗ ナビゲーション機能において、緊急を要する施設（病院、警察、消防など）の検索や案内は、本製品を頼らず該当施設へ直接ご連絡ください。

安全上の注意（お客様・取り付け業者様へ）

⚠ 危険

⃠ スポーツ＆エコクラスターの機能をご使用する場合、次のことを絶対にしないでください。
- 危険運転行為はしないでください。
- 法定速度内でも、競うような運転、走行はしないでください。
- ＴＲＩＡＬモードの０－１００ｋｍ/ｈモード、０－４００ｍモードは、絶対に公道では使用しないでください。

⃠ 画面を注視しないでください。

⃠ 運転中は操作しないでください。

⚠ 警告

❗ 本製品はお買い上げいただいた販売店またはディーラーで取り付けてください。
個人でお取り付けされた場合、保証の対象外となります。

⃠ 本製品を水流に当てたり、風呂場で使用はしないでください。
火災や感電の原因となります。

⃠「表示がでない」などの故障状態や、「水などがかかった」「煙が出た」「変な匂いがする」などの異常な状態では使用しないでください。万一そのような状態が発生しましたら、ただちに安全な場所に車を停車させ、エンジンを停止し、車のキーを抜き取り、速やかに本体のメインスイッチをオフしてください。ＡＣアダプターを接続してご使用している場合は、速やかにＡＣアダプターをコンセントから抜いてください。そして、販売店、取り付け店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、事故や火災の原因となり大変危険です。万一、機器内部に異物が入った場合は、速やかに本体のメインスイッチをオフしてください。ＡＣアダプターを接続してご使用している場合は、速やかにＡＣアダプターをコンセントから抜いてください。そして、販売店、取り付け店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、事故や火災の原因となり大変危険です。
本体全ての操作は車を停止して行ってください。運転中に操作を行うと、前方不注意による事故の原因となり大変危険です。

❗ 定期的に配線や接続ケーブルに異常がないか確認してください。
異常な配線状態、接触が悪い、異物付着など発生すると、接触不良により発熱し
火災や車両側のヒューズ断線や故障などの原因となります。

⃠ 電源コードや接続ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、コードの上に重い物をのせたり、熱器具へ近づけたり、車の高温部に接触させるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電の原因となります。

⃠ 運転中はヘッドフォンを使用しないでください。事故の原因となります。

⃠ ヘッドフォンをつけながらイグニッションオン又は電源を入れないでください。
音量レベルにより突然大きな音が出て聴力障害の原因となります。

⃠ ＡＣアダプターを本体へ接続せずに、コンセントに差し込まないでください。
本体接続ジャック部のショートによる火災や感電の恐れがあり大変危険です。

安全上の注意（お客様・取り付け業者様へ）

警告

- 電源ハーネスやＡＣアダプター部が異常に高温になった場合は、直ちにコントロールユニット又はコンセントから抜き取り、お買い上げお取り付けいただいた販売店へ相談してください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- 走行中は安全確保のため、車両情報（メーター画面）の確認は、最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となり大変危険です。
- 各接続端子やマイクロＳＤカードスロット部、スピーカー穴など本機器に、金属類や燃えやすいものなど差し込んだり、押し込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。
- 本体の近くに、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品等々の水又は水分を含む物、金属物を置かないでください。火災や感電の原因となります。
- 本体を熱・電磁波を受けるような場所（ガスコンロ、ＩＨクッキングヒーターなど）、加湿器の付近、湯気があたるような場所には置かないでください。火災や感電の原因となります。
- 雷が発生しているときは本体やケーブルに触れないでください。感電の原因となります。
  遠くで雷が鳴りはじめたときは、直ちにＡＣアダプターをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。
- タコ足配線しないでください。火災や感電の原因となります。
- 運転中の音量は、周囲の音が十分聞こえる程度の音量にしてください。音量が大きすぎると、事故の原因となります。
- 大音量で長時間音楽を聴き続けないでください。聴力障害の原因となります。
- 本機をふとんなどでおおった状態で使用しないでください。火災の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけないでください。火災、ケガ、故障の原因となります。
- 乳幼児、子供の手の届かないところに保管してください。また使用中は乳幼児、子供が手の届かない所に設置して使用してください。誤飲やケガなどの事故の原因となります。
- マイクロＳＤカードは乳幼児、子供の手の届かないところに保管してください。
  また、マイクロＳＤカードの抜き差しを行う場合は、乳幼児、子供を近づけないでください。誤飲の原因となります。

注意

- 本製品の使用、または故障により生じた直接・間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- コネクターを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。また、コネクターによってロックの位置が異なりますので、ご注意ください。
- 車両にお取り付けの場合、製品を使用しない時は、市販のモニターカバーなどをかぶせるようにしてください。特に直射日光のあたる場所、炎天下の車内での長時間放置の際は注意してください。
- サンシールドを使用する場合は、フロントガラスと製品（本体）の間に置いて、製品が必ず日陰になる様にしてください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などでふいてください。中性洗剤以外の液体等を使用すると故障の原因となりますので、使用しないでください。（P17 お手入れについて参照）
- マイクロＳＤカードは、推奨のものを使用してください。推奨以外のマイクロＳＤカードや変形したり、傷ついたマイクロＳＤカードは挿入しないでください。
  ※ Chapter01 はじめに「MicroSD カードについて」を参照。
  本体の故障や誤動作、データの消失、データ化けなどの原因となります。
- マイクロＳＤカードが取り出せなくなった場合は、無理に取り出そうとしないでください。本体の別の故障原因となります。お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

安全上の注意（お客様・取り付け業者様へ）

- 本体動作中、危険・警告・注意事項に記載されている状況、状態以外で通常の使用において、突然メインスイッチを切らないでください。誤動作や記録データ化けの原因となります。
- 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
  タッチスクリーンの故障やキズ、液晶パネルのガラス割れが発生し、けがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合は、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。
  皮膚の炎症などの原因となります。万一、口に入った場合や眼に入った場合は、速やかにきれいな水で十分洗浄した後、医師に相談してください。
- アンテナを伸ばした状態の時には、十分注意して操作をしてください。アンテナが伸びた状態で顔を近づけたりすると、けがの原因となります。

確　認

- 製品のメーター表示は参考値です。純正メーターの指示で運転してください。
- 対応気筒数は1・2・3・4・5・6・８気筒で、４サイクルエンジン用です。詳細は仕様を参照してください。ディーゼル車ではエンジン回転数表示できません。
- 電源・信号の配線については車種別接続ガイドを併せてご覧ください。
  最新の情報はホームページの車種別接続ガイドをご参照ください。
- 取り付けは必ず本書に従ってください。
- バッテリーのマイナス(−)ターミナルを外すと、メモリー機能を持ったオーディオや時計などの記憶内容が消去される物があります。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って設定し直してください。
- 取り付け作業が終了しましたら、本取扱説明書、保証書、残りの部品、パッケージは必ずお客様にお渡しください。
- 純正部品の取り付け、取外しに際しては、カーメーカー発行の整備書を確認してください。
- 電源配線前に、分岐する車両配線の電圧を確認してください。配線後、電源ハーネスのコネクター側で再度電圧を確認してから製品に接続してください。
  ※確認時、IGN線、GND線等、ショートさせないでください。
- ナビゲーションシステムやカーテレビ、ＥＴＣなどを取り付けている場合は、それら本体やアンテナ、モニター、ハーネス類から離してお取り付けください。
  近付けたり、ハーネスを一緒に束ねたりするとそれらの機器の誤動作、本製品の誤動作、テレビ表示に影響を与える場合があります。
- マイクロＳＤカードは付属しておりません。マイクロＳＤカードが無いと、Sports&ECO Cluster機能のＴＲＩＡＬモードやＥＣＯ履歴モード、１ＳＥＧ−ＴＶ録画、ＭｅｄｉａＰｌａｙｅｒなどの機能など使用できない機能があります。また、インターネットからのデータ更新等もマイクロＳＤカードが必要になります。
  （マイクロＳＤカードは同梱していません。別途、推奨のマイクロＳＤカードをご購入してください。）

使用上の注意(お客様・取り付け業者様へ)

温度について

⚠ 使用温度範囲を超えて使用した場合、正常に動作しません。
※Chapter02 製品概要、製品仕様の温度範囲を参照。
使用温度範囲、保存温度範囲を超える、高温の場所(直射日光の当たる場所、炎天下の車室内)や低温度に放置しないでください。故障や変形の原因となることがあります。
車両に取り付けしてある場合、使用温度範囲内でも、本体が太陽光により高温になる場合があります。操作の際は、本体が熱くないか十分に確かめた上で操作してください。
火傷の原因となります。

ディスプレイについて

⚠ 液晶ディスプレイの同じ場所に、青/赤/緑/白/黒色の点があらわれることがあります。これは「ドット落ち」と呼ばれる現象で、液晶ディスプレイの製造工程で発生するものです。故障ではありません。この「ドット落ち」は、現在の液晶製造技術において回避しにくい現象また発生する現象であるため、「ドット落ち」は保証対象外、無償交換対象外とさせていただいております。

⚠ 直射日光が当たると液晶ディスプレイに光が反射して見えづらくなります。
この場合は直射日光を遮るか、画面の明るさを上げると改善することがあります。

⚠ 液晶パネル面にフィルムを貼り付けた場合、貼り付け不良、または、ズレがあると正常に動作しません。

⚠ タッチスクリーンは、ボールペン、シャープペンシルのペン先、またその他の尖ったものなどで操作したり触れたりしないでください。誤動作やタッチスクリーンのキズ、本体の故障の原因となります。

⚠ タッチスクリーンを硬い布や強い力で拭かないでください。タッチスクリーンの故障の原因となります。

内蔵GPSアンテナについて

⚠ 本機の上部内部にGPSアンテナが内蔵されています。従って本体上部を隠すような(遮蔽するような)取り付けを行うと、自車位置精度や案内精度が低下します。

⚠ 車種によっては、車のフロントガラス仕様が断熱・紫外線カット仕様のものやフロントガラスに特殊なコーティングが施されている場合があります。内蔵しているGPSの信号が遮断され受信できずに、機能の一部(ナビゲーションやTRIALモード)が使用できない場合があります。カーディーラーにフロントガラスに関して確認を行った上でお取り付けいただくようお願いいたします。

地図画面について

⚠ 最も詳細な地図の縮尺は地域ごとによって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域にくると、地図が切れた様な画面になります。そのまま地図を移動しつづけると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域に最も詳細なものに変わります。

受信妨害について

⚠ 本機を、動作中の他の車載電子機器や家庭用電気製品の近くで使用しないでください。(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、テレビ、ラジオ、パソコンなど)本機のワンセグTVやGPS衛星電波の受信状態が悪くなったり、他の製品性能の低下の原因となります。

ワンセグについて

⚠ ワンセグTVの表示は、信号データ処理方式により地上アナログ放送やフルセグの地上デジタル放送に比べ遅くなることがあります。
また受信状況が悪い場合は、映像が固まり黒画面になったり、音声が途切れたりする場合がありますが、故障ではありません。

使用上の注意（お客様・取り付け業者様へ）

⚠ 車で移動して受信する場合は、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。車の取り付け環境や周辺の環境、建物や山、トンネルにより受信状態が悪くなり、視聴できない場合があります。また停車中でも周辺の車の動きや建物等で、受信状態が悪くなる場合があります。

⚠ 車のワイパーや電動ミラー、エアコンなどのノイズの動作で受信感度が悪くなる場合があります。

⚠ 電車の架線、高圧線、ラジオ･テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなど、放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入る場合があります。

お手入れについて

⚠ 画面はホコリが付きやすいので、時々清掃してください。
清掃するときは、電源を切り、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れを落とす場合は、中性洗剤に浸し、よく絞った布で拭いてください。

⚠ 有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）、酸・アルカリ類は使用しないでください。
また、硬い物でこすったり、たたいたりしないでください。

⊘ 製品（本体、コントロールユニット、回転型スタンド、ベース吸着板等）は、有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）、酸･アルカリ、艶出し剤等で拭き取りや塗布などしないでください。表面の塗料や樹脂が侵されることがあります。また、粘着性の高いものを貼ったりすると塗料が剥がれたり汚れたりするので避けてください。

⊘ 製品（本体、コントロールユニット等）にアルミ箔などの金属を貼り付けしたり、塗装しないでください。内蔵ＧＰＳセンサー等、本体に内蔵されているセンサーの性能を低下させ正常に動作しない原因となります。

設置、保管場所について

⊘ ふとんやじゅうたん、カーペット、座布団など熱をにがしにくいものの上に置いて使用しないでください。本機の内部に熱がこもり、故障する原因となります。
ご使用にならないときは、本体の主電源を切り、コントロールユニットは、配線含めて取り外して、高温、低温、高湿度状態を避けて保管してください。

⊘ ウレタン系シートやゴム系シート（滑り止め防止シートなど含め）、その他ビニール製品などに長時間接触させた状態で保管しないでください。製品の塗料や樹脂表面が変質し外観を損なう原因となります。

外部電源との接続について

⊘ 他の機器のＡＣアダプターやＤＣケーブルを使用しないでください。
指定以外の部品の使用は、破損や火災の原因となります。また、安全性能が低下し事故や故障の原因となりますので絶対にしないでください。

⊘ 対応電源以外の電源と接続しないでください。発電機や自動車用のインバーターなどを利用したＡＣ１００Ｖ電源は電圧が安定しない場合があり、このような電源との接続はＡＣアダプターの破損や本体の故障につながる恐れがあります。必ず安定供給されているAC100V電源へ接続してください。

オートパワーオン／オフ機能

●主電源オン／スタンバイボタンオフの状態で外部電源を接続すると、自動的に起動するオートパワーオン機能を備えています。また、起動している状態で電源の供給を絶つと、30 秒後に自動的に本体電源を切るオートパワーオフ機能を搭載しています。

使用上の注意(お客様・取り付け業者様へ)

電源ハーネスのヒューズ交換

●電源ハーネスの+B(常時電源線)には、平型ヒューズがあります。ヒューズが切れると電源を接続しても接続ランプが点灯しません。

ヒューズ切れが発生した場合は、異常な配線になっていないか、本体に異常がないかを確認してください。わかならない場合は、電源ヒューズが切れたので本体に異常がないかを確認するために、お買い上げ、お取り付けいただいた販売店へ、本体の検査依頼を行ってください。

ヒューズを交換する場合、所定の規格ヒューズをご購入し交換してください。
ミニ平型ヒューズ　2A　12V

外部機器の使用

指定以外の外部アンテナなどを接続して使用しないでください。

外部アンテナは必ず指定のものをお使いください。それ以外のものを使用すると、端子の形状が合わずに本体が破損する恐れがあります。

専用外部GPSアンテナ(別売※1)、専用外部ワンセグアンテナ(別売※1)が使用できます。いずれも端子の形状は本製品専用になっているため、他の機器用の外部アンテナは使用できません。取り付けの際は、オプションに同封されている取付説明書をよくお読みになり、手順に従って取り付けてください。

※1　株式会社エディア　MAPLUS　Webで販売しております。

http://maplus-navi.jp/products/e-100mp/

注)アドレスは予告無く変更する場合があります。

通信端子に指定以外の部品や他の機器を接続しないでください。
他の機器やケーブルなどを接続すると、端子の形状が合わずに本体が破損する恐れがあります。また、他の機器の影響を受け、本体の故障などを起こす恐れがあります。

イヤホン接続端子にイヤホン以外の部品を使わないでください。
使用すると端子の形状が合わず、本体が破損する恐れがあります。

MicroSDカードについて

本製品にはmicroSDカードは付属しておりません。以下の基準に適合する市販品をご使用ください。

●推奨メーカー:東芝、SanDisk
●サポート規格:microSDカード(2GB以下)、SDHCカード(2～8GB)
●ファイルフォーマット形式:FAT(microSDカード)、FAT32(SDHCカード)
※上記以外のmicroSDカードの動作保証対象外です。

microSDカードの読み込み中にmicroSDカードを本体から取り出さないでください。
microSDカード内のデータが破損する恐れがあります。

microSDカード内のデータのバックアップを取ってください。
microSDカード内のデータは静電気などの影響で、記録したデータが消去されたり使用できなくなる恐れがあります。必ずPCなどへバックアップを取ってください。
何らかの理由でmicroSDカード内のデータが損傷した場合、理由の如何を問わず弊社ではデータの復元や、損傷したデータに対する補償はいたしません。

必ず推奨microSDカードを使用してください。
本製品に適合していないmicroSDカードを使用すると、本体の動作が不安定になったり、microSDカードへ記録したデータが消去される恐れがあります。

使用上の注意（お客様・取り付け業者様へ）

お客様が推奨品以外のmicroSDカードを使用し、microSDカードへ記録したデータが何らかの損害を受けた場合でも、補償はいたしかねますのでご了承ください。

⃠ microSDカードスロットに指定以外のメディアを差し込まないでください。

コンパクトフラッシュやメモリースティックなどのメディアには対応していません。

指定以外のメディアを無理に差し込むと、スロットの損傷につながる恐れがあります。

❗ microSDカードへデータを書き込む前に、PCなどを使って必ずフォーマットを行ってください。

フォーマット形式はmicroSDカードの規格により異なります。フォーマット後に本体に装着した状態で起動すると自動的にフォルダが作成されます。データを書き込んだmicroSDカードを装着してから本体電源を入れて起動します。microSDカードを取り出すときは、必ず本体の電源を切ってから取り出してください。本体の動作中にmicroSDカードが取り出されると、本体の動作を中止して自動的に再起動が行われます。

microSDカードでできること

●本製品はmicroSDカードへ記録したナビゲーション機能拡張データを使い、さらに詳しいデータや地図などを使ってナビゲーションを行うことができます。ナビゲーション中の走行軌跡をmicroSDカードへ記録したり、専用アプリケーションを収録して様々なコンテンツを楽しむこともできます。また、走行時に車速やエンジン回転巣などの情報を記録したり、ECO情報（アイドリング時間やSTOP回数、AVG SPなど）を記録したりすることができます。メディアプレーヤーで音声・音楽や画像、動画などを再生することができます。ワンセグ放送をmicroSDカードへ録画することも可能です。

その他

●本機に搭載しているソフトウェア又はその一部について、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

使用上の注意（お客様・取り付け業者様へ）

microSDカード内フォルダディレクトリ一覧

お使いになるmicroSDカードを本体に挿入すると、自動的に下記フォルダ及びファイルが生成されます。

Sports＆ECO Cluster（フォルダ）
|　　├EcoHistory(ECO履歴データ）
|　　├log（TRIALモードのログデータ）
|　　├0to100（TRIALモードの0－100km／hのログデータ）
|　　├0to400（TRIALモードの0－400mのログデータ）
|　　├course（TRIALモードのコースデータ）
|　　├run（TRIALモードの計測データ）
|　　├time（TRIALモードのtimeデータ）
1SEG（フォルダ）
|
|　ワンセグ録画データが保存されます。
|
MOVIE（フォルダ）
|
|　MP4/WMV/H.264ファイルを保存すると再生することができます。
|
MUSIC（フォルダ）
|
|　MP3/WMAファイルを保存すると再生することができます。
|
PHOTO（フォルダ）
|
|　JPEG/BMPファイルを保存すると再生することができます。
|
NAVI_APP（フォルダ）
|
├DOWNLOAD（フォルダ）（MAPLUS.webからのダウンロードデータの保存）
|　　├mapcity_data（市街地図データ）
|　　├route_date（MAPLUS.web作成ルートデータ）
|　　├recommend（オススメスポットデータ）
|　　├mapcolor_data（地図色パレットデータ）
|　　├voice_data（案内音声データ）
|　　└svoice_data（センサー連動音声データ）
├gpslog_data（あしあとログ出力先）
├favorite（おこのみスポット登録画像・音楽データ）
└eco_data（エコドライブモードデータ）

■uid.dat（ファイル）
初回のSports&ECO Cluster又はナビゲーション起動時に作成されるファイルです。
本体の固有IDデータが記録されています。

製品特長（お客様・取り付け業者様へ）

この製品は、主に、車両速度 / エンジン回転数を表示する計器とGPSを利用したナビゲーション機器です。

本体機能

● 4.3 インチWQVGA高精細ＴＦＴとスピーカーを搭載。美しいグラフィックメーター表示やナビゲーション表示を行います。

●内蔵 2GB メモリーにナビゲーションソフトウェアを収録しています。

●インターネットよりマイクロＳＤカードにデータを記録して、データの更新が可能です。

Sports & ECO Cluster機能

●メーター表示は、デジタルメーター表示、アナログメーター表示、ＥＣＯメーター表示の３種類を好みにより選択し使用できます。

●デジタルメーター表示とアナログメーター表示は、お車に合わせて、エンジン回転数表示のスケールを、５,０００ｒｐｍ、７,０００ｒｐｍ、９,０００ｒｐｍ,11,０００ｒｐｍの４種類から選択し、使用できます。

●ワーニング設定は、車速は1段階×２種類、エンジン回転数は２段階×２種類設定できます。２種類の設定は、車速、エンジン回転数それぞれ独立して1ボタンで切替ができます。

●ＥＣＯメーターは、速度とエンジン回転数より走行状態を分析し、ＥＣＯレベルを表示します。ＥＣＯメーター表示のエンジン回転数スケールは３,５００ｒｐｍと低く設定しています。少しのアクセルの踏み方で回転数が変動しますので、経済運転の指標にできます。

●ＴＲＩＡＬモードでは、豊富な簡易計測モードを収録。計測データをマイクロＳＤカードに記録し、画面で簡易分析表示を行い、自分の走行をデータで確認できます。
（マイクロSDカードは付属していません。別途、推奨のマイクロSDカードをご購入してください）

・0－100km／h簡易計測（クローズドコース専用機能）※公道では使用しないでください。
１００km／h到達までの時間や中間タイム表示を行います。

・0－４００m簡易計測（クローズドコース専用機能）※公道では使用しないでください。
４００m到達までの時間や中間タイム表示を行います。

・ＴＲＩＡＬ簡易計測
ＭＡＰデータや走行データからコース軌跡を作成し、作成したコースでのタイムを表示します。一般公道では経済運転などの分析に活用し、クローズドコースでは運転技術の分析などに活用できます。
一般公道では法定速度を遵守し安全走行を行ってください。一般公道でも、計測表示を行いますが、運転情報（経済運転など）を知るための機能であり、競うための機能ではありません。

●運転（イグニッションオフ）の度に、年月日、時刻、アイドリング積算時間、ＳＴＯＰ回数情報をマイクロＳＤカードに記録し、ＥＣＯ履歴として確認することができます。
（マイクロSDカードは付属していません。別途、推奨のマイクロSDカードをご購入してください。）

ナビゲーション機能

●地図や表示の見やすさ、操作の分かりやすさに主眼を置いた設計です。

●大容量データをあらかじめ本体内蔵メモリーへ収録しており、たくさんのデータからすばやく目的の検索を探し出すことができます。

●親切な表示や音声案内で、目的地までナビゲーションを行います。

●画面表示を変更するなど、好みにあったナビゲーションを行うことができます。

製品特長（お客様・取り付け業者様へ）

メディアプレーヤー

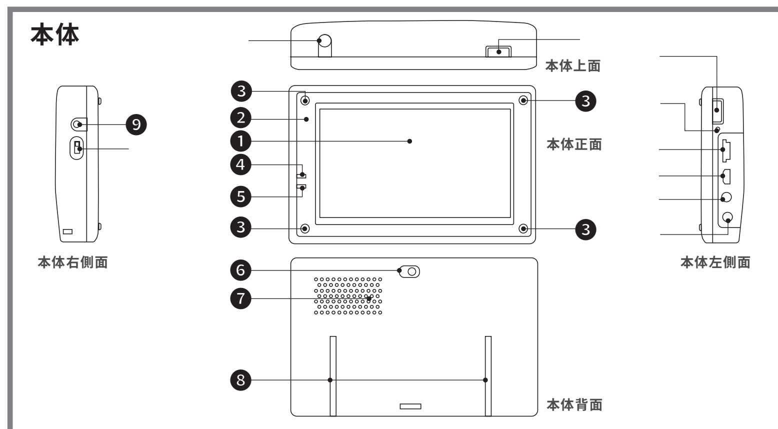
●microSDカードに記録した音声・音楽や静止画、動画の再生が可能です。
●メーター表示やナビゲーションしながら音楽を再生することができます。
●音楽データはＭＰ３、ＷＭＡデータを再生することができます。
●静止画は、ＪＰＥＧ、ＢＭＰを表示することができます。
●動画は、ＭＰＥＧ４、ＷＭＶ、Ｈ.２６４を再生することができます。

ワンセグテレビ

●ほかの機器との接続なしで、本体のみでワンセグ放送を受信することができます。
●microSDカードへ番組を録画することができます。
●電子番組表（EPG）に対応し本体で番組表の確認が可能です。
※microSDカードは付属しておりません。別途、推奨のマイクロＳＤカードをご購入してください。

製品特長（お客様・取り付け作業者様へ）

各部名称とはたらき



❶液晶ディスプレイ
タッチパネルになっており、画面に直接タッチして操作をします。

❷フロントパネル

❸フロントパネル取付ネジ

❹使用しません（点灯しません）

❺電源ランプ
本体が起動しているときは緑色LEDが点灯

❻外部GPSアンテナ接続端子
外部GPSアンテナ（別売）を接続します。

❼スピーカー
モノラル出力の内蔵スピーカーです。

❽クレードル取付スリット
取付スタンドへ本体を取り付けるときに、クレードルをはめ込みます。

❾外部ワンセグアンテナ接続端子
外部ワンセグアンテナ（別売）を接続します。

電源スイッチ
主電源のオン／オフをコントロールします。

スタンバイボタン
長押しをすることによりスタンバイモードに切り替え、動作や表示を一時的に停止します。

リセットボタン
起動中に押すと、本体の再起動を行います。

microSDカードスロット
microSDカードを挿入します。

通信ケーブル接続端子
専用通信ケーブル接続に使用します。

電源接続端子
専用通信ケーブルやACアダプターを接続し、本体へ電源を供給します。

3.5mmヘッドホン専用端子
3.5ミリヘッドホン端子へ音声を出力します。

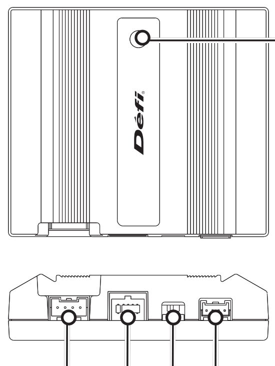
ワンセグアンテナ
ワンセグテレビを見るときに引き出して使用します。

メインメニューボタン
本体起動中に押すと、メインメニュー画面へ戻ります。
※ツーアクション仕様のボタンです。
ワンアクションでは音だけ鳴ります。
ツーアクション目でメインメニュー画面へ戻ります。

製品特長（お客様・取り付け業者様へ）

各部名称とはたらき

コントロールユニット



❶電源確認ＬＥＤ

電源が正常に供給されていると青色に点灯します。

❷電源コネクタ

電源ハーネスを接続します。

❸通信コネクタ

通信ケーブルを接続します。

❹ＳＰ設定スライドスイッチ

スイッチ頭部
左側：LOW（国産車）2,4,8,16 パルス・パルスフリー
右側 ：HI（外国車など）パルスフリー

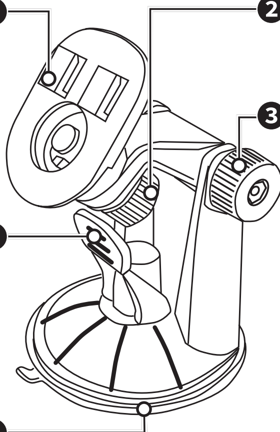
右図は、スイッチ頭部が左側です。



❺車速・エンジン回転数コネクタ

車速･エンジン回転数信号ハーネスを接続します。

回転型スタンド



❶クレードル取付部

クレードルを取り付けて本体を固定します。

❷角度調節ノブＡ

クレードル取付部の角度を調節・固定します。

❸角度調節ノブＢ

クレードル取付部の上下の角度を調節・固定します。

❹脱気レバー

吸盤内の吸着力を高めます。

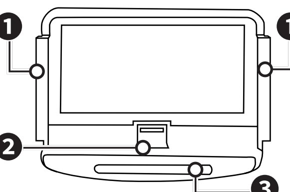
❺固定吸盤

ダッシュボードへ貼付した吸着ベース板上へ吸着させ、取付スタンドを固定します。

製品特長（お客様・取り付け業者様へ）

各部名称とはたらき

クレードル

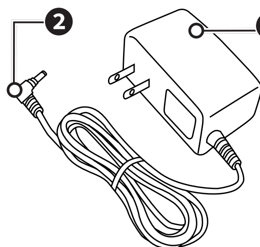


❶本体取付レール
本体のクレードル取付スリットにはめ込んで、本体をクレードルに固定します。

❷脱落防止ロック
本体をクレードルへロックします。

❸ロック解除ボタン
本体をクレードルから取り外すときに脱落防止ロックを解除します。

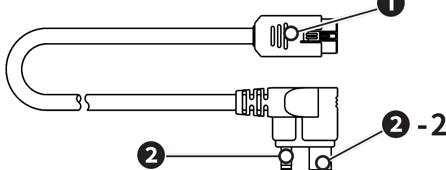
ＡＣアダプター



❶ＡＣアダプター本体
家庭用 100V 電源へ差し込みます。

❷電源プラグ（本体側）
電源接続端子へ差し込んで電源を供給します。

通信ケーブル



❶コントロールユニット側コネクタ
コントロールユニット通信コネクタに接続します。

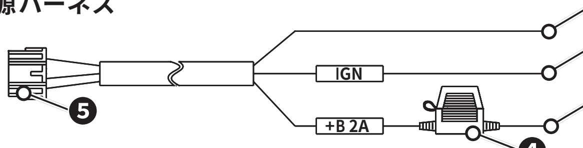
❷-1 電源コネクタ
2-2 と一緒に本体電源接続端子に接続します。

❷-2 通信ケーブルコネクタ
2-1 と一緒に本体通信ケーブル端子に接続します。

製品特長（お客様・取り付け業者様へ）

各部名称とはたらき

電源ハーネス



❶ **赤線**：＋Ｂ常時電源線

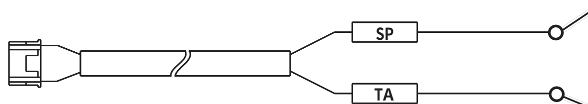
❷ **橙線**：イグニッション線

❸ **黒線**：グランド線

❹ ＋Ｂ常時電源用ヒューズ２Ａ
詳細は、電源配線方法を参照ください。

❺ コントロールユニット電源コネクター
コントロールユニットの電源コネクターに接続します。

車速・エンジン回転数信号ハーネス



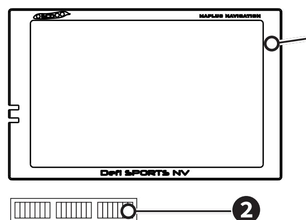
❶ **青線**：エンジン回転数信号用

❷ **緑線**：車速信号用

詳細は、車速・エンジン回転数信号ハーネス接続を参照ください。


配線は、絶対に間違わないで配線してください。間違った線を配線すると、車両が破損する場合があります。

トップパネルと両面テープ



❶ トップパネル
本体表面へ貼り付けることにより外観がブラックになります。
（フロントパネルを隠すことができます。）

❷ 両面テープ 1
トップパネルを貼り付けるために必要です。
詳細は、トップパネル取り付け方法を参照ください。

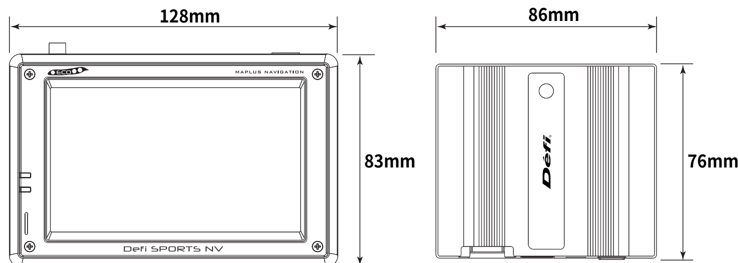
製品仕様（お客様・取り付け業者様へ）

仕　様

■外形寸法

本　体
W128×H83×D25mm
重量　230g

コントロールユニット
W86×H76×D22mm
重量　80g



■本体

□ディスプレイ
　4.3インチTFT液晶（WQVGA）タッチパネル
□SDRAM　128MB
□フラッシュメモリー　2GB
□インターフェース　MicroSDカードスロット（8GB　SDHCサポート）

■電源電圧　10V～16V DC(12V車専用)
　※ACアダプター使用時　家庭用AC100V

■消費電流　+B線　2A(IGN ON時)

■対応車速パルス　2,4,8,16 パルス、パルスフリー（2 パルス～ 26 パルス相当）

■対応気筒数　1･2･3･4･5･6･8 気筒（4 サイクル）

■温度範囲（すべて湿度 80%以下とする）

本　体
　保存温度範囲　－20～60℃（湿度 80%以下）
　使用温度範囲　0～60℃（湿度 80%以下）

コントロールユニット
　保存温度範囲　－20～60℃（湿度 80%以下）
　使用温度範囲　0～60℃（湿度 80%以下）

ACアダプター
　保存温度、使用温度範囲　0～40℃（湿度 80%以下）

製品仕様（お客様・取り付け業者様へ）

本製品の測位機能について

本製品はGPS、加速度センサーを利用したナビゲーションシステムです。通常はこれらの2つの方法による位置測定を行い、その結果を利用して現在地の表示やルート案内を行います。GPS測位ができない場所では、加速度センサーでの測位結果を用いて現在地の表示やルート案内を行います。本製品では二つの方法での測位の結果を総合して現在地を表示します。2つの方法を併用することにより、測位不能な状況の発生や測位精度の低下を最小限に抑えています。

GPS（Global Positioning System）とは

GPS（Global Positioning System）は、アメリカ国防総省が配備する人工衛星による位置検出システムです。高度2万1,000メートルを周回する人工衛星から発せられる電波を受信し、三角測量の原理を利用して位置を検出します。4つ以上の人工衛星からの電波を受信することで、測位が可能になります。一定の時間の間隔で測位を続けることにより、移動軌跡から進行方向の変化も捉えることができます。

GPS電波は非常に微弱であり、この電波を捉えるため、本製品では内蔵アンテナに特殊な増幅器を組み合わせてGPS電波を受信しています。

GPSの測位不能や測位の誤差

GPSのみで測位を行う場合、通常は±30メートル程度の誤差が生じます。ただし、特殊な条件下ではGPS電波が弱まって受信できなくなることがあり、その結果、測位ができなくなったり測位精度が低下することがあります。また、正常にGPS電波を受信していても、走行条件によって誤差が累積され、結果として測位精度が低下することがあります。

●GPS電波そのものが微弱になり、測位不能になったり精度が低下する場合

GPS電波は携帯電話などの電波と違い、天空が覆われた場所へは届きにくい性質を持っています。また、金属に反射して届きづらくなったり、弱められることもあります。

このためGPS電波の受信状態は使用する環境や人工衛星の運行状況、他の機器の影響を受けることがあります。具体的には次のような状況でGPS電波を受信できなくなったり、測位精度が低下することがあります。

・トンネルや地下駐車場、屋内など天空が覆われている場所
・高架道路の下や密集した樹木の下など、ひさし状になっている場所
・高層ビルの間や山岳地帯の谷間など、天空が狭まっている場所
・熱線吸収ガラスや熱線反射ガラスが組み込まれた車で使用している場合
・使用している場所の上空を通過する人工衛星が少ない時期や時間帯
・携帯電話などの強力な電波を発する機器の近くや、送信施設が付近にある場合

●移動条件によって測位不能になったり測位精度が低下する場合

GPSは移動軌跡から移動速度や進行方向を検出しているため、ゆっくりとした移動やゆるやかな方向の変化を捉えきれず、誤差を累積して測位精度が低下することがあります。長時間GPS電波を受信しないまま移動したときも、測位精度が低下することがあります。具体的には次のような状況で測位精度が低下することがあります。

・ターンテーブルに乗ったり、らせん状の道路を走行したときやその直後
・フェリーや車両運搬車などで移動したあと
・電源を入れた後、GPS電波を受信するまで
・分岐の角度が小さいY字路を走行したとき
・道幅の広い道路で蛇行運転したとき
・すぐ近くに並行する道路があるとき

製品仕様（お客様・取り付け業者様へ）

●本製品を初めて使用するとき・長期間使わなかったとき・リセットをしたとき
この場合は、GPS電波を受信するまで15～20分程度かかることがあります。また、このような状況でなくても、本体電源を入れてGPS電波を受信しないまま走行し始めると、かえってGPS電波を受信するまでに時間がかかり、測位精度が低下することがあります。このようなときは、天空が覆われていない場所で、GPS電波を受信するまで停止することをおすすめします。

加速度センサーとは

加速度センサーは速度の変化（=加速度）を検出するセンサーです。加速度センサーが組み込まれた物体の移動速度の変化を連続して捉えることで、移動速度や進行方向などの状況を検知することができます。加速度センサーは人や物体などによって発生した加速度だけでなく、重力による物体の移動を捉えることもできるため、組み込まれた物体の傾きも検出することができます。

加速度センサーの測定不能や測位の誤差

加速度センサーは移動時の速度の変化を検出するため、一定以上の速度で移動しないと、変化を測定検出できなかったり、精度が低下する恐れがあります。

加速度センサーのキャリブレーション

加速度センサーの精度が低下したと感じたら、キャリブレーションを行ってください。加速度センサーのキャリブレーションを行うときは、必ず水平な場所で、画面が上になるように置いて行ってください。キャリブーションの方法は『その他の設定：センサーセッティング』をご覧ください。

電源ランプの表示とリセット

電源ランプの表示

電源ランプは緑色LEDが、本体の動作状態をお知らせします。

ランプが点灯しているときは、本体が動作しています。
ランプが点灯していないときは、本体は動作していません。

リセット

使用中に動作が極端に遅くなったり、動かなくなった場合は本体右側面のリセットボタンを押し、本体のリセットを行ってください。リセットを行うと内部メモリーが一部クリアされ、ナビゲーション機能一部の設定情報がクリアされます。
（電源ランプ、リセットボタン位置はP23 各部名称とはたらきを参照ください。）

製品の取り付け（お客様・取り付け業者様へ）

全体の流れ

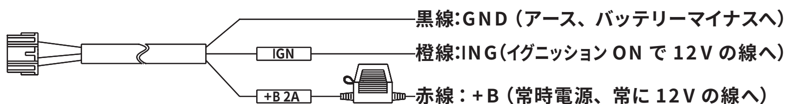
1. 内容物を確認します。⇒構成部品参照

2. 取り付けに必要な部品を確認し、準備します。
⇒車の配線太さを確認し、付属のエレクトロタップで配線できない場合は、配線太さにあった市販エレクトロタップをご使用ください。

3. 車両の電源(+B、GND、IGN)取り位置を確認します。

4. バッテリーのマイナス(－)ターミナルを外します。

5. 電源ハーネスを車両に配線します。



⇒ハンダ付けのやり方、エレクトロタップの使い方参照

⚠ 警告

IGN線（橙線）をACC（アクセサリー）の線に絶対に配線しないでください。
IGN線（橙線）をACC（アクセサリー）の線に配線すると車両の故障や事故の原因となります。

6. 電源ハーネスをコントロールユニットのコネクターに接続します。一旦バッテリーのマイナスターミナルを接続、イグニッションオンにしコントロールユニットの上面にある電源確認マークが点灯することを確認してください。

確　認

電源が正常に配線されていないとLEDは点灯しません。点灯しない場合は再度配線をご確認ください。

7. バッテリーのマイナスターミナルを外し、車速・エンジン回転数信号ハーネスを配線取付けます。
⇒車種別接続ｶﾞｲﾄﾞ参照

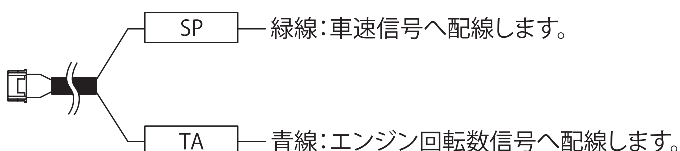
製品の取り付け（お客様・取り付け業者様へ）

⚠ 警告

【車速・エンジン回転数信号ハーネスを配線する際の注意】

本製品SPORTS－NV専用車種別接続ガイドを設定しております。

- 本製品SPORTS－NV専用車種別接続ガイドを設定しております。
  付属の専用接続ガイドをご確認の上、配線してください。
- 配線は、絶対に間違わないで配線してください。間違った線を配線すると、
  車両が破損する場合があります。
- 本製品は、弊社レブアダプター機能はありません。また、弊社商品 DF06301 レブアダプターと DF06302 レブアダプターは接続できません。絶対に配線しないでください。
- 配線は、エンジン、排気管、過給機、HID ユニット及びハーネス付近には配線しないでください。ハーネスの破損、溶断などにより、ショート事故による火災の原因になります。
- 配線は、断線がないか、また断線しかかってないか、水がかからない場所か確認してください。また、エンジンルーム内で配線を分岐する場合は、防水処理が確実に行われているか確認してください。ショート事故による火災の原因になります。



車速・エンジン回転数信号ハーネスを配線

1)SPORTS NV 専用車種別接続ガイドを参照し、青線（TA）を TA 信号に配線します。
2)SPORTS NV 専用車種別接続ガイドを参照し、緑線（SP）を SP 信号に配線します。

※配線は、ハンダ付けのやり方、エレクトロタップの使用方法参照ください。
※最新の SPORTS-NV 専用車種別接続ガイドは、Defi　Web サイトをご覧ください。
※ SPORTS-NV 用車種別接続ガイドに記載されていない車両の場合、不明点がある場合は、Defi お客様相談室までお問い合わせください。

製品の取り付け（お客様・取り付け業者様へ）

8 .車速･エンジン回転数信号ハーネスと電源ハーネスをコントロールユニットに接続します。

9 . 配線・接続確認のために、一旦通信ケーブルを使用して本体とコントロールユニットを接続します。本体はハーネスのみの仮接続のため、固定しないでください。

10 . バッテリーのマイナスターミナルを接続します。

11 . イグニッションオンにして、コントロールユニットの電源確認マークが点灯することを確認してください。電源ハーネスが正常に配線されている場合、コントロールユニットの電源確認マークが青く点灯します。

●電源確認マークが点灯しない場合：電源が取れていない。
イグニッションを一旦オフにし、電源ハーネスの配線をご確認ください。

12 . 電源確認マークの点灯を確認したら、イグニッションオンにして、エンジンを始動させてください。

13 . Sports&ECO Clusterのセッティング方法を参照し、本体の画面で、取り付けた車の車速パルスとエンジンの気筒数設定を行ってください。

14 . 車速とエンジン回転数表示を確認してください。
純正メーターと大きく値がずれているようでしたら、設定を確認してください。
車速・エンジン回転数表示が動かなかったりする場合は、直ちにエンジンを停止させ、バッテリーマイナス端子を外し、配線を再度確認してしてください。

15 . 車速とエンジン回転数表示に問題がないようでしたら、イグニッションをオフにします。

16 . 一度本体から通信ケーブルを外し、本体を取り付けたい場所にベース吸着板を設置し、クレードルと回転型スタンドを組み合わせて、回転型スタンドを設置してください。

⚠ 警告

❗「本体取り付け位置について」を再度確認し、前方視界基準を満たすように設置してください。また、ダッシュボードの汚れを良く拭き取り後に、設置してください。
❗ベース吸着板は、できるだけ平らな場所へ設置してください。

⇒「製品特長」の「回転型スタンド」「クレードル」を参照し、クレードルと回転型スタンドを取り付けしてください。

17 . クレードルと回転型スタンドを取り付けたら、クレードルの本体取付レールに本体背面のクレードル取付スリットへ差し込み固定します。

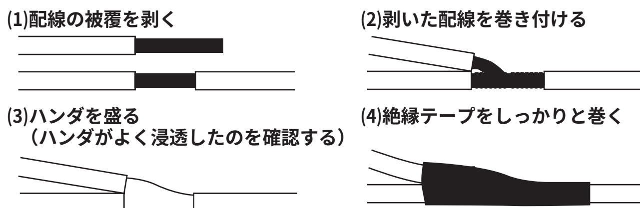
⚠ 警告

❗「カチッ」と音がするまで確実に押し下げロックされていることを確認してください。ロックされていないと本体が脱落し、事故の原因となります。

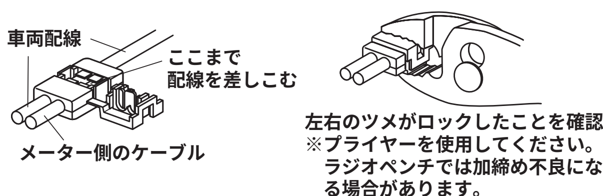
製品の取り付け（お客様・取り付け業者様へ）

■ハンダ付けのやり方・エレクトロタップの使用方法

●ハンダ付けのやり方



●エレクトロタップの使用方法



⚠危険

❗配線の接続は確実に行い、接続部の絶縁を必ず行ってください。接触不良や絶縁されていないとショートし、火災の原因となり大変危険です。

⚠ハンダ付けを行う際には半田こての扱いに注意し火傷を負わないようにしてください。また、近くに燃えやすい物があると火災の原因になり大変危険です。

製品の取り付け（お客様・取り付け業者様へ）

18. 回転型スタンドの角度調節ノブで、本体画面の見やすい方向へ調整し、締め付けて固定してください。

19. 通信ケーブルを本体に接続してください。

20. 通信ケーブルの引き回しを行い、運転に支障がないかを確認してください。

21. 付属の両面テープを使用してコントロールユニットを固定します。
本製品は、防水構造ではありません。コントロールユニット含め、設置場所は、足元や水のかかりそうな場所には絶対に設置しないでください。
コントロールユニットの電源確認マークがいつでも確認できるように設置してください。

22. 取付最終確認をします。

⚠ 警告

❗ 最終仕上げとして以下の項目を必ず実施してください。さもないと重大な事故が発生する恐れがあります。

・取り付けた配線が確実に接続されているか確認してください。
・ハーネスなどが運転の妨げにならないように、確実に固定されているか、もう一度確認してください。
・取り付けの際に取り外した車両側の内装、ハーネス類が元通りに戻されているか、エンジンコンピュータなどのコネクタの挿し忘れがないか、もう一度確認してください。

❗ 作業終了後は必ず、運転席やエンジンルームに何もないことを確認してください。運転席の足下に使用した工具類などがあると、ブレーキペダルの下に挟まり、ブレーキ操作が出来なくなるなどの恐れがあり大変危険です。また、エンジンルームに使用した工具があるとエンジン破損の恐れがあり大変危険です。

❗ バッテリーのマイナスターミナルをはずれないようにしっかりと取り付け、ボンネットを確実に閉めてください。

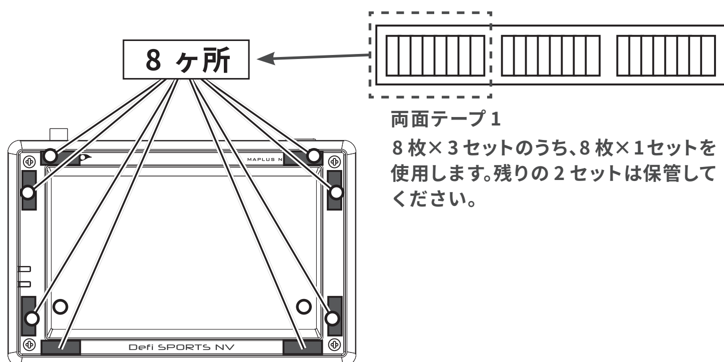
以上で取り付けは終了です。

製品の取り付け（お客様・取り付け業者様へ）

■トップパネルの取付方法

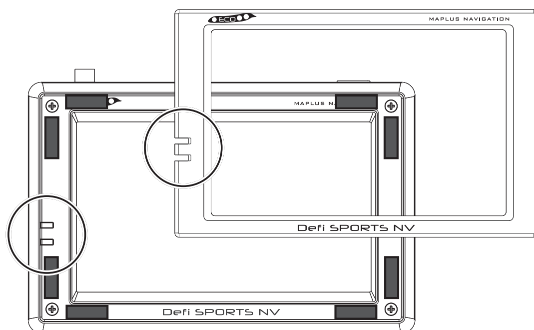
●お好みに合わせて、トップパネルを貼り付けてください。
貼り付けない場合、フロントパネル（ヘアラインステンレスパネル）が外観になります。
貼り付ける場合、黒色のトップパネルが外観になります。

●付属の両面テープを本体のフロントパネル（ヘアラインステンレスパネル）面に下図のように貼り付けてください。
図以外の範囲には両面テープを貼り付けないでください。
トップパネルを取り外す際、外せなくなったり、本体のフロントパネル（ヘアラインステンレスパネル）が変形する場合が　あります。



両面テープ１
8 枚×３セットのうち、8 枚×1セットを使用します。残りの２セットは保管してください。

●両面テープを貼り付けたら、両面テープの剥離紙を剥ぎ、トップパネルを被せます。
●被せる際は、下図の○印のＬＥＤ表示部がズレないように貼り付けてください。



●被せた後は、両面テープがしっかり付くように、軽くトップパネル上面を押さえてください。

電源を入れ起動する

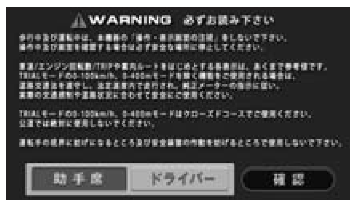


お買いげ時は内蔵ボタン電池が充電されていません。ご使用の前に必ず充電を行ってください。スタンバイボタンまたは電源スイッチから本体電源を入れて本体を起動します。工場出荷時は電源スイッチがオフになっていますので電源スイッチから起動してください。充電はメインスイッチオンとしてスタンバイボタンを長押しでスタンバイモード（表示オフ）状態で充電してください。（24時間程度）

電源スイッチとスタンバイボタンについて

本体左側面の電源スイッチは本体の主電源をコントロールするものです。お買い上げ時はオフになっていますので、最初はこちらから本体電源を入れてください。

本体右側のスタンバイボタンは一時的に電源を切るためのものです。主電源が入った状態（電源スイッチがオンの状態）でこのボタンから電源を切った場合は、直前に使用していた状態がそのまま保存されます。通常は主電源が入った状態のまま、イグニッションオン/オフします。



モード選択画面で、操作モードを選びます。

●ドライバーモード

ナビゲーション機能は移動速度が10km/h以上になると一部の機能が操作できなくなります。ワンセグテレビ、メディアプレーヤーは速度に関係なく使用できなくなります。

●助手席モード

移動速度に関係なく常時使用可能です。

⚠ 警告

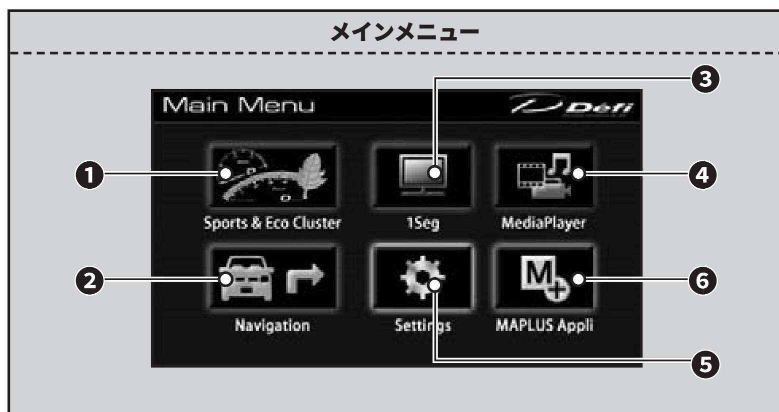
運転中は画面を注視せず、操作を行わないでください。

運転中は必ず『ドライバーモード』で使用し、運転者は操作を行わないでください。また、画面を注視しないでください。
『ドライバーモード』を選択してもSports&ECO Clusterのセッティングを含めた操作は出来ます。操作する場合は、安全な場所に停車してから操作してください。



起動画面に続いてメインメニューが表示されます。

メインメニュー画面



メインメニュー

操作モードを選択後に表示される基本メニューです。ナビゲーションやメディアプレーヤー、ワンセグテレビなどの機能を起動したり、画面の明るさや音量などの本体の全体的な設定を行います。また、本体のメインメニューボタンを押すとこの画面が表示されます。

---

❶ S ports & E C O Clusterーボタン

スポーツ&エコクラスターを起動します。（ →S ports & E C O Clusterの項へ ）

❷ Navigationボタン

ナビゲーション機能を起動します。

（ →ナビゲーション機能の項へ ）

❸ 1Segボタン

ワンセグテレビを起動します。

（ →ワンセグテレビの項へ ）

❹ Media Playerボタン

ミュージックプレーヤー、ムービープレーヤー、フォトビューアを起動します。
（ →メディアプレーヤーの項へ ）

❺ Settingsボタン

液晶ディスプレイや音声出力、バッテリー、センサーに関する設定や確認を行います。
（ →本体の基本的な設定の項へ ）

❻ MAPLUS Appliボタン

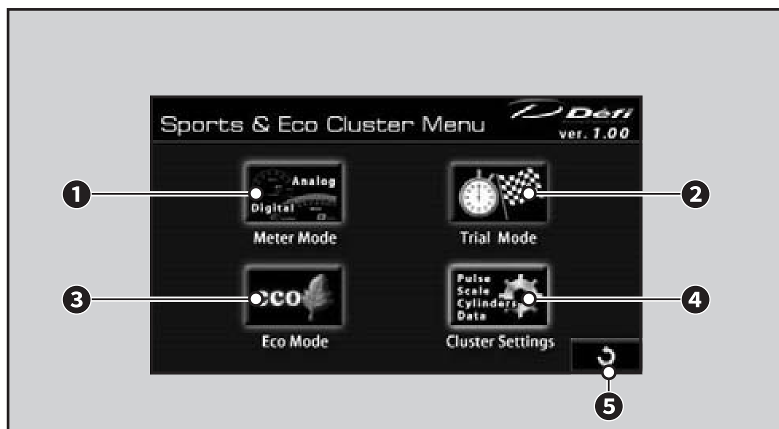
収録した『MAPLUS Appli (マップラスアプリ)』などを起動します。

Defi Sports＆ECO Cluster

1. メインメニュー



2. スポーツ＆エコクラスターメニュー



❶ **Meter Mode（メーターモード）ボタン：2-1 参照**
メーターモード（デジタルメーター、アナログメーター、エコゲージ）に移行します。

❷ **Trial Mode（トライアルモード）ボタン：2-2 参照**
0-100km/h簡易計測、0-400m簡易計測、トライアルコース作成、記録したデータの確認などを行うトライアルメニューに移行します。

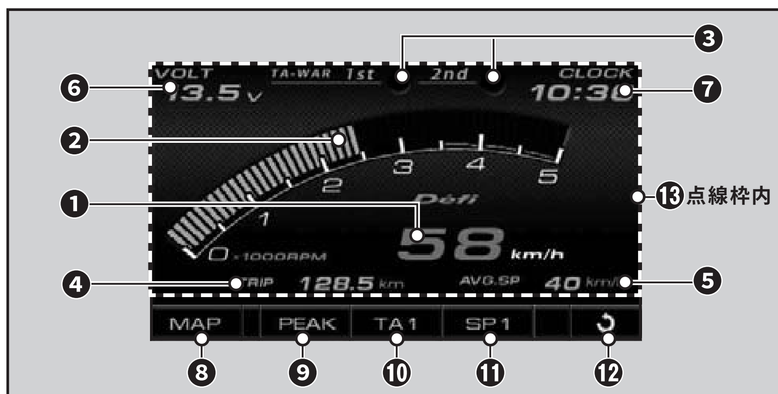
❸ **ECO Mode（エコモード）ボタン：2-3 参照**
エコドライブモード、燃費計算、エコ履歴確認などを行うモードに移行します。

❹ **ClusterSettings（クラスターセッティング）ボタン：2-4 参照**
車速パルス設定や気筒数設定などを行うモードに移行します。

❺ **戻るボタン**：メインメニューに戻ります。

2-1　メーターモード

メータータイプA（デジタルタコメーター）



❶**車速**：車両の速度を表示します。
最大 400km/hまで表示可能です。
車速ワーニング設定値以上になると数値が赤色に変わります。（車速のワーニング音は鳴りません。）
ワーニング設定値はメーターメニューで変更します。

❷**エンジン回転数**：車両のエンジン回転数を表示します。
最大 11,000rpmまで表示可能です。
スケールは 2-4 クラスターセッティングで変更できます。

❸**タコワーニングインジケータ 1st、2nd**
エンジン回転数がワーニング設定値 1st 以上になると、TA-WAR 1stが橙色に点滅。
2nd 以上になると、TA-WAR 2ndが赤色に点滅します。（この時 1stは点灯に変わります）
ワーニング設定値はメーターメニューで変更します。
エンジン回転数 2ndを超えるとワーニング音「ON」の場合ワーニング警告音が鳴ります。

❹**トリップ**：車両の走行距離を表示します。

❺**平均車速**：現在のトリップ値と経過時間（トリップ 0kmからの経過時間）から平均車速を求めて表示します。

❻**電圧**：バッテリー電圧を表示します。

❼**時計**：時刻を表示します。GPS衛星からの時刻情報を使用しているので、時刻合わせは不要です。

❽ **MAPボタン**：ナビゲーション表示に移行します。

❾ **PEAKボタン**：車速とエンジン回転数のピーク値が表示されます。（ピーク表示中はPEAK RESETボタンが表示されます。）ピーク表示中にPEAK RESETボタンをタッチするとピーク値がリセットされます。

❿ **TA1（TA2）ボタン**：タコワーニング設定 1、2 を切り換えます。

⓫ **SP1（SP2）ボタン**：車速ワーニング設定 1、2 を切り換えます。

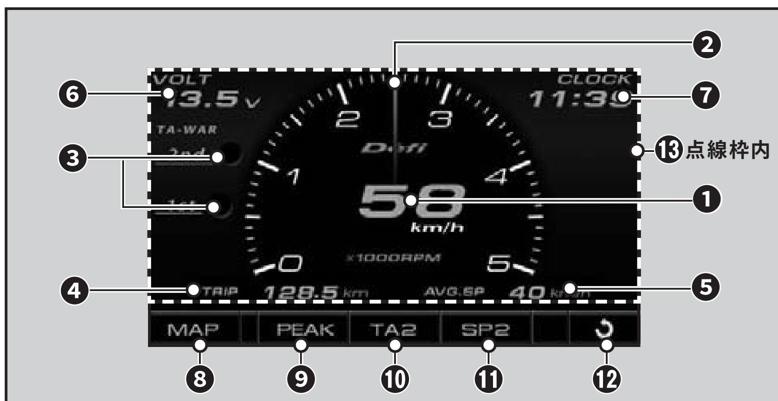
⓬**戻るボタン**：スポーツ＆エコクラスターメニューに移行します。

⓭**メーターメニューボタン**：メーター画面（点線枠内）をタッチするとメーターメニューに移行します。

Defi Sports＆ECO Cluster

2-1　メーターモード

メータータイプ B (アナログタコメーター)



❶ **車速**:車両の速度を表示します。
最大 400km/h まで表示可能です。
車速ワーニング設定値以上になると数値が赤色に変わります。(車速のワーニング音は鳴りません。)
ワーニング設定値はメーターメニューで変更します。

❷ **エンジン回転数**:車両のエンジン回転数を表示します。
最大 11,000rpm まで表示可能です。
スケールは 2-4 クラスターセッティングで変更できます。

❸ **タコワーニングインジケータ 1st、2nd**
エンジン回転数がワーニング設定値 1st 以上になると、TA-WAR 1st が橙色に点滅。
2nd 以上になると、TA-WAR 2nd が赤色に点滅します。(この時 1st は点灯に変わります)
ワーニング設定値はメーターメニューで変更します。
エンジン回転数 2nd を超えるとワーニング音「ON」の場合ワーニング警告音が鳴ります。

❹ **トリップ**:車両の走行距離を表示します。

❺ **平均車速**:現在のトリップ値と経過時間 (トリップ 0km からの経過時間) から平均車速を求めて表示します。

❻ **電圧**:バッテリー電圧を表示します。

❼ **時計**:時刻を表示します。GPS 衛星からの時刻情報を使用しているので、時刻合わせは不要です。

❽ **MAP ボタン**:ナビゲーション表示に移行します。

❾ **PEAK ボタン**:車速とエンジン回転数のピーク値が表示されます。(ピーク表示中は PEAK RESET ボタンが表示されます。) ピーク表示中に PEAK RESET ボタンをタッチするとピーク値がリセットされます。

❿ **TA1 (TA2) ボタン**:タコワーニング設定 1、2 を切り換えます。

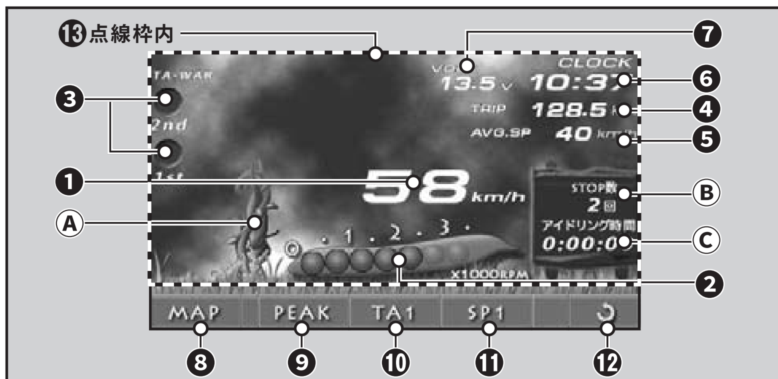
⓫ **SP1 (SP2) ボタン**:車速ワーニング設定 1、2 を切り換えます。

⓬ **戻るボタン**:スポーツ＆エコクラスターメニューに移行します。

⓭ **メーターメニューボタン**:メーター画面 (点線枠内) をタッチするとメーターメニューに移行します。

2-1　メーターモード

エコゲージ(車速入力が 10 秒間ない状態 (アイドリング中) になるとアイドリングモード表示に切り替わります。)



Ⓐ豆のつる
より低いエンジン回転で効率よくエコ運転すると、つるが伸び、花が咲いたり、実がなったりします。最大達成時は「 金の豆 」 が実ります。効率が悪い運転をすると、つるが縮みます。メーターメニューのエコレベル設定に応じてつるの伸びやすさが変わります。

Ⓑ STOP 回数
スポーツ＆エコクラスターが動作してからの停車回数をカウントします。
停車、発進回数が多いほど、燃料を消費しますので、エコ運転の参考になります。

Ⓒアイドリング時間
車両が停止している時間 (アイドリングしている時間) を表示します。
アイドリング時間が長いと、つるが縮んできます。

❶車速 : 車両の速度を表示します。

❷エンジン回転数 : 車両のエンジン回転数を表示します。
最大 3,500rpm まで表示可能です。※スケールは変更できません。

❸タコワーニングインジケータ 1st、2nd
エンジン回転数がワーニング設定値 1st 以上になると、TA-WAR 1st が橙色に点滅。
2nd 以上になると、TA-WAR 2nd が赤色に点滅します。(この時 1st は点灯に変わります)
ワーニング設定値はメーターメニューで変更します。
エンジン回転数 2nd を超えるとワーニング音「ON」の場合ワーニング警告音が鳴ります。

❹トリップ : 車両の走行距離を表示します。

❺平均車速 : 現在のトリップ値と経過時間 (トリップ 0km からの経過時間) から平均車速を求めて表示します。

❻電圧 : バッテリー電圧を表示します。

❼時計 : 時刻を表示します。GPS 衛星からの時刻情報を使用しているので、時刻合わせは不要です。

❽ MAP ボタン : ナビゲーション表示に移行します。

❾ PEAK ボタン : 車速とエンジン回転数のピーク値が表示されます。(ピーク表示中は PEAK RESET ボタンが表示されます。)ピーク表示中に PEAK RESET ボタンをタッチするとピーク値がリセットされます。

❿ TA1（TA2）ボタン : タコワーニング設定 1、2 を切り換えます。

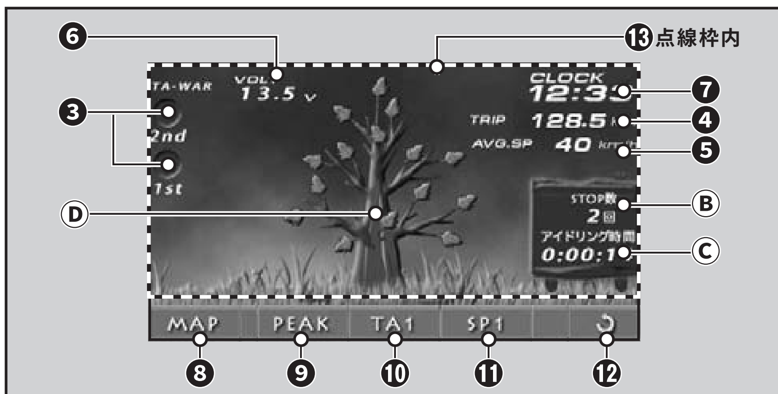
⓫ SP1（SP2）ボタン : 車速ワーニング設定 1、2 を切り換えます。

⓬戻るボタン : スポーツ＆エコクラスターメニューに移行します。

⓭メーターメニューボタン : メーター画面 (点線枠内) をタッチするとメーターメニューに移行します。

2-1 メーターモード

アイドリングモード(車速入力が10秒間ない状態(アイドリング中)になるとアイドリングモード表示に切り替わります。)



Ⓑ STOP回数
スポーツ＆エコクラスターが動作してからの停車回数をカウントします。
停車、発進回数が多いほど、燃料を消費しますので、エコ運転の参考になります。

Ⓒアイドリング時間
車両が停止している時間(アイドリングしている時間)を表示します。
アイドリング時間が長いと、つるが縮んできます。

Ⓓ木と葉
約20分程度で葉がなくなり、空の色がくすみます。

❸タコワーニングインジケータ 1st、2nd
エンジン回転数がワーニング設定値1st以上になると、TA-WAR 1stが橙色に点滅。
2nd以上になると、TA-WAR 2ndが赤色に点滅します。(この時1stは点灯に変わります)
ワーニング設定値はメーターメニューで変更します。
エンジン回転数2ndを超えるとワーニング音「ON」の場合ワーニング警告音が鳴ります。

❹トリップ:車両の走行距離を表示します。

❺平均車速:現在のトリップ値と経過時間(トリップ0kmからの経過時間)から平均車速を求めて表示します。

❻電圧:バッテリー電圧を表示します。

❼時計:時刻を表示します。
GPS衛星からの時刻情報を使用しているので、時刻合わせは不要です。

❽ MAPボタン:ナビゲーション表示に移行します。

❾ PEAKボタン:エコゲージに切り替わり車速とエンジン回転数のピーク値が表示されます。(ピーク表示中はPEAKRESETボタンが表示されます。)ピーク表示中にPEAK RESETボタンをタッチするとピーク値がリセットされます。

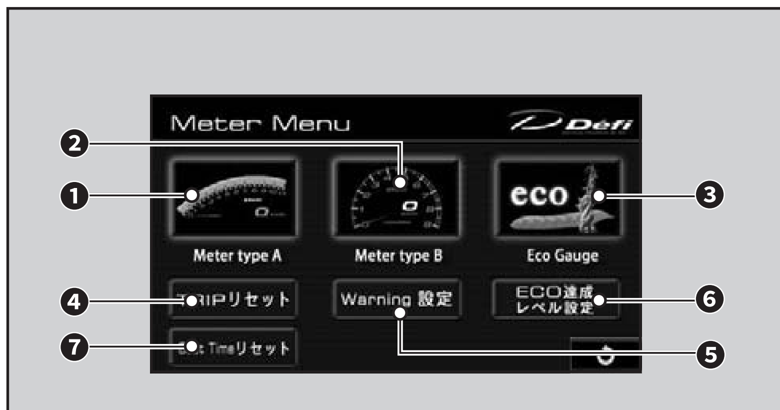
❿ TA1(TA2)ボタン:タコワーニング設定1、2を切り換えます。

⓫ SP1(SP2)ボタン:車速ワーニング設定1、2を切り換えます。

⓬戻るボタン:スポーツ＆エコクラスターメニューに移行します。

⓭メーターメニューボタン:メーター画面(点線枠内)をタッチするとメーターメニューに移行します。

メーターメニュー



❶ **Meter type A ボタン：**デジタルタコメーターのメーター表示に移行します。

❷ **Meter type B ボタン：**アナログタコメーターのメーター表示に移行します。

❸ **ECO Gaugeボタン：**エコゲージ表示に移行します。

❹ **TRIP リセットボタン：**トリップ値を０に戻します。
トリップをリセットすると平均車速もリセットされ、エコゲージのつるは初期状態に戻ります。







❺ **Warning 設定ボタン：**車速とエンジン回転数のワーニング設定値を変更します。





SP1：車速ワーニング 1 設定値

SP2：車速ワーニング 2 設定値

TA1　1st：タコワーニング 1　1 段階目設定値

TA1　2nd：タコワーニング 1　2 段階目設定値

TA2　1st：タコワーニング 2　1 段階目設定値

TA2　2nd：タコワーニング 2　2 段階目設定値

WARNING 音：ワーニング時ブザー音の ON/OFF 設定
エンジン回転数 2nd を超えるとワーニング音「ON」の場合ワーニング
警告音が鳴ります。

上下ボタン：ワーニング設定値を上下します。

初期化ボタン：ワーニング設定値を初期値に戻します。

Meter 画面ボタン：メーター画面へ移行します。

戻るボタン：メーター画面へ戻ります。

❻エコ達成レベル設定:エコレベルが高い方がより効率のよいエコ運転を要求されます。



❼ベストタイムリセット



- **TRIAL Dataボタン:**トライアル時のベストタイムリセットは、トライアルメニューの簡易計測中にリセットできます。(トライアルのベストタイムはそれぞれのコースデータに記録されています。)
- **0-100km/h Dataボタン:**0-100km/hのベストタイムをリセットします。
- **0-400m Dataボタン:**0-400mのベストタイムをリセットします。









2-2 トライアルメニュー



各種簡易タイム計測を行う機能で、走行したデータはマイクロSDカードに保存され、走行後に確認できます。

❶ TRIAL（トライアル）ボタン：

トライアル計測を行うコースの作成、作成したコースでのトライアル簡易計測などを行います。

※一般道で使用する場合は、道路交通法に従って走行してください。

❷ 0-100km/h簡易計測ボタン：

停車状態からスタートして100km/hに達するまでの時間を簡易計測します。

※クローズドコース専用機能です。一般道では使用しないでください。

❸ 0-400m簡易計測ボタン：

停車状態からスタートして400m走行するまでの時間を簡易計測します。

※クローズドコース専用機能です。一般道では使用しないでください。

❹ 分析ボタン：

トライアル計測、0-100km/h簡易計測、0-400m簡易計測で記録したデータを確認できます。

⚠ 危険

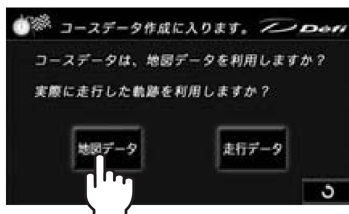
- TRIALモードを公道で使用する場合は法定速度内で安全運転してください。
  運転情報（経済運転など）を知るための機能であり、競うための機能ではありません。
  法定速度内でも、競うような運転、走行はしないでください。
- 0-100km/h簡易計測、0-400m簡易計測を使用する場合は絶対に公道では使用しないでください。クローズドコース専用機能です。

2-2-1 トライアル



コース作成ボタン

コース作成を選択すると、地図上でコースを作成するか、トライアルのログで記録した走行データからコースを作成するかを選択します。



地図データを選択した場合



最初に登録ボタンを押した場所にスタートポイントのマークが表示されます。走行順にポイントを登録すると、自動でポイント間にコースが引かれていきます。交差点や道路が複雑な場合は交差点、曲がりたいポイントで登録するようにしてください。



修正ボタンをタッチすると、1つ前に登録したポイントに戻ります。



コースを作り終えたら終了ボタンをタッチします。

2-2-1 トライアル



作成したコースがサーキットなどスタートとゴールポイントが同じ場合はクローズ型を選択します。スタートポイントとゴールポイントが異なる場所の場合はオープン型を選択します。



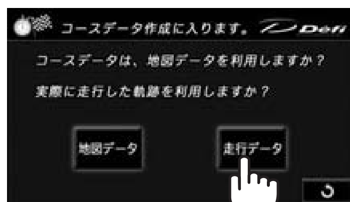
ST（スタート）とGO（ゴール）ポイントを確認し、必要であれば青色のコース上でST（スタート）とGO（ゴール）ポイント位置を修正して終了ボタンをタッチします。



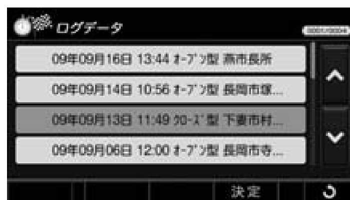
コースデータに名前をつけて保存します。自動でスタートポイントに近い地名が表示されます。

BSキーで削除して編集もできます。

※ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字入力が出来ます。漢字変換は出来ません。



走行データを選択した場合



ログデータとして保存されているデータからコースが作成できます。コースデータを作成したいログデータを選択します。

2-2-1 トライアル



ログデータの軌跡上でスタートポイントを設定します。クローズ型の場合はスタートポイントがLAP計測されるポイントになります。スタートポイントを登録したら終了ボタンをタッチします。

スタートポイントとゴールポイントに変更がない場合は終了ボタンをタッチします。



作成したコースデータに名前をつけて保存します。自動で近くの地名が表示されていますがBSキーで削除して編集できます。
「○○年○○月○○日○○：○○ クローズ型」はBSキーで削除できません。

2-2-1トライアル ❗ 一般道では道路交通法に従って走行してください。



ログボタン

トライアルメニュー　→　トライアル　→　ログを選択



メーター画面にSTARTボタンが表示されます。STARTボタンをタッチするとログを開始し、走行データのマイクロSDカードへの保存が始まります。

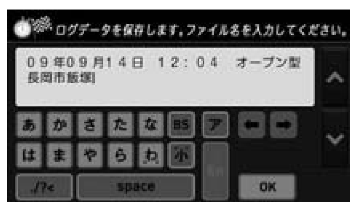


ログが開始されるとSTARTボタンがSTOPボタンに変わります。



ログを終了したい場合はSTOPボタンをタッチします。

※ログ機能はエコゲージでは動作しません。
※終了ボタンをタッチせずに計測中のままエンジンオフ（イグニッションオフ）するとデータは保存されません。



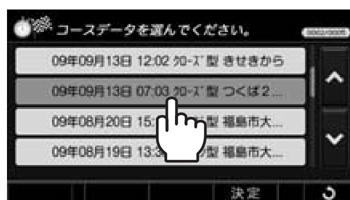
ログデータに名前を付けて保存します。
ログを開始した地点の地名が初期値として表示されます。BSキーで削除して編集もできます。
「○○年○○月○○日○○：○○　オープン型」はBSキーで削除できません。

2-2-1 トライアル　❗一般道では道路交通法に従って走行してください。



簡易計測ボタン

トライアルメニュー　→　トライアル　→
簡易計測を選択



計測するコースデータの読み込み画面が表示されますので、選択します。



選択したコースの地図が表示されますので、よければ次へボタンをタッチします。



メーター画面にSTARTボタンが表示されるのでSTARTボタンをタッチします。スタートポイントを通過するとタイム計測を開始し、走行データのマイクロSDカードへの保存が始まります。

※計測機能はエコゲージでは動作しません。



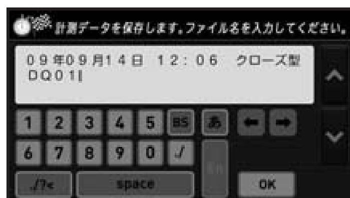
クローズ型を選択していた場合はSTOPボタンをタッチするまで計測を継続します。

2-2-1 トライアル　❗一般道では道路交通法に従って走行してください。



オープン型を選択していた場合はゴールポイントを通過すると計測が終了します。

⚠計測は、GPS情報を使用しています。天空状態、周囲の環境、天候等で誤差が生じますので計測タイムはあくまで目安です。



走行したデータに名前を付けて保存します。コース名の名前が初期値として表示されていますが、BSキーで削除して編集できます。「○○年○○月○○日○○：○○ クローズ型」はBSキーで削除できません。

2-2-1 トライアル　❗一般道では道路交通法に従って走行してください。



スタート＆ゴールポイント編集ボタン

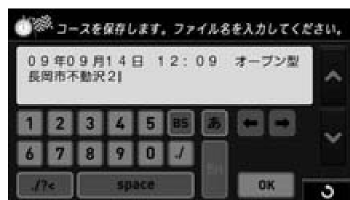
トライアルメニュー　→　トライアル　→
スタート＆ゴールポイント編集を選択



スタートポイントとゴールポイントを入れ替えたい場合はスタートゴール入れ替えボタンをタッチします。
※ 1 回 ST 又は GO の登録の修正を行うと ST⇄GO アイコンは消えます。



スタートポイントを移動したい場合は、十時カーソルの中心をポイントに合わせて登録ボタンを押し、良ければ終了ボタンをタッチします。
そのままでいい場合は終了ボタンをタッチします。
ゴールポイントを移動したい場合は、十時カーソルの中心をポイントに合わせて登録ボタンをタッチし、良ければ終了ボタンをタッチします。
そのままでいい場合は終了ボタンをタッチします。



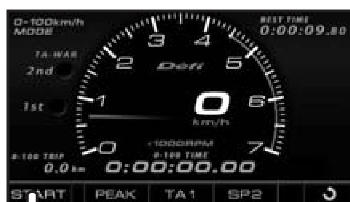
編集したコースデータに名前を付けて保存します。コース名の名前が初期値として表示されます。BS キーで削除して編集できます。
「○○年○○月○○日○○:○○ オープン型」は BS キーで削除できません。

2-2-2　0-100km/h簡易計測

**❗クローズドコース専用機能です。
一般道では行わないでください。**

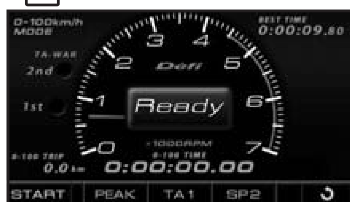


0-100km/h簡易計測ボタン
トライアルメニュー　→　0-100km/h簡易計測を選択



タイム計測画面が表示されます。スタートボタンをタッチすると計測開始待ち状態になります。

※停車した状態で行ってください。



車速が入力されると自動的にタイム計測が開始されます。



車速が100km/hになると自動的に終了し、計測したタイムが表示されます。

ベストタイムを更新すると、自動的に記録されます。

※ 0-100km/h計測機能は、エコゲージでは動作しません。
エコゲージを選択していた場合は、自動的にメータータイプＡに変わります。

2-2-3　0-400m簡易計測　❗クローズドコース専用機能です。一般道では行わないでください。



0-400m簡易計測ボタン

トライアルメニュー　→　0-400m簡易計測を選択



タイム計測画面が表示されます。スタートボタンをタッチすると計測開始待ち状態になります。

※停車した状態で行ってください。



車速が入力されると自動的にタイム計測が開始されます。

⚠計測は、GPS情報を使用しています。天空状態、周囲の環境、天候等で誤差が生じますので計測タイムはあくまで目安です。

スタート時にホイールスピンしてもGPSで簡易距離補正されます。



400m走行すると自動的に終了し、計測したタイムが表示されます。

ベストタイムを更新すると、自動的に記録されます。

※ 0-400m/h簡易計測機能は、エコゲージでは動作しません。
エコゲージを選択していた場合は、自動的にメータータイプAに変わります。

2-2-4　分析

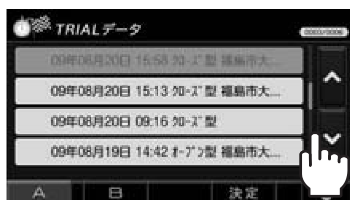


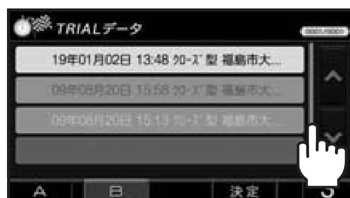
分析ボタン

トライアルメニュー　→　分析を選択



分析メニューが表示されます。
分析したいデータの種類を選択します。





分析では記録した1つの計測データを確認することができます。また2つの計測データを同時に比較して確認することもできます。

・1つの計測データを確認するとき→
　計測データを選択し決定ボタンをタッチします。

・2つの計測データを確認するとき→
2つの計測データはそれぞれデータA、データBとして読み込まれます。
データAは赤色、データBは黄色として表示されます。
　最初に選択した計測データはA（赤色）として読み込まれます。次にBボタンをタッチすると最初に読み込んだデータAと同じコースの計測データのみが表示されますので比較したい計測データを選択します。選択した計測データはデータB（黄色）として読み込まれます。
※2つの計測データを比較するには同じコースの計測データが複数必要です。1つしかない場合はデータBは表示されません。

2-2-4　分析

❶グラフ表示部：上下 2 段表示され、グラフ設定で選択した項目が表示されます。

❷データ表示部：現在のカーソル位置の各情報が数値で表示されます。

❸コース表示部：コース上に再生中の自車位置が表示されます。

❹グラフ設定ボタン:グラフに表示する項目やスケールを設定します。(2-2-4 グラフ設定参照)

❺逆再生ボタン：データを逆再生します。

❻一時停止ボタン：再生を停止します。

❼再生ボタン：データを再生します。

❽戻るボタン：ファイル選択画面に戻ります。

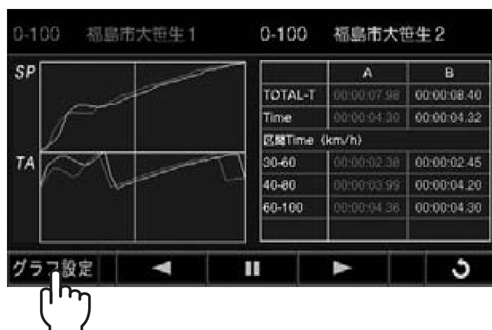
※❶❷❸はグラフ、データ、コース 3 つの内のいずれか 2 つの表示が可能です。

データ A は赤色で表示され、データ B は黄色で表示されます。

分析画面はグラフ表示、データ表示、コース表示の３種類があり、左右２画面に表示されます。２画面のどちらかを押すと、画面が切り替わります

例、左にグラフ表示、右にデータ表示がある場合、左の画面を押すと、左の画面がコース表示に切り替わります。

2-2-4　分析　グラフ設定





❶グラフ表示　上段、下段

グラフ表示で選択できる項目は、車速（SP）、エンジン回転数（TA）、縦G、横Gの4項目です。

❷グラフ横軸

距離と時間が選択できます。0-100km/h、0-400mデータを分析する場合は、横軸は時間で固定となります。

❸スケール

横軸距離の場合：4km,2km,1km,500m,250m
横軸時間の場合：4分,2分,1分,30秒,15秒
0-100km/h、0-400mデータを分析する場合のスケールはTOTALが選択できます。

2-3 エコモードメニュー



❶エコ履歴
スポーツ＆エコクラスターが動作してから終了するまでの走行履歴が自動でマイクロSDカードに保存されており、エコ履歴表示で確認できます。

❷燃費計算機：P144 参照

❸エコドライブモード：P142 参照

2-3 エコ履歴



スポーツ＆エコクラスターが動作してから終了するまでの走行履歴が自動でマイクロSDカードに保存されており、エコ履歴表示で確認できます。

❶日付：スポーツ＆エコクラスターが動作した日付です。

❷時間：スポーツ＆エコクラスターがオンした時間、オフした時間が表示されます。

❸走行距離：スポーツ＆エコクラスターが動作している時間に走行した距離が表示されます。

❹ストップ回数：スポーツ＆エコクラスターが動作している時間に停車した合計回数が表示されます。

❺平均車速：スポーツ＆エコクラスターが動作している時間の平均車速が表示されます。

❻アイドリング時間：スポーツ＆エコクラスターが動作している時間にアイドリングした合計時間が表示されます。

❼履歴初期化ボタン：エコ履歴が初期化されます。

2-4　クラスターセッティング



変更したい項目のボタンをタッチし、上下スイッチで設定値を変更します。
車両に応じて設定する必要があります。

❶車速パルス設定ボタン

設定範囲　2、4、8、16、FREE

車両に応じて設定してください。ほとんどの車両は 4 パルス設定ですが、日産車では、2 パルス設定、8 パルス設定の車両もあります。またいずれの設定を行っても純正メーター 等と合わない場合は、FREE 設定で設定すると合わせせることができる場合があります。



車速パルスFREE 設定方法

⃠車速パルス FREE 設定は公道では絶対に行わないでください。

❗車速パルス FREE 設定は必ずシャーシダイナモ等の計測装置上で行ってください。

上下スイッチで FREE 設定を選択すると、画面右下に“ 車速パルスフリー設定 ”ボタンが表示されますので、タッチします。





正常に設定されると、左の画面が表示されます。
設定可能範囲外だった場合は設定されません。

2-4　クラスターセッティング

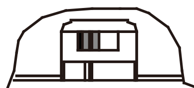


設定可能範囲外だった場合は設定されません。左記の画面が表示されます。
この場合、コントロールユニットのSP設定スライドスイッチの設定を切替えて再度パルスフリー設定を行ってみてください。正常に設定される場合があります。

ＳＰ設定スライドスイッチ

スイッチ頭部
左側：LOW（国産車）2,4,8,16 パルス・パルスフリー
右側：HI（外国車など）パルスフリー

右図は、スイッチ頭部が左側です。



2-4　クラスターセッティング



❷タコ気筒数設定

設定範囲　1,2,3,4,5,6,8気筒
車両の気筒数に応じて設定してください。
また個別コイルで点火信号から配線している場合は、Defi車種別接続ガイドに記載の気筒数に設定してください。



❸タコスケール設定

設定範囲：
5,000、7,000、9,000、11,000rpm
タコメーターのフルスケールを選択します。

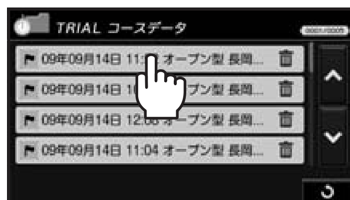


❹データ管理

作成したコースデータや、トライアル計測データ、ログデータなどファイル名を変更、削除、コメント追加、アイコン変更を行います。

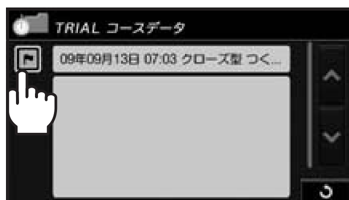


変更したい項目をタッチします。

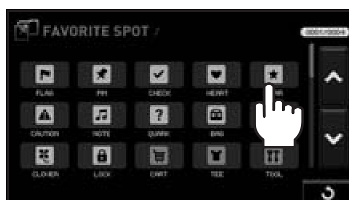


変更したいファイルをタッチします。

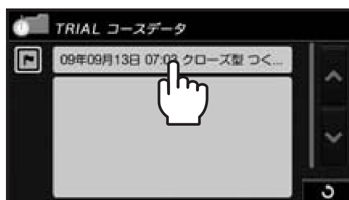
2-4　クラスターセッティング



アイコン変更
アイコン選択ボタンをタッチします。



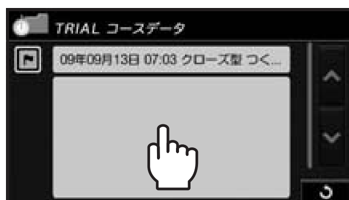
アイコン変更
アイコン一覧が表示されるので、お好みのアイコンを選びます。



ファイル名変更
ファイル名表示エリアをタッチします。



ファイル名変更
サーキットコース名称など、お好きな情報を入力し、OKボタンをタッチすると、入力した情報が保存されます。
※ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字入力が出来ます。漢字変換は出来ません。

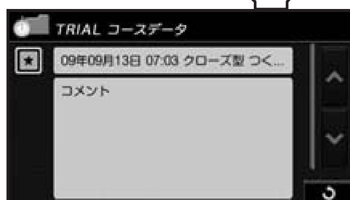


コメントの追加
コメント表示エリアをタッチします。

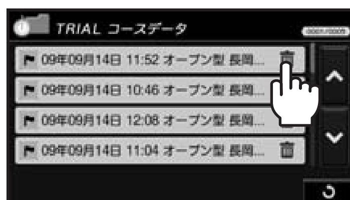
2-4　クラスターセッティング



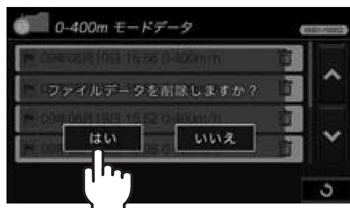
コメントの追加
お好きな情報を入力し、OK ボタンをタッチすると、入力した情報が保存されます。
※ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字入力が出来ます。漢字変換は出来ません。



変更後イメージ



ファイルの削除
ファイルの削除をするには、削除したいファイルのゴミ箱ボタンをタッチします。



ファイルの削除
「はい」をタッチするとファイルが削除されます。一度削除したデータは、元へは戻せませんのでご注意ください。

❺デモモードについて

デモモードを ON に設定すると、メインメニューで 3 分間操作がなかった場合、デモモードに遷移し、デモ画面が切り替え表示されます。デモモード中に画面をタッチするとメインメニューに戻ります。

❻設定初期化について

初期化ボタンを押すとクラスターセッティングの設定値が初期設定値に戻ります。

地図画面の基本的な使い方

メインメニューからナビゲーション機能を起動すると、最初に表示されるのが現在地画面です。GPS電波を受信すると現在地を正しく表示し、検索メニューでの現在地もその場所になります。GPS電波を受信できない場合は最後にGPS電波を受信した位置を現在地として表示し、検索時もその場所を現在地として設定します。また、画面に直接触れることで地図をスクロールすることができます。

1 現在地を表示する



P66

電源を入れてGPS電波を受信すると、現在地を表示します。地図の表示方向を切り替えたり、案内／表示ボタンの整理などを行うことができます。また、直接地図に触れ、地図をスクロールすることができます。

2 付近の地点情報を調べる



P71

地図画面からナビゲーションバーを呼び出し、様々な機能を使うことができます。地点付近の施設を簡単に検索したり、目的地などに設定して詳しいルート設定をすることができます。また、施設や地点を登録したり、地点情報をQRコードにして携帯電話などで読み込ませることもできます。

3 ナビゲーションメニューを使う



P77

ナビゲーションバーからナビゲーションメニューを呼び出します。詳しい地点検索やルート設定、各種設定、登録したデータの管理など、操作の基本となる画面です。

4 地点を検索する



P77

施設の名称や住所、電話番号などを入力して、お好みの施設や地点を検索し地図上に表示します。

5 地点を登録する（おこのみスポット）

P96

現在地や検索した地点、施設を、おこのみスポットとして登録します。

⚠ 警告

運転中、本製品の操作や注視をしないでください。

事故の原因となります。特に運転者が運転中に操作することは大変危険です。運転中はドライバーモードで使用し、運転者は操作を行わないでください。

交通規則や実際の道路状況に従って走行してください。

ナビゲーションと実際の交通状況が合っていないときに、無理にナビゲーションに従って走行すると事故の原因となります。状況に合わせて走行してください。

現在地画面／地図画面



現在地画面

ナビゲーションを起動すると最初に表示される画面です。GPS電波を受信すると位置を測定し正しい現在地を表示します。GPS電波を受信できないときは、最後にGPS電波を受信した位置を現在地として表示します。

---

❶地図方向表示／切替ボタン

地図の表示モード（ヘディングアップ／ノースアップ）を表示します。タッチして表示方法を切り替えます。

❷現在時刻表示

現在の時刻を表示します。

❸現在地表示

現在地を表するとともに、GPS電波の受信状態を表示します。矢印が赤色のときはGPS電波を受信しています。

❹地図縮尺表示／縮尺切替バー表示ボタン

現在表示されている地図の縮尺を表示します。縮尺表示をタッチすると縮尺切替バーを表示します。縮尺切替バーは、上限のプラス（+）またはマイナス（-）をタッチすることで地図の縮尺を切り替えることができます。また、バー上を上下になぞることでも縮尺切替が可能です。

❺現在地名表示／道路名表示

現在地のエリア名を表示します。道路名称のある大きな道路にいる場合は、タッチすると道路の名称を表示します。

❻ナビゲーションバーボタン

ナビゲーションバーを表示します。

❼ごみ箱ボタン

地図方向表示／切替ボタンや現在時刻表示などの一部のボタンは、ごみ箱へドラッグして捨てることにより画面から消すことができます。ごみ箱をタッチすると一旦消去したボタンが一覧表示され、選択すると画面上へ戻ります。

また、ごみ箱にはあらかじめミュージックプレーヤー操作パネルボタンが入っています。これはミュージックプレーヤーをナビゲーション画面からコントロールできる操作パネルを呼び出すためのボタンです。このボタンも、ごみ箱の中から選択することにより画面に常時表示させることができます。

❽メーターボタン

メーター表示に移行します。

現在地画面／地図画面



地図画面

地図に直接タッチして、地図をスクロールしていくことができます。地図の中心にしたい点をタッチしたり、地図をなぞることでもスクロールできます。

---

❶地図中心点表示

地図の中心点を示します。

❷中心地点施設名表示

中心地点に何らかの施設があるときは、登録されているデータがある場合はその名称を表示します。

❸現在地ボタン

タッチして現在地画面へ戻ります。



スクロール中の地図上では、ボタンの表示などは省略されます。

中心地点施設名表示にはスクロール中は、タッチしている地点の緯度経度を替わりに表示します。

現在地画面／地図画面



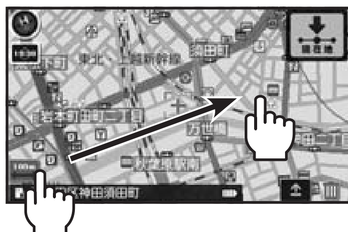
地図のスクロール：中央にしたい点をタッチする

地図画面の中心に表示したい点を１回タッチすると、地図が移動してタッチした点を中心とする地図が表示されます。



地図を見たい方向をタッチし続ける

地図が移動し続けます。最終的に画面から離した地点を中心とした地図が画面に表示されます。



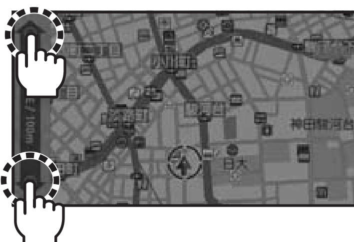
地図をなぞる

画面上でタッチした地点を基準に地図をスクロールすることができます。

地図の縮尺を変更する



地図縮尺表示／縮尺切替バー表示ボタンにタッチし、縮尺切替バーを表示します。



縮尺切替バーが画面左側いっぱいまで表示されます。上下のプラス（+）またはマイナス（-）の表示をタッチして、地図の縮尺を切り替えます。



縮尺切替バーをなぞることでも、地図の縮尺を変更することができます。



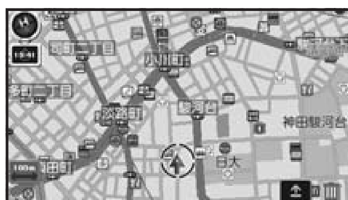
画面の地図部分をタッチすると縮尺切替バーを閉じます。

現在地画面／地図画面

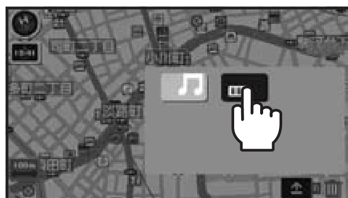


ごみ箱機能を使う

一部のボタンや表示は、画面右下のごみ箱に入れることにより画面上に表示しないよう設定できます。非表示にしたいボタンや表示にタッチし、そのまま画面をなぞってごみ箱の上へ移動（ドラッグ）します。



ボタンがごみ箱に入り、画面に表示されなくなります。同時に案内設定や表示設定も、画面に表示されない設定に切り替わります。



ごみ箱ボタンにタッチすると、ごみ箱に入れたボタンや表示が一覧表示されます。元に戻したいときはこの中から選択すると、ボタンが画面に戻ります。画面の地図部分をタッチするとごみ箱内容の一覧を閉じます。

現在地画面／地図画面



ナビゲーションバー表示 (地図画面)

ナビゲーションバー

現在地画面や地図画面で、ナビゲーションバーボタンをタッチすると表示されます。地点や地点周辺に関して、検索や設定を行ったり、ルート案内時には案内についてのメニューを表示します。ナビゲーションメニュー画面への移動もここから行います。

---

❶案内ポップアップボタン

ルート案内中に使用するポップアップメニューを表示します。

❷周辺検索ポップアップボタン

周辺検索ポップアップを表示します。

❸地点メニューポップアップボタン

地点メニューポップアップを表示します。

❹戻るボタン

地点検索などを行っているときに、前画面に戻ります。

❺ナビゲーションメニューボタン

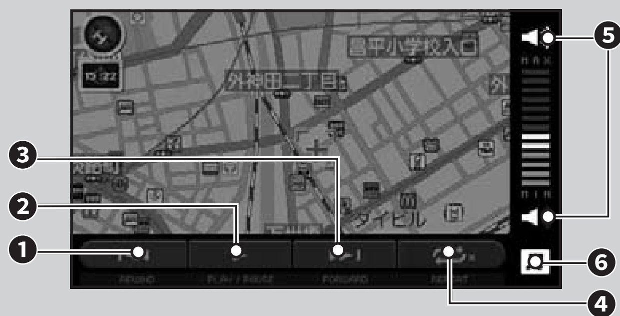
ナビゲーションメニュー画面を表示します。

❻ナビゲーションバー閉ボタン

ナビゲーションバーを閉じます。

現在地画面／地図画面

ミュージックプレーヤー操作パネル表示



現在地画面上でのミュージックプレーヤー操作パネル表示

ナビゲーション中、microSDカードへ収録した音声ファイルをミュージックプレーヤーで再生することができます。この操作パネルを呼び出すボタンは初期状態ではごみ箱の中にあり、使用するにはごみ箱から出し画面上に配置する操作が必要です。

❶前の曲を選択ボタン

❷再生ボタン

再生中は停止ボタンになります。

❸次の曲を選択ボタン

❹リピートモード切替ボタン

音楽再生モードの切り替えを行います。全曲リピート、1曲のみリピート、リピートしないの 3 種類の切り替えが可能です。

❺ミュージックプレーヤー音量調節ボタン

上のスピーカーのボタンをタッチすると音量が上がり、下のボタンを押すと下がります。このコントロールは、ミュージックプレーヤーで再生中の音声にのみ適用されます。ナビゲーションの音声のコントロールはここではできません。

❻操作パネル閉ボタン

ミュージックプレーヤー操作パネルを閉じます。

現在地画面／地図画面



周辺検索ポップアップ画面

ナビゲーションバーから周辺検索を選択すると、表示現在地またはスクロールで移動した任意の地点の周辺施設を検索できます。検索結果をリスト表示するほか、施設の位置を地図上で直接見られるレーダー表示もできます。

❶周辺検索ポップアップ

現在地または任意の地点周辺の施設を、近い順に検索し現在地からの距離とともにリスト表示します。リストの施設名をタッチすると、地図と地点メニューを表示し、目的に設定したりおこのみスポットに登録できます。

周辺検索ポップアップ内にある施設ジャンルは次の通りです。

●近くのコンビニ

●近くのトイレ

●近くのガソリンスタンド

●近くの駐車場

●近くの病院

●近くの駅

●もっと見る

周辺検索ページを開き、ポップアップメニュー内にないジャンルの施設を周辺検索できます。

●レーダー表示

検索したスポットを地図上でより見やすく表示します。

現在地画面／地図画面



近くの施設検索結果

検索結果を施設名と現在地の距離とともにリスト表示します。

❶候補リスト

検索結果を距離とともにリスト表示します。施設名をタッチすると地図を表示し、目的地などに設定してルート案内をすることができます。

❷スクロールボタン

候補リストの前ページ／次ページを表示します。

❸戻るボタン

前画面に戻ります。

❹現在地ボタン

現在地画面に戻ります。



レーダー表示

検索された施設を地図上でより見やすく表示します。

❶ジャンル選択ボタン

タッチして地点検索する施設のジャンルを選びます。ボタンをタッチするとジャンル選択ポップアップが表示されるので、ジャンルを選択します。

❷施設選択ボタン

レーダー表示する施設を選びます。

❸施設名表示

レーダー表示している施設名と、その施設までの距離を表示します。

❹地点メニューポップアップボタン

❺戻るボタン

現在地画面に戻ります。

現在地画面／地図画面



地点メニューポップアップ

ナビゲーションバーから地点メニューボタンを選択すると、地点ポップアップメニューを表示します。目的地などに設定してルート探索を行ったり、自宅やオービスポイントなどの設定もできます。

---

❶ 地点メニューポップアップ

この地点を起点にしたルート探索や地点登録（おこのみスポット登録）などのメニューが選べます。

地点メニューポップアップ内にあるメニューは次の通りです。

●ここへ行く

目的地に設定し、ルート案内を始めます。

●自宅に帰る

自宅までのルートを探索し、ルート案内を開始します。

●目的地にする／経由地にする／出発地にする

ルート設定画面を表示し、ルート探索を行います。

●別道路に切り換え

有料道路と側道が並行している場所にいるときに、ナビ上で走行している道路を変更することができます。

●おこのみスポットに登録

おこのみスポット登録画面を表示し、この地点をおこのみスポットとして登録します。

●オービス登録

オービス地点として登録できます。

●自宅に登録

自宅地点として登録します。

●QRコードを表示

この地点の位置情報をQRコードとして画面に表示します。携帯電話などで読み取ると、MAPLUS携帯ウェブサイト上にこの地点を表示できます。

※サイトに接続するとパケット料金が発生いたしますのでご留意ください。

ナビゲーションメニュー画面の基本的な使い方

ナビゲーションメニュー画面は、地点検索を中心に様々なメニューへの入り口となる画面です。画面には各種の地点検索メニューが並ぶほか、ルート設定画面や登録管理メニュー、ナビゲーション設定メニューへ移動することができます。

1 地点検索を行い地図を表示する

P77

住所や電話番号など様々なメニューから目的の地点を検索し、地図を表示します。表示させた地図画面から地点設定メニューや周辺検索メニューを使って、さらに検索を行ったり、ルート案内を行うことができます。表示した地図からは、地点登録（おこのみスポット登録）を行うことができます。

2 ルートを探索して案内をする

P99

目的地や経由地、探索モードなどを設定してルート探索を行います。探索したルートを比較したり、デモ走行して実際の走行ルートを確認することができます。設定したルートは保存しておくこともできます。

3 登録データや設定を管理する

P123

おこのみスポットや自宅、オービス登録したデータの編集を行います。また、ナビゲーションの表示や音声、案内などを使いやすく設定することができます。走行軌跡を記録するあしあと記録や、エコドライブモードもここから設定します。

⚠ 警告

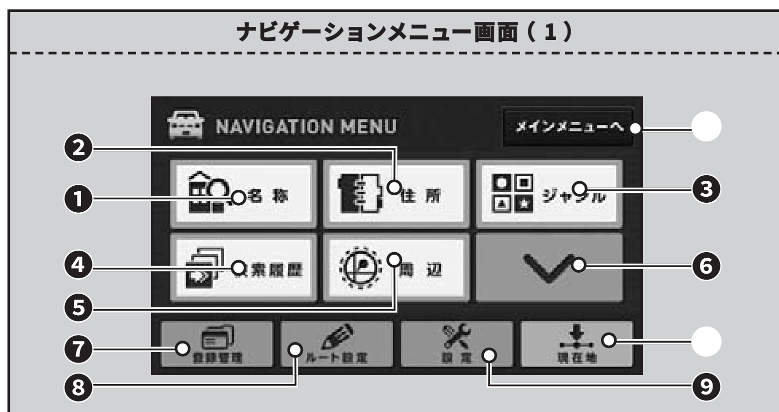
運転中、本製品の操作や注視をしないでください。

事故の原因となります。特に運転者が運転中に操作することは大変危険です。運転中はドライバーモードで使用し、運転者は操作を行わないでください。

交通規則や実際の道路状況に従って走行してください。

ナビゲーションと実際の交通状況が合っていないときに、無理にナビゲーションに従って走行すると事故の原因となります。状況に合わせて走行してください。

ナビゲーションメニュー画面



ナビゲーションメニュー画面（1）

ナビゲーションメニュー画面は、地点検索や各種の設定の入り口となる画面です。画面上部に表示されるボタンは地点検索メニューです。それぞれ表示されている方法で地点検索ができます。画面最下段にされているのは設定・管理メニューです。

---

❶名称検索ボタン

名称検索画面を開き、目的の施設名を直接入力して施設検索を行います。

❷住所検索ボタン

住所検索画面を開き、住所から地点検索を行います。

❸ジャンル検索ボタン

ジャンル検索画面を開き、ジャンルとエリアから施設を検索します。

❹検索履歴ボタン

これまで設定した目的地、検索した地点や施設をリストアップします。

❺周辺検索ボタン

現在地周辺の施設を、ジャンル別に検索します。

❻地点検索メニュースクロールボタン

ナビゲーションメニュー画面（2）を開き、他の地点検索メニューを表示します。

❼登録管理メニューボタン

本体などに登録した地点登録データ（おこのみスポット）やオービス情報などを編集する登録管理メニュー画面を開きます。

❽ルート設定ボタン

ルート設定画面を表示し、ルート探索を行います。

❾設定メニューボタン

画面表示などナビゲーション設定を行う設定メニュー画面を表示します。

メインメニューボタン

メインメニューを開きます。

現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

ナビゲーションメニュー画面



ナビゲーションメニュー画面（2）

ナビゲーションメニュー画面（2）では、（1）で表示されていない地点検索メニュー表示します。

---

❶電話番号検索ボタン

電話番号を直接入力して施設を検索します。

❷緯度経度検索ボタン

緯度経度を直接入力して地点を検索します。

❸スクロールボタン

ナビゲーションメニュー画面（１）を開きます。

❹地図検索ボタン

地図画面を開いて地図をスクロールし、地点や施設を探します。

❺登録地点検索ボタン

おこのみスポット登録（地点登録）などを行っている地点や施設を検索します。

❻自宅検索ボタン

あらかじめ登録している自宅地点を検索します。

地点検索：名称検索

名称検索画面



名称検索

目的の施設の名称を直接入力して検索します。入力できるのはひらがなのみです。名称の一部分だけ入力しても検索は可能です。名称を入力した後、その施設がある都道府県を選択すると、該当する施設を表示します。

❶入力ウィンドウ

入力した文字が表示されます。

❷文字入力キー

文字を入力します。あかさたな行のキーをタッチしていくと、その行のひらがなが順に表示されます。濁音や小さい「っ」の入力は、該当のひらがなを入力した後に「小」ボタンをタッチします。

❸バックスペースキー（BS キー）

BS キーをタッチするとカーソルの前の 1 文字を消去します。

❹スペースキー

スペースを入力します。

❺カーソル移動キー

カーソルを移動します。

❻ OKボタン

入力された名称で検索を開始します。

❼戻るボタン

ナビゲーションメニュー画面へ戻ります。

❽現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

地点検索：名称検索



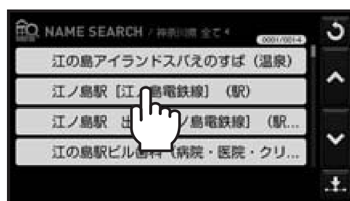
ナビゲーションメニューから名称検索を選択し、名称検索画面を開きます。



名称検索画面で施設の名称を入力し、OKボタンをタッチします。



目的の施設がある場所を、エリア、都道府県の順に選択していきます。



候補リストが表示されます。目的の施設を選択します。別のエリアで検索するときは、戻るボタンをタッチして前画面に戻ります。



目的の施設が地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

地点検索：住所検索



住所検索画面

丁目、番地、号までの住所を検索し、地図を表示します。市区町村以下の地域名まではリストから選択し、丁目以下はリストからの選択または直接数字を入力して絞り込み、選択します。また、都道府県以下は代表地点（そのエリアのおおよその中心点）も選択できます。

❶候補リスト

地名や番地などの候補が一覧表示されます。直接候補にタッチして選択します。

❷文字／数字入力キー

市区町村選択画面、地名選択画面では、あかさたな行のキーが表示されます。選択すると候補リストをスクロールし、選択した頭文字の部分へジャンプします。

番地、号検索画面では数字キーが表示されます。直接数字を入力でき、入力された数字に応じて候補リストの絞り込みを行います。

❸検索内容表示ウィンドウ

前ページまでの検索内容が表示されています。数字キーを使っているときは、入力中の数字が表示されます。

❹バックスペースキー（BS キー）

入力した数字、番地、号検索画面でBSキーが表示されます。BSキーをタッチするとカーソルの前の1文字を消去します。

❺スクロールボタン

候補リストをスクロールします。

❻戻るボタン

前画面へ戻ります。

❼現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

地点検索：住所検索



ナビゲーションメニューから住所検索を選択し、住所検索画面を開きます。



エリア、都道府県の順に選択します。



市区町村、地域名を選択します。候補は、あいうえお順に並んでいます。スクロールキーを使うか、頭文字キーで目的の地名を探してください。丁目がある地点を探すときは、目的の丁目の数字が入った地域名を選択してください。代表点を選択すると、直接代表点の地図を表示します。



番地、号を選択します。候補リストは数字の若い順に並んでいます。スクロールボタンを使って目的の数字を探すか、数字を入力して絞り込んで目的の番地を探してください。



目的のスポットが地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

地点検索：ジャンル検索

ジャンル検索画面（大ジャンル選択画面）



ジャンル検索画面

見る、遊ぶ、食べるなど大ジャンルから選択し、観光名所、美術館•博物館など小ジャンルで絞り込みその後、地域を指定して検索することができます。

---

❶ 候補リスト

ジャンルが一覧表示されます。直接候補にタッチして選択します。

❷ 戻るボタン

前画面へ戻ります。

❸ 現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

地点検索：ジャンル検索



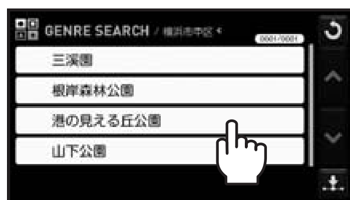
ナビゲーションメニュー画面からジャンル検索ボタンをタッチします。



大ジャンルを選択し、さらに表示される小ジャンルを選択します。



施設を探すエリア、都道府県、市区町村の順に選択します。



候補がリストアップされるので、目的の施設をタッチします。



目的の施設が地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

地点検索：検索履歴

検索履歴画面



検索履歴

これまで検索した地点を一覧表示します。ここで履歴として登録されるのは、検索時に地図表示まで行われた地点や施設です。目的地検索など、ルート編集中に地図表示まで行われたスポットも含みます。検索中に候補として表示されただけでは履歴は残りません。

❶検索履歴リスト

これまで地点検索された地点や施設を、新しい履歴から順に最大 20 件まで表示できます。最大 100 件まで保存でき、21 件目が保存されると、1 件目は表示されなくなります。ただし、最近から 20 件以内で削除された地点や施設があったときは、1 件目が再び表示されるようになります。101 件目が登録されると、1 件目の履歴は削除されます。よく使う地点やは地点登録 (おこのみスポット登録) を行うことをおすすめします。

❷検索 / 目的地履歴ボタン

検索／目的地履歴の切替を行います。

❸ゴミ箱ボタン

選択した履歴を削除します。

❹スクロールボタン

候補リストをスクロールします。

❺戻るボタン

前画面へ戻ります。

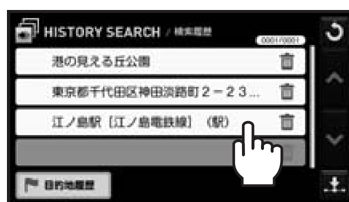
❻現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

地点検索：検索履歴



ナビゲーションメニュー画面から検索履歴ボタンをタッチします。



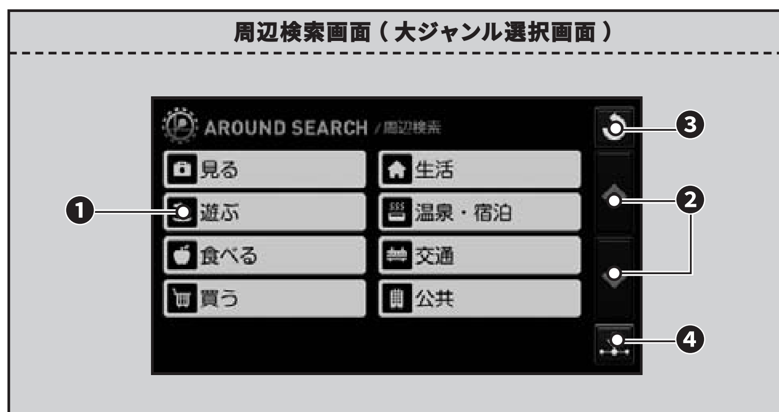
履歴がリスト表示されます。目的の候補を選択します。



目的の地点や施設が地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

地点検索：周辺検索

周辺検索画面（大ジャンル選択画面）



周辺検索

現在地周辺のスポットをジャンル別に検索します。ジャンル検索同様、大ジャンルから選択し小ジャンルで絞り込みます。リストの表示順は現在地から近い順になり、現在地からの距離も表示します。

❶候補リスト

ジャンルが一覧表示されます。直接候補にタッチして選択します。

❷スクロールボタン

候補リストをスクロールします。

❸戻るボタン

前画面へ戻ります。

❹現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

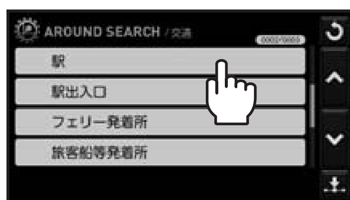
地点検索：周辺検索



ナビゲーションメニュー画面から周辺検索ボタンをタッチします。



大ジャンルを選択します。



さらに表示される小ジャンルを選択します。



候補がリストアップされるので、目的の施設をタッチします。



目的地の地点が地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

Chapter 04　ナビゲーション機能：地点検索

地点検索：電話番号検索

電話番号検索画面



電話番号検索

店舗や会社など法人電話番号を、直接入力して検索できます。番号が完全に一致した場合のみスポットを表示します。完全に一致する電話番号がデータベースにない場合は表示されません。

❶入力ウィンドウ

入力した数字が表示されます。

❷テンキー

電話番号を入力します。

❸バックスペースキー（BS キー）

BS キーをタッチするとカーソルの前の 1 文字を消去します。

❹カーソル移動キー

カーソルを移動します。

❺ OKボタン

入力された電話番号で検索を開始します。

❻戻るボタン

ナビゲーションメニュー画面へ戻ります。

❼現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

地点検索：電話番号検索



ナビゲーションメニュー画面から電話番号検索ボタンをタッチします。



テンキーを使って電話番号を入力します。必ず市外局番から入力してください。携帯電話の番号は検索できません。



入力が終わったらOKボタンをタッチします。



目的の施設が地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

地点検索：緯度経度検索

緯度経度検索画面



緯度経度検索

緯度経度から地点検索し、表示します。数値は日本測地系の値を入力します。

---

❶緯度入力ウィンドウ

入力した数字が表示されます。
※画面を開いた時は現在地の緯度が表示されます。

❷経度入力ウィンドウ

入力した数字が表示されます。
※画面を開いた時は現在地の経度が表示されます。

❸テンキー

数字を入力します。

❹バックスペースキー（BS キー）

BS キーをタッチするとカーソルの前の 1 文字を消去します。

❺カーソル移動キー

カーソルを移動します。

❻ OKボタン

入力された緯度経度で検索を開始します。

❼戻るボタン

ナビゲーションメニュー画面へ戻ります。

❽現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

地点検索：緯度経度検索



ナビゲーションメニュー画面から緯度経度検索ボタンをタッチします。



緯度経度を入力します。ウィンドウにタッチしてカーソルを移動させてから、バックスペースキーで入力されている数値をクリアし、あらためて検索する緯度経度をそれぞれ入力します。



入力が終わったらOKボタンをタッチします。



目的の施設が地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

地点検索：地図から探す



地図画面から直接スポットを探します。ナビゲーションメニュー画面から地図検索ボタンをタッチします。



現在地付近の地図が表示されます。地図画面をスクロールして目的の地点を探します。

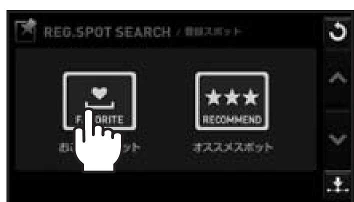


地図画面が表示されたときは地点メニューポップアップが表示されていますが、地図をスクロールすると閉じます。再び表示させるには、ナビゲーションバーの地点ポップアップボタンをタッチします。

地点検索：登録スポットから探す



あらかじめ登録した地点（おこのみスポット）からスポットを探します。ナビゲーションメニュー画面登録スポットボタンをタッチします。



登録スポット画面が表示されます。お好みスポット又はおすすめスポットを選択します。



お好みスポット又はおすすめスポットフォルダ一覧画面が表示されます。目的の地点や施設が収録されたフォルダを選びます。



フォルダの内容がリスト表示されます。目的の地点や施設を選びます。



目的のスポットが地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

地点検索：自宅を探す



自宅検索機能を使うには、あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。自宅を検索するときは、ナビゲーションメニュー画面から自宅検索ボタンをタッチします。



あらかじめ自宅として登録した地点を表示します。

地点を登録する（おこのみスポット登録）



検索した地点をおこのみスポットとして登録しておくことができます。登録したい地点を表示し、地点ポップアップから「おこのみスポットに登録」を選びます。



おこのみスポットは、任意で作成したフォルダに分類して登録します。登録ボタンを押すとフォルダリスト表示画面が開くので、既存のフォルダへ登録するときは登録するフォルダを選択します。フォルダを作成していない場合は、作成ボタンをタッチして新しいフォルダを作成します。



フォルダ名を入力してOKボタンをタッチします。

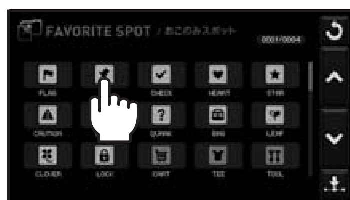


フォルダリスト表示画面に新しいフォルダができます。スポットを登録するフォルダを選択します。



登録画面が表示されます。スポット登録時には、スポットに分類アイコンを登録し、地図上で表示するときにそのアイコンを使ってスポットを表示できます。アイコン選択ボタンをタッチします。

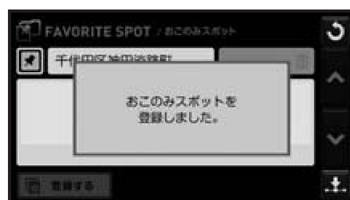
地点を登録する（おこのみスポット登録）



アイコン一覧が表示されるので、お好みのアイコンを選びます。



スポット登録画面に戻り、登録ボタンをタッチします。



スポットが登録されました。登録したおこのみスポットは、登録管理のおこのみスポット管理画面から見ることができます。また、登録後はスポットごとに説明文や写真、音楽を付けることができます。おこのみスポットの編集方法は登録管理の『おこのみスポットを編集する』の項をご覧ください。

ルート案内機能の基本的な使い方

ルート案内を行うには、はじめにどのようなルートを通るのか条件を設定します。設定条件は、目的地や経由地のほか様々な条件を設定できます。ルートを探索したら、デモ走行機能を使ってどのようなルートを走行するのかを確認できます。決定したら、ルート走行を開始します。走行中はさまざまな表示を行いますので、参考にしながら走行してください。

1 ルートを設定する



P99

地点検索機能を使い、出発地、目的地、経由地を設定します。探索モードと移動手段・ルート表示方法を選択し、ルートを探索します。

2 ルートを確認する



P105

探索したルートを確認します。探索結果表示画面では、他の探索モードに切り替えてルートを探索し、比較することができます。デモ走行機能を使えば、走行中の音声案内や表示の切替なども確認することができます。

3 ルート案内を開始して走行する



P108

ルート案内中は様々な画面表示や案内を行います。ボタンや表示の意味を理解し、正しくお使いください。

⚠ 警告

運転中、本製品の操作や注視をしないでください。

事故の原因となります。特に運転者が運転中に操作することは大変危険です。運転中はドライバーモードで使用し、運転者は操作を行わないでください。

交通規則や実際の道路状況に従って走行してください。

ナビゲーションと実際の交通状況が合っていないときに、無理にナビゲーションに従って走行すると事故の原因となります。状況に合わせて走行してください。

ルート設定画面



ルート設定

ルート探索のための条件を設定します。目的地、経由地、出発地といった地点や、探索モード、表示モードなどを選びます。設定した条件を登録したり、既に登録してある条件を呼び出して設定することも可能です。

---

❶出発地表示／設定ボタン

タッチして出発地を検索・設定します。ごみ箱ボタンをタッチすると、設定されている出発地を消去して現在地に設定します。

❷経由地表示／設定ボタン

経由地を設定すると表示されます。他の操作は出発地表示／ボタンと同じです。

❸目的地表示／設定ボタン

タッチして目的地を検索・設定します。他の操作は出発地表示／ボタンと同じです。

❹経由地追加ボタン

目的地を設定すると表示されます。目的地、経由地、出発地間の任意の場所へ、新たな経由地を加えることができます。目的地が未設定の状態では表示されません。

❺探索モード設定ボタン

距離や高速道路の通行有無など、優先する道路条件を設定します。

❻移動手段・ルート表示方法指定ボタン

車やバイクといった移動手段や、ルート案内時の地図の表示方法を設定します。

❼探索開始ボタン

設定した内容でルート探索を開始します。

❽設定読込ボタン

登録ルートから設定条件を読み込みます。

❾ルート保存ボタン

設定内容を登録ルートとして保存します。

設定消去ボタン

現在設定されている内容をクリアします。

出発地・目的地入替ボタン

現在設定されている条件から、出発地と目的地を入れ替えます。

戻るボタン

ナビゲーションメニュー画面へ戻ります。

現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

ルートを設定する



目的地を設定する

目的地表示／設定ボタンをタッチします。



地点検索メニュー画面が表示されます。名称検索、住所検索などの方法を使って目的地に設定する地点を決定します。検索方法は通常の地点検索と同じです。地点検索メニュー画面の現在地ボタンをタッチすると、ルート設定を中止して現在地画面を表示します。



地点画面が表示されるので、地点ポップアップメニューの目的地にするボタンをタッチします。目的地の位置の微調整が必要なときは、地図に直接触れてスクロールしてください。その場合はナビゲーションバーの地点ボタンをタッチし、ポップアップを表示させてから「 目的地にする 」ボタンをタッチし、設定します。「ここへ行く 」ボタンをタッチすると現在位置を出発地として、指定した地点への経路計算を行い、ルート探索画面へジャンプします。



設定が終わると自動的にルート設定画面に戻ります。目的地表示／設定ボタンには、選択した地点の名称が表示されます。
「 ここへ行く 」は、現在位置を出発地として、指定した地点への経路計算を行います。
注意:一度出発地を任意の場所に設定すると、次回検索時も出発地は、任意に設定した場所になります。



一度選択した地点を変更するときは、目的地表示／設定ボタンにタッチして再度地点検索を行い、もう一度設定を行います。設定した地点を消去したいときは、目的地表示／設定ボタン内の地点名称の右のごみ箱ボタンをタッチします。

ルートを設定する



出発地を設定する

現在地以外の場所を出発地として設定するときは、出発地表示／設定ボタンをタッチして設定します。GPS電波を受信していないときの現在地は、最後にGPS電波を受信し測位を行った場所になっていますのでご注意ください。



地点検索メニュー画面が表示されます。名称検索、住所検索などの方法を使って出発地に設定する地点を決定します。検索方法は通常の地点検索と同じです。地点検索メニュー画面の現在地ボタンをタッチすると、ルート設定を中止して現在地画面を表示します。



地点画面が表示されるので、地点ポップアップメニューの出発地にするボタンをタッチします。出発地の位置の微調整が必要なときは、地図に直接触れてスクロールしてください。その場合はナビゲーションバーの地点ボタンをタッチし、ポップアップを表示させてから出発地にするボタンをタッチし、設定します。



自動的にルート設定画面に戻ります。出発地表示／設定ボタンには、選択した地点の名称が表示されます。



一度選択した地点を変更するときは、出発地表示／設定ボタンにタッチして再度地点検索を行い、もう一度設定を行います。設定した地点を消去し、現在地を出発地に設定したいときは、目的地表示／設定ボタン内の、地点名称の右のごみ箱ボタンをタッチします。

ルートを設定する



経由地を設定する

経由地を設定するときは、経由地追加ボタンをタッチします。経由地追加ボタンは、目的地を設定すると表示されます。目的地を設定していない状態では、経由地追加ボタンはありません。



地点検索メニュー画面が表示されます。名称検索、住所検索などの方法を使って経由地に設定する地点を決定します。検索方法は通常の地点検索と同じです。地点検索メニュー画面の現在地ボタンをタッチすると、ルート設定を中止して現在地画面を表示します。



地点画面が表示されるので、地点ポップアップメニューの経由地にするボタンをタッチします。経由地の位置の微調整が必要なときは、地図に直接触れてスクロールしてください。その場合はナビゲーションバーの地点ボタンをタッチし、ポップアップを表示させてから経由地にするボタンをタッチし、設定します。

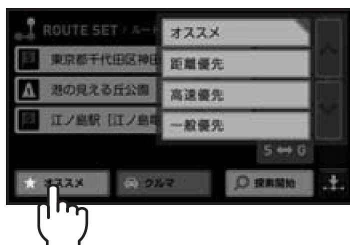


設定が終わると自動的にルート設定画面に戻ります。経由地表示／設定ボタンが表示され、設定した地点の名称が表示されます。経由地は最大 8 カ所まで設定できます。また、いったん設定した目的地や経由地、出発地は、各表示／設定ボタンをドラッグすることで順番を入れ替えることができます。



一度選択した地点を変更するときは、ボタンにタッチして再度地点検索を行い、もう一度設定を行います。経由地を削除したいしたい場合はごみ箱ボタンをタッチします。

ルートを設定する

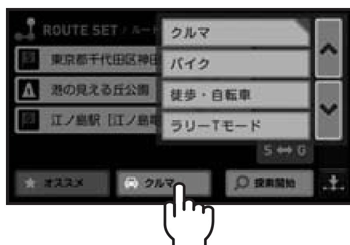


探索モードを選択する

探索モードボタンをタッチし、探索モードを設定します。ボタンをタッチすると探索モードポップアップが表示されるので、その中から選択します。

探索モードは次の 4 種類です。

●オススメ
距離や時間に加え、分かりやすさなども考慮した最適ルートを探索します。
●距離優先
走行距離がなるべく短くなるルートを探索します。
●高速優先
できるだけ高速道路を通るルートを探索します。
●一般優先
できるだけ有料道路を通らず、一般道を使うルートを探索します。



移動手段・ルート表示方法を選択する

移動手段・ルート表示方法ボタンをタッチして設定します。ボタンをタッチすると探索モードポップアップが表示されるので、その中から選択します。

⚠ 警告

交通規則や実際の道路状況に従って走行してください。
ナビゲーションと実際の交通状況が合っていないときに、無理にナビゲーションに従って走行すると事故の原因となります。状況に合わせて走行してください。

移動手段・ルート表示方法は次の 5 種類選択できます。バイクモード・徒歩・自転車は選択できますが、検索結果として自動車に合わないルートとなりますのでご注意してください。
●クルマモード
一方通行や道路の幅員などを考慮した、車で走行することを前提としたルートを探索します。細街路は案内しません。
●バイクモード
クルマモードより狭い道路も対象にし、より距離を重視したルートを探索します。
●徒歩・自転車
※使用しません。使用した場合は、下記のように検索します。ご注意ください。
細街路も含め、一方通行や道路の幅員に関係なくルートを探索します。徒歩･自転車モードでのルート案内中は、オートリルートは行いません。
●アローT モード
地図画面上では目的地方向線のみを表示し、ルート案内は行いません。経由地や目的地までの距離や電子コンパス、緯度経度情報などを位置情報表示ウィンドウで表示します。
●ラリーT モード
案内は位置情報表示ウィンドウの目的地方向表示のみとなり、地図は表示しません。
チェックポイントの通過タイムなどの自動記録ができます。

ルートを設定する



登録ルートを読み込む

あらかじめ保存しておいた登録ルートを読み込み、地点検索などを行わなくてもルート設定を行うことができます。ルート設定を読み込むときは、設定読込ボタンをタッチします。



保存されているルートがリスト表示されるので、目的のルートを選択します。選択後は自動的にルート設定画面に戻り、選択した内容でルート探索条件が設定されています。



ルートを保存する

ルート保存ボタンでルート設定内容を保存しておくことができます。このとき、ルート設定で出発地を現在地にしている場合は、設定時の住所で保存されます。ルート設定が終わったら、ルート保存ボタンをタッチします。保存したルートは登録管理から編集することができます。



出発地と目的地を入れ替える

出発地・目的地入替ボタンをタッチすると、表示されている目的地と出発地を入れ替えることができます。



ルートを探索する

設定を終えたら、探索開始ボタンをタッチするとルート探索を開始します。

ルートを確認する

ルート探索結果画面



ルート探索結果の表示

ルート設定時に選択した探索モードでの探索結果を表示します。探索条件表示／切替ボタンで選択することによって、他の条件でのルート探索も簡単に行うこともできます。ルート探索終了後、操作をしないまま 5 秒経過すると自動的にルート案内を始めます。

❶走行情報表示

目的地までの走行距離と目安となる走行時間を表示します。

❷走行ルート

探索されたルートをあらわします。一般道を走行する部分は緑色、有料道路は赤色で表示します。

❸探索モードボタン

ルート探索条件を切り替えてルートの比較ができます。ルート探索結果画面が表示された時点では、ルート設定画面で設定した探索条件 (オレンジ色のボタン) でルート探索と表示を行っています。他の条件の探索モードボタンをタッチするとルート探索条件を変更し、探索と表示を行います。

❹案内開始ボタン

現在地図画面を表示しルート案内を始めます。

❺デモボタン

デモ走行を開始します。

❻戻るボタン

ルート設定画面に戻ります。

ルートを確認する



別の条件でルート探索・比較する

切り替えたい探索モードボタンをタッチします。



選択した条件でのルート探索が行われます。ルート探索中は、「ルート探索中」のポップアップにタッチすると探索を中止することができます。



選択した条件で探索したルートが表示されます。現在、表示されている探索モードボタンがオレンジ色で表示されます。



ルート案内を始める

案内開始ボタンにタッチします。



現在地画面が表示され、ルート案内が始まります。

ルートを確認する

デモ走行画面



デモ走行によるルートの確認

実際の走行でどのような案内を行うのか、事前にシミュレーションを行うことができます。交差点やレーン案内などの画面表示や音声案内を聞くこともできます。シミュレーションボタン以外の機能はルート走行画面と同じです。

❶デモボタン

デモ走行中にデモボタンをタッチするとデモ走行を中止することができます。ポップアップが表示されますので「 はい 』を選びます。

❷スピード調節ボタン

デモ走行の進行速度を調節します。加速・減速とも、最大値まで調節するとボタンが濃いグレーになり、押せなくなります。減速ボタン（ ↓ ）を最大限に押すと、画面を止めることができます。



デモ走行を行う

ルート探索結果画面でデモ走行ボタンを選択します。



デモ走行が始まります。必要に応じ、デモ走行スピード調節ボタンで加速・減速します。



デモ走行を中止し、ルート探索結果画面に戻ります。

ルート案内を始める



ルート案内を始める

ルート探索画面の案内開始ボタンをタッチしてルート案内を開始します。現在地ではない場所を出発地にしてルート探索を行ったときは、オートリルート機能が働き現在地からスタートします。オートリルート機能をオフにしていたり、GPS電波の届かない場所ではオートリルートは機能しません。



途中、右左折や設定した経由地、オービスなど様々な表示や音声で案内をします。案内の表示や音声などは好みに合わせて設定することができます。



ルート走行中もナビゲーションバーのメニューが使用できます。経由地をスキップしてルートを再探索したり、別の道路を通るルートの探索ができます。また、おこのみスポットの登録など通常の地点メニューも使用できます。

オートリルート機能とは

ルート走行中にルートから外れた場合、自動的にルートを再探索して案内ルートを探索する機能です。オートリルート機能は、案内設定よりオフにすることもできます。また、案内ポップアップメニューの「ルートを再探索」は、任意の地点から手動でリルートを行うものです。

徒歩・自転車モードでは、使用しないことをお勧めいたします。
このモードは、㈱エディアが販売しているMAPLUS E-100MPシリーズの製品での持ち歩きできる製品用のモードです。このモードで探索すると、以下の設定になります。ご注意ください。

徒歩・自転車モードでは、ルート案内をしているときは、ルートを外れたときもオートリルートは行いません。リルートを行いたいときは、案内メニュー内のルートを再探索ボタンをタッチしてリルートを行ってください。

ルート案内画面：案内方向優先表示

ルート案内画面（通常表示）



ルート案内画面（通常表示）

初期設定で表示される基本のルート案内画面です。画面右の案内情報ウィンドウに、次に現れる案内ポイント（右左折や経由地、目的地など）や走行情報が表示されます。案内情報ウィンドウは設定を変えることで表示しないようにもできます。

❶案内情報ウィンドウ

次案内ポイントの情報を常時表示します。表示内容は次の通りです。

●案内ポイント名称

交差点や有料道路入口、経由地など名称を表示します。

●案内方向

右左折を行う交差点などは、方向を矢印で表示します。

●案内ポイントまでの残距離

●目的地への予想到着時刻

●目的地までの距離

表示設定でレーン情報優先表示を選択しているときは、案内情報ウィンドウは表示しません。

❷レーン情報表示：レーン情報表示交差点

推奨レーン表示をしている交差点の名称と、交差点までの距離を表示します。

❸レーン情報表示：推奨レーン表示

矢印の数がレーン数を示しています。推奨レーンはオレンジ色の矢印で表示されます。レーンデータがない道路では空欄になります。

❹案内中止ボタン

タッチしてルート案内を中止し、現在地画面に戻ります。

ルート案内画面：案内方向優先表示



ルート案内中の表示

初期設定では、案内情報ウィンドウとレーン情報表示が常時表示されます。



交差点拡大図表示を選択しているときは、交差点通過時に案内情報ウィンドウが閉じ、交差点拡大図が表示されます。ハイウェイマップ表示時も同様に、案内情報ウィンドウが閉じられ、ハイウェイマップが表示されます。



青看板表示（一般道案内標識表示）があらわれるときは、案内情報ウィンドウの上に重ねて表示されます。青看板表示は移動させたり、ごみ箱に捨てて画面表示しないようにもできます。

ルート案内画面：ポップアップメニュー表示

ルート案内画面（ナビゲーションバー：案内ポップアップ表示）



ルート案内中のナビゲーションバー内の機能
ルート案内中はナビゲーションバーの案内ポップアップボタンが選択できるようになります。案内ポップアップからはルート案内の中止やルートの確認などができます。

❶案内ポップアップメニュー
ルート案内に関するポップアップメニューを表示します。

❷案内ポップアップメニュー：案内を中止する
ルート案内を中止し現在地画面に戻ります。

❸案内ポップアップメニュー：経由地をスキップ
次に予定されている経由地をスキップし、ルートを再探索します。

❹案内ポップアップメニュー：ルートを再探索
任意でリルートを行いたいときにタッチすると、ルートを再探索します。

❺案内ポップアップメニュー：ルートを確認
ルート探索結果画面に表示されるものと同じルート全体図を表示します。

地点ポップアップメニュー



ルート案内中の地点ポップアップメニュー
ルート案内中も現在地画面と同様、地点ポップアップメニューが使用できます。中でも並行する道路がある場所を走行中に別道路に切り換えボタンをタッチすると、走行位置をもう一方の道路へ切り換えることができます。

周辺ポップアップメニュー



ルート案内中の周辺ポップアップメニュー
ルート案内中も現在地画面と同様、周辺ポップアップメニューを利用して現在地周辺の地点検索ができます。

ルート案内画面：レーン情報優先表示

ルート案内画面（レーン情報優先表示）



ルート案内画面（レーン情報優先表示時）

表示設定の案内優先表示で、レーン情報優先を選択しているときの画面表示です。案内情報ウィンドウに表示されていた情報は次案内表示などに分散して表示されます。レーン案内は表示方法を切り替えることで最大５つ先の交差点まで表示できます。

---

❶レーン情報表示：
レーン情報表示交差点名称

推奨レーン表示をしている交差点の名称と、交差点までの距離を表示します。

❷レーン情報表示：
推奨レーン表示

矢印の数がレーン数を示しています。推奨レーンはオレンジ色の矢印で表示されます。

❸次案内ポイント名称

次の案内地点を表示します。

❹到着予想表示

目的地までの到着予想時間と残距離に加え、全行程中の現在位置をレベルゲージで表示します。到着予想時間部分をタッチすると、レベルゲージを折りたたむことができます。

❺次案内表示

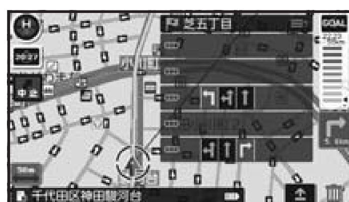
右左折ポイントの方向とポイントまでの距離を表示します。

ルート案内画面：レーン情報優先表示



レーンガイド表示の切り替え

レーンガイドは通常、次の交差点名とレーン案内が表示されています。このときに次案内ポイントをタッチします。



タッチしていくとその先の交差点のレーン情報を表示します。手前の交差点ほど下に表示されます。2 つめの交差点から順に、最大 5 つ先の交差点までのレーン情報を表示することができます。



5 つ先の交差点のレーン情報を表示した状態でレーン情報表示交差点名称にタッチすると、レーン情報を隠すこともできます。



交差点名称を表示する

推奨レーンの代わりに、交差点名称を表示することができます。推奨レーンをタッチします。



交差点名と、交差点までの距離が表示されます。もう一度タッチすると推奨レーン表示に戻ります。

ルート案内画面：青看板表示

ルート案内画面（青看板表示時）



ルート案内画面（青看板表示時）

青看板（一般道案内標識）が設置されているポイントでは、実際の道路標識と同様に画面にも青看板を表示します。青看板表示は、ルート案内中に次に通過する交差点のものが表示されるほか、ルート走行をしていない場合も、次交差点のものを表示します。

❶青看板表示
ルート案内中は、青看板内の矢印がオレンジ色に変わり、案内方向を表示します。

ルート案内画面：青看板表示



表示を移動する

青看板表示を移動したり、ごみ箱に捨てる（消去する）ことができます。移動するには表示をタッチし、画面を押さえたまま画面をなぞります。



画面から手を離した位置へ表示が移動します。画面の端のほうへ移動したときは、自動的に画面の端に沿うよう位置を微調整します。



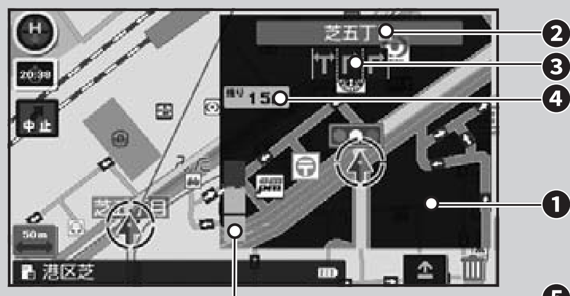
消去するには、ごみ箱まで表示を移動します。



表示が消去されました。

ルート案内画面：交差点拡大図表示

ルート案内画面（交差点拡大図表示）



交差点拡大図表示

表示設定で交差点拡大図表示を行うよう設定しているときは、交差点手前で自動的に交差点拡大図が表示されます。この表示は、表示中に一時的に表示しないようにもできます。

❶交差点拡大図

❷交差名表示

この交差点の名称を表示します。

❸推奨レーン表示

矢印の数がレーン数を示しています。推奨レーンは　オレンジ色の矢印で表示されます。

❹右左折ポイント残距離

右左折ポイントまでの距離を表示します。

❺右左折タイミング表示

右左折するタイミングをレベルゲージで表示します。

ルート案内画面：交差点拡大図表示



交差点拡大図を一時的に閉じる

交差点拡大図を表示しているときに、交差点拡大図の地図画面にタッチします。



交差点拡大図を閉じて案内情報ウィンドウに切り替わります。交差点拡大図表示を解除している間は、案内情報ウィンドウのふちが水色に表示されます。



案内情報ウィンドウにタッチすると、案内ポイントになっている交差点に差し掛かったときに再び交差点拡大図が表示されるようになります。



レーン情報優先表示中の交差点拡大図表示

交差点拡大図を表示するよう設定しているときは、案内優先表示の設定（ 案内 ）にかかわらず交差点拡大図が表示されます。交差点拡大図の表示中にタッチすると、次案内表示に切り替わり、ふちが水色に表示されます。次案内表示をタッチすると次の案内ポイントとなっている交差点で再び交差点拡大図が表示されるようになります。

ルート案内画面：ハイウェイマップ表示

ルート案内画面（ハイウェイマップ表示時）



ハイウェイマップ表示

高速道路など有料道路を走行しているときは、画面の右半分にハイウェイマップを表示します。ハイウェイマップでは次に通過する道路上のポイントを表示します。

---

❶ハイウェイマップ表示

❷道路情報表示

次に通過する高速道路上のICやPA、料金所などのポイントの名称と距離を順に表示します。画面下側の方から近い順に表示されます。

❸道路名表示

走行中の道路の名称を表示します。

❹情報スクロールボタン

通過したポイントや、これから通過するポイントをスクロールして見ることができます。

❺道路情報現在地ボタン

スクロールした道路情報を現在位置に戻ります。

ルート案内画面：ハイウェイマップ表示



ハイウェイマップを一時的に閉じる

ハイウェイマップの道路情報表示部分にタッチします。



ハイウェイマップを閉じて次案内表示に切り替わります。ハイウェイマップを解除している間は、次案内表示のふちが水色に表示されます。

小さい次案内表示になると、ハイウェイ（高速道路、有料道路）を降りるまでの距離が表示されます。



次案内表示にタッチすると、再びハイウェイマップが表示されます。



現在地前後の道路情報を見る

情報スクロールボタンをタッチして、順に見ることができます。現在地に戻したいときは、道路情報現在地ボタンをタッチします。



分岐案内

道路の分岐・合流地点では分岐地図が表示されます。

ルート案内画面：アローTモード

アローTモード画面



❶ ❷ ❸ ❹

アローTモード
アローTモードではルート案内は行わず、地図画面上には現在地と目的地方向線のみが表示されます。道路がない場所でも地図と照らし合わせて目的地が確認できます。

---

❶位置情報表示ウィンドウ
電子コンパス情報やGPS情報を表示します。

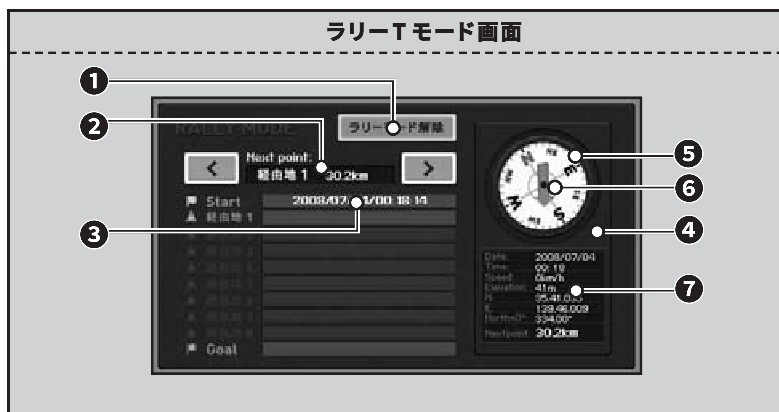
❷電子コンパス
方位を表示します。

❸目的地方向表示
方位から求めた目的地の方向を矢印で表示します。

❹位置情報表示
GPSや電子コンパスから求めた現在地の位置情報を表示します。

Date：日付
Time：時間
Speed：速度
Elevation：高度
N：北緯
E：東経
North=0 °：方向
Nextpoint：前後設定地点との間隔

ルート案内画面：ラリーT モード



ラリー T モード

ラリーTモードでは地図画面は表示されません。経由地や目的地の方向は、目的地方向表示であらわされます。ルート設定で経由地•目的地に設定した地点を通過すると、自動的にチェックが行われ、通過タイムが記録されていきます。

❶ラリーT モード解除ボタン

ラリーT モードを終了して現在地画面に戻ります。

❷次目標地点確認ボタン

次の目標地点までの距離を表示します。左右のスクロールキーで他の目標地点との距離を切り替えて見ることができます。

❸チェックポイント通過記録

目標地点の通過タイムを表示します。

❹位置情報表示ウィンドウ

電子コンパス情報やGPS情報を表示します。

❺電子コンパス

方位を表示します。

❻目的地方向表示

方位から求めた目的地の方向を矢印で表示します。

❼位置情報表示

GPSや電子コンパスから求めた現在地の位置情報を表示します。

Date：日付
Time：時間
Speed：速度
Elevation：高度
N：北緯
E：東経
North=0 °：方向
Nextpoint：前後設定地点との間隔

登録管理の設定のしかた

ナビゲーション使用中は、様々な表示や音声案内が行われますが、これらを変更することができます。

1 自宅登録のクリア
→ P125

登録した自宅の場所を消去します。

2 アイコン並び替え設定のクリア
→ P126

登録したボタンの表示・非表示設定をクリアし、初期状態に戻します。

3 オービス登録情報のクリア
→ P127

オービス情報の消去や、内容の編集を行います。

4 おこのみスポットの編集
→ P129

本体に登録したおこのみスポット（ 地点登録情報 ）を編集します。

5 登録ルートの編集
→ P135

登録ルート情報を消去・編集します。

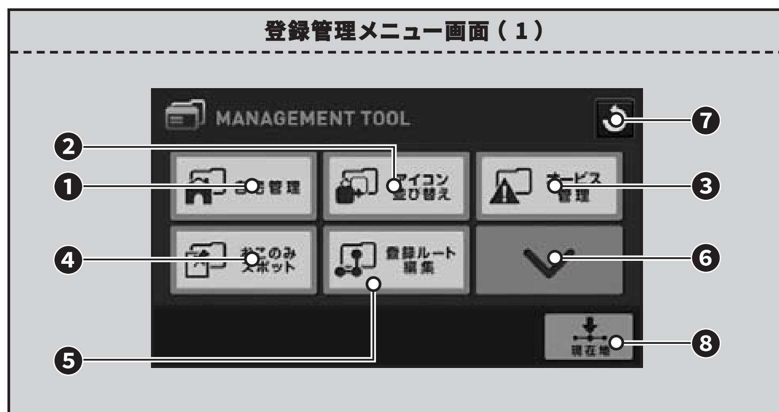
6 アイテムのクリア
→ P137

microSD カードに記録されているデータを消去します。

7 あしあと・エコドライブ
→ P138

GPS 電波の受信状況や、加速度センサー・電子コンパスの作動状態を表示します。

登録管理メニュー画面



登録管理メニュー（1）画面

登録された各種データの管理を行います。

---

❶自宅管理ボタン

自宅設定の初期化を行います。

❷アイコン並び替えボタン

アイコンの初期化を行います。

❸オービス管理ボタン

自分で登録したオービスの削除や初期化などの設定を行います。

❹おこのみスポットボタン

ナビゲーション画面から登録したおこのみスポットの編集や削除などの管理を行います。

❺登録ルート編集ボタン

登録したルートの編集や管理の設定を行います。

❻メニュー移動ボタン

登録管理メニュー（２）を表示します。

❼戻るボタン

ナビゲーションメニューに戻ります。

❽現在地ボタン

ナビゲーション画面に戻り、現在地を表示します。

登録管理メニュー画面



登録管理メニュー(２)画面

登録された各種データの管理を行います。

---

❶アイテム管理ボタン

MAPLUS Webでダウンロードしたデータ管理を行います。

❷ログ管理ボタン

あしあとの記録開始データの管理、

エコドライブモードの開始を行います。

❸メニュー移動ボタン

登録管理メニュー（１）を表示します。

❹戻るボタン

ナビゲーションメニューに戻ります。

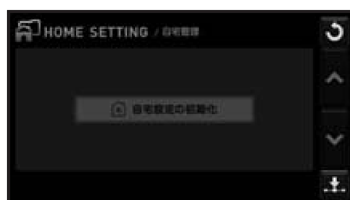
❺現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

自宅登録をクリアする



ナビゲーション画面で登録した自宅の初期化をするには、登録管理メニューから自宅管理をタッチします。



「自宅管理の初期化」をタッチすると登録自宅情報が初期化されて、登録されていない状態に戻りますので、ご注意ください。



「はい」をタッチすると、初期化を開始します。



「自宅登録を初期化しました」と表示されれば、自宅の初期化は完了です。

アイコン並び替えをクリアする



ナビゲーション画面に表示されている、移動・削除が可能な「 コンパス 」「 現在時刻 」「 情報バー」などの位置を初期化するには、「 ボタン並び替え 」をタッチします。



「ボタンの初期化 」をタッチすると工場出荷状態の位置にボタンが初期化されてます。

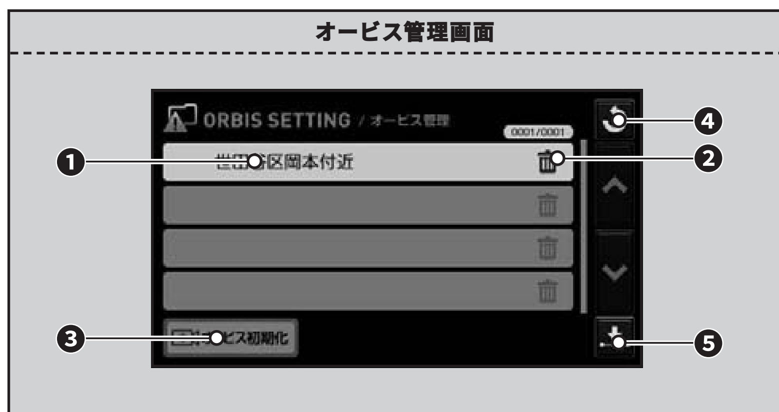


「 はい 」をタッチすると、初期化を開始します。



「 アイコンを初期化しました 」と表示されれば、初期化は完了です。

オービス登録地点をクリアする



オービス管理画面

ナビゲーション画面で登録したオービス情報の管理をします。

---

❶登録オービスデータ

自分で登録したオービスデータが表示されます。

❷オービス削除ボタン

登録したオービスの情報を削除します。

❸オービス初期化ボタン

すべての登録オービスを初期化します。

❹戻るボタン

登録管理画面に戻ります。

❺現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

オービス登録地点を確認・クリアする



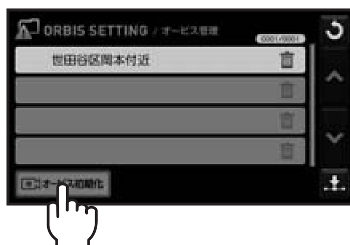
自分で登録したオービスデータを確認するには登録されているデータの住所表示部分をタッチすると、ナビゲーションに表示されます。1件のみ削除する場合には削除ボタン（ゴミ箱）をタッチします。



「はい」をタッチすると、選択したオービスデータを削除します。



「オービスを削除しました」と表示されれば、削除は完了です。



すべてのオービスデータを削除するには、「オービスの初期化」をタッチします。全てのオービスデータが削除されますので、ご注意ください。

おこのみスポットを編集する

おこのみスポットフォルダ一覧画面



おこのみフォルダ一覧設定画面

おこのみスポットの管理、編集、削除などの設定を行います。

❶おこのみスポットフォルダ

おこのみスポットはフォルダでの管理が可能です。

❷おこのみスポットアイコン表示

おこのみスポットのアイコン表示の有無を設定します。設定すると、このフォルダに入っているスポットの全てが、地図上でこのアイコンで表示されます。

❸お好みスポット件数表示

フォルダに保存されたスポットの件数が表示されます。

❹フォルダ名編集ボタン

おこのみスポットフォルダの名称を編集します。

❺フォルダ削除ボタン

おこのみフォルダを削除するボタンです。

❻フォルダ作成ボタン

おこのみスポットを管理するフォルダを作成します。

❼フォルダ初期化ボタン

おこのみスポットフォルダの初期化をします。

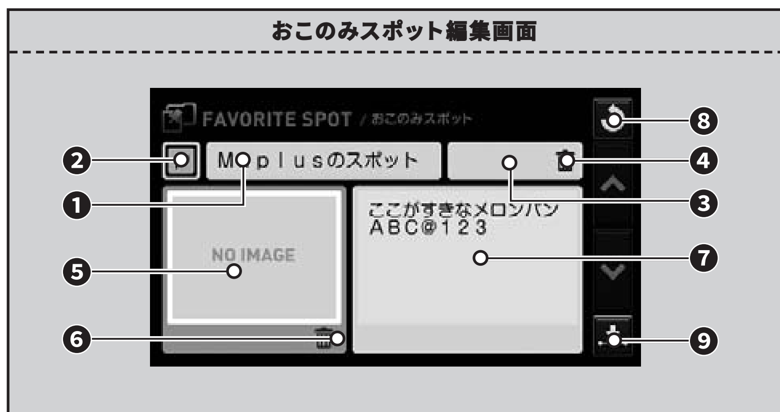
❽戻るボタン

登録管理画面に戻ります。

❾現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

おこのみスポットを編集する



おこのみスポット画面

おこのみスポットの編集を行います。

---

❶おこのみスポット名称表示

登録したおこのみスポットの名称が表示されます。

❷おこのみスポットアイコン選択

このスポットを地図上であらわすとき使う、スポットのアイコンを変更することが可能です。

❸おこのみスポット音声ファイル表示

おこのみスポットに割り当てる、任意の音声ファイル名が表示されます。

❹おこのみスポット音声ファイル削除

おこのみスポットに割り当てた音声ファイルの削除をします。

❺おこのみスポット画像ファイル表示

おこのみスポットに割り当てる、画像ファイルが表示されます。

❻おこのみスポット画像ファイル削除

おこのみスポットに割り当てる、任意の画像を削除します。

❼おこのみスポット情報

登録したおこのみスポットに、コメントや情報の追加ができます。

❽戻るボタン

登録管理画面に戻ります。

❾現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

おこのみスポットに登録できるデータ形式

■音声・音楽データ

サンプリング周波数:44.1kHz／32kHz／22.05kHz

チャンネル：ステレオ／モノラル

量子化ビット：16 ビット

形式：WAV ファイル

容量：2.9MB まで

■写真データ

形式:BMP ファイル、JPG ファイル

容量：3MB まで

おこのみスポットを編集する



おこのみスポットの登録

登録したい場所で、ナビゲーションバーから地点ボタンをタッチし、地点ポップアップメニューから「おこのみスポットに登録」選択します。



保存したいフォルダまたは、新規でフォルダを作成し、保存します。



おこのみスポットを編集する

おこのみスポットの名称を変更したり、コメントや情報を追加することができます。「おこのみスポット情報」エリアをタッチすると、入力画面に切り替わります。



店舗情報や営業時間、訪れた日時や、一緒に行った人など、お好きな情報を入力し、OKをタッチすると入力した情報が保存されます。

おこのみスポットを編集する



おこのみスポットの表示

おこのみスポットの編集をするには「おこのみスポットフォルダ」をタッチし、おこのみスポットの編集ボタンをタッチします。



選択したフォルダ内のおこのみスポットが表示されます。



選択したおこのみスポットが表示されます。



おこのみスポットの画像を登録する

おこのみスポットに、お好きな画像を登録することができます。「おこのみスポット画像表示」エリアをタッチして、登録したい画像を選択してください。事前にmicroSDカードの所定の位置に登録したい画像を保存しておく必要があります。

NAVI_APP（フォルダ）
├favorite（おこのみスポット登録画像･音楽データ）
　├image
　└sound



選択した画像が表示されます。

Chapter 06 ナビゲーション機能：登録管理

おこのみスポットを編集する



おこのみスポットの画像を削除する

おこのみスポット画像を削除するには「おこのみスポット画像表示」エリアにあるゴミ箱ボタンをタッチしてください。



おこのみスポットの音声を登録する

おこのみスポットに、お好きな音声や音楽を登録することができます。「おこのみスポット音声ファイル表示」エリアをタッチして、読み込ませたい音声を選択してください。事前にmicroSDの所定の位置に登録したい音声を保存しておく必要があります。



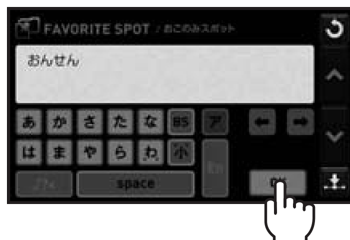
おこのみスポットの音声を削除する

おこのみスポット音声を削除するには「おこのみスポット音声表示」エリアにあるゴミ箱アイコンをタッチしてください。



おこのみスポットフォルダの作成

おこのみスポットはフォルダの中に分類して保存します。



「フォルダ作成」をタッチし、フォルダ名を入力してください。入力が完了したら「OK」をタッチしてフォルダの作成は完了です。

おこのみスポットを編集する



おこのみスポットフォルダの削除

フォルダを削除するには、削除したいフォルダのゴミ箱ボタンをタッチします。



「 はい 」をタッチするとフォルダが削除されます。フォルダ内のおこのみスポットも削除されますのでご注意ください。



フォルダを初期化する

おこのみスポットのフォルダを初期化するには「 フォルダ初期化 」をタッチしてください。



「全フォルダを初期化しますか？」と表示されますので、「はい」をタッチするとすべてのフォルダが初期化されます。



全てのフォルダが初期化されると、全てのおこのみスポットが消去されますので、ご注意ください。

登録ルートを編集する

登録ルート編集画面



登録ルート編集画面

登録ルートの管理、名称編集、削除などを行います。

---

❶登録ルート

登録ルートが表示されます。登録されたときの状態では、ルート設定の内容がそのままファイル名として表示されます。

❷登録ルート名称編集ボタン

登録ルートの名称を編集します。

❸登録ルート削除ボタン

登録ルートの削除をします。

❹戻るボタン

登録管理画面に戻ります。

❺現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

登録ルートを編集する

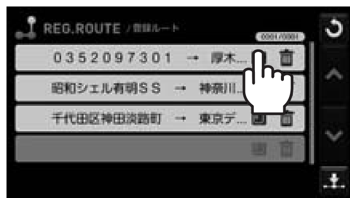


登録ルートを編集する

登録ルートを編集するには、編集したい登録ルートをタッチします。



登録されている内容でルート設定画面が表示されます。変更・追加を行った後、保存ボタンをタッチすると、新しい設定で登録ルートが保存されます。ルート設定の方法は、chapter04 の「ルート設定する」をご覧ください。



登録ルートの名称を編集する

登録ルートの名称を変更することができます。編集するには編集したい登録ルートの登録ルート名称編集ボタンをタッチしてください。



入力画面に切り替わりますので、お好きなルート名を入力し、「OK」をタッチしてください。



登録ルートを削除する

登録ルートを削除するには、登録ルート削除ボタン（ゴミ箱ボタン）をタッチします。

アイテム管理

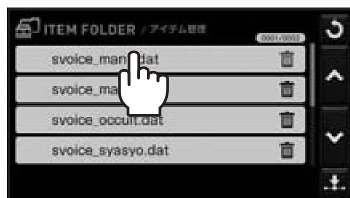


アイテム管理

アイテム管理をするには、登録管理から「 アイテム管理 」ボタンをタッチします。



フォルダ名一覧が表示されます。ここで管理できるのはファイルの削除のみです。



削除したいファイルをフォルダから選択し、ゴミ箱ボタンをタッチすると削除を開始します。



「 はい 」をタッチすると削除します。

フォルダの構成と、保存されるデータにつきましては、下記をご参照ください。

■ mapcity_data：市街図データが保存されています
■ mapcolor_data：地図色パレットデータが保存されています
■ recommend：オススメスポットデータが保存されています
■ route_data：MAPLUS.web作成ルートデータが保存されています
■ svoice_data：センサー連動音声データが保存されています
■ voice_data：案内音声データが保存されています

ログ管理



ログ管理画面

あしあとやエコドライブモードの管理や設定、記録などを行います。

---

❶あしあとボタン

あしあとログの再生、記録をします。

❷エコドライブモード

エコドライブモードの開始や設定、燃費計算などを行います。

❸戻るボタン

登録管理画面に戻ります。

❹現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

あしあと管理

あしあと管理画面



あしあと管理画面

あしあとの管理をします。

❶あしあとログファイル

いままでに保存したあしあとログのファイルです。ログ記録の開始日時と終了日時が表示されます。

❷あしあとログファイル削除ボタン

あしあとログのファイルを削除します。

❸あしあとログ記録開始ボタン

記録開始ボタンを押すと、MicroSDカードにあしあとのログファイルを書き込み開始します。

❹あしあとログ記録終了ボタン

記録終了ボタンを押すと、あしあとのログファイルの書き込みを終了します。

❺戻るボタン

ログ管理画面に戻ります。

❻現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

あしあと管理



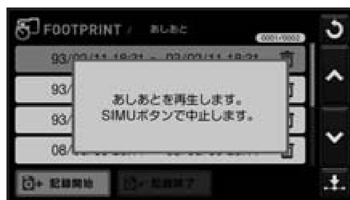
あしあとを記録する

「記録開始」をタッチするとあしあとログの記録を開始します。



あしあと記録を中止する

「記録終了」をタッチすると記録を終了します。記録されたログはあしあとに開始日時～終了日時をファイル名として保存されます。



あしあとを再生する

保存されたあしあとは再生することができます。再生したいログファイルをタッチし、再生を開始してください。



SIMUボタンで再生を開始します。



ログが地図画面上に再生されます。

あしあと管理



ナビゲーション画面上に表示されている「SIMU」ボタンをタッチすると再生を中止します。



あしあと記録を消去する

削除したいログファイルのゴミ箱ボタンをタッチしてください。「 はい 」をタッチするとログファイルが削除されます。

エコドライブモード

エコドライブモード管理画面



エコドライブモード管理画面

エコドライブモードの管理設定をします。

---

❶ e スタート成功率ゲージ

e スタート成功率がゲージで表示されます。

❷ e スタートポイント

e スタートがポイントで表示されます。

❸ 挙動安定率

挙動安定率がゲージで表示されます。

❹ 挙動安定率ポイント

挙動安定率がポイントで表示されます。

❺ 警告回数

急アクセル、急ブレーキ、急ハンドルの警告回数を表示します。

❻ エコドライブ開始ボタン

エコドライブを開始します。

❼ エコドライブ一時停止ボタン

エコドライブを一時停止します。

❽ リセットボタン

ポイントをリセットします。

❾ 燃費計算ボタン

給油量と総走行距離を入力し、燃費の計算をします。

警告レベル表示

警告レベルが表示されます。

Level 1 が「 やさしい 」

Level 3 が「 厳しい 」

戻るボタン

ログ管理画面に戻ります。

現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

エコドライブモード



エコドライブモードを使う

エコドライブモードを開始するには、開始ボタンをタッチして開始します。



「財団法人省エネルギーセンター」ReCooの「ふんわりアクセル「eスタート」」の説明が表示されます。OKボタンを押すと、前の画面に戻り、エコドライブモードが開始されます。一旦開始されると、スポーツ&エコクラスターのメーター画面やナビゲーション画面でもエコドライブモードは動作しています。中止したい場合は、エコドライブモード画面で一時停止ボタンを押してください。



エコドライブモードの解除

イグニッションオフ、ワンセグTVやメディアプレイヤーのフォトビューア、ムービープレイヤー、MAPLUSアプリモードを動作させた時、スポーツ&エコクラスターアプリまたはナビゲーションアプリが終了した時。

エコドライブモード画面の一時停止

「一時停止」ボタンをタッチするとエコドライブモードは一時停止します。

エコドライブモード

燃費計算画面



燃費計算画面

燃費計算ができます。計算結果を記録していくこともできます。

---

❶前回の総走行距離

前回の総走行距離が表示されます。

❷現在の総走行距離

タッチして、現在の総走行距離を入力します。

❸給油量（満タンのみ）

タッチして、給油量を入力します。

❹燃費

❷、❸入力後、燃費表示ウインドウをタッチすると計算された燃費が表示されます。

❺燃費統計ボタン

燃費統計画面を表示します。

❻テンキー

数値入力用のテンキーです。

❼戻るボタン

エコドライブモード画面に戻ります。

❽現在地ボタン

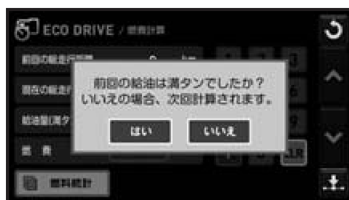
現在地画面へ戻ります。

エコドライブモード



燃費を計算する

総走行距離と給油量の表示ウィンドウをタッチして数値を入力します。



前回が満タン（今回の給油量がそのまま消費量である場合）は、入力した数字で燃費を計算します。



今回給油分の燃費が計算され、自動的に記録されます。



これまでの燃費の履歴を見る

燃費統計ボタンをタッチします。



履歴が一覧表示されます。リセットするときは統計初期化ボタンをタッチします。
全ての燃費データが初期化（リセット）されるのでご注意ください。

ナビゲーションの設定のしかた

ナビゲーション使用中は、様々な表示や音声案内が行われますが、これらを変更することができます。

1 表示設定

P148

ナビゲーション中に表示されるアイコンや地図色を変更したり、文字の大きさなど画面表示に関する設定をすることができます。

2 サウンド設定

P157

音量の設定や案内頻度など、案内音声に関する設定を行います。本機は、マスター音量の設定とは別に、各アプリケーション個別での音量設定が可能です。

3 案内設定

P158

ルート探索条件の詳細、ルート案内中の警告や機能、あしあと記録など案内に関する設定を行います。

4 GPS 情報

P160

GPS電波の受信状況や状態を表示します。

5 G センサー・コンパス情報

P161

加速度センサー・電子コンパスの作動状態を表示します。

⚠ 警告

運転中、本製品の操作や注視をしないでください。

事故の原因となります。特に運転者が運転中に操作することは大変危険です。運転中はドライバーモードで使用し、運転者は操作を行わないでください。

交通規則や実際の道路状況に従って走行してください。

ナビゲーションと実際の交通状況が合っていないときに、無理にナビゲーションに従って走行すると事故の原因となります。状況に合わせて走行してください。

設定画面



設定画面

ナビゲーションを、より使いやすくするための多彩な設定を行います。

---

❶表示設定ボタン

地図の方向や、文字の大きさなど画面表示の設定を行います。

❷サウンド設定ボタン

音量の調節や選択、案内の頻度など音声の設定を行います。

❸案内設定ボタン

案内のタイミングやリルートなど案内の設定を行います。

❹ GPS情報ボタン

GPS取得情報を表示します。

❺ Gセンサー＆コンパス情報ボタン

Gセンサーのステータスや電子コンパスをに表示します。

❻戻るボタン

ナビゲーション設定画面に戻ります。

❼現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

表示設定画面

表示設定画面



表示設定画面

詳細の設定内容については下記を参照ください。

ナビゲーション表示の設定を行います。

---

❶設定項目ボタン

それぞれの設定を行います。変更したい項目にタッチしてください。

❷設定表示

それぞれの設定がどのようになっているかを表示します。

❸詳細設定ボタン

詳細設定が可能な項目を表示します。

❹戻るボタン

ナビゲーション設定画面に戻ります。

❺現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

設定を変更する



設定を変更したい項目をタッチし、お使いになられる環境に応じて、お好きな設定に変更してください。



基本的な操作は変更したい項目をタッチし、左右の設定変更ボタンで変更するだけの簡単操作となっています。いくつかの設定は、ダウンロードしたデータを読み込んで設定に反映されるものもあります。ファイルの読み込みなどにつきましては、各項目をご参照ください。

デフォルト設定について

本書では、➡がついている項目がデフォルト（工場出荷設定）の設定となっています。

表示設定：通常設定



案内優先表示(⇒*1)

案内優先表示の設定を変更します。

➡案内方向優先
　レーン情報優先



案内方向優先

案内方向優先設定

案内矢印を大きく表示します。この場合、交差点情報数は1つしか表示しません。また、残距離バーを表示することはできません。



レーン情報優先

レーン優先表示設定

交差点情報数を最大5つまで同時に表示することができます。レーン表示優先設定にすると、案内矢印は小さく表示されます。
※左図は到着予想表示設定が「表示する」に設定され、残距離バーが表示されています。



地図方向

地図方向の設定を変更します。お好みに合わせて設定ください。

ノースアップ設定
画面の上方向が北方向になるように表示します。

ヘディングアップ設定
画面の上方向が進行方向になるように表示します。



文字の大きさ

地図画面に表示される地名や交差点名、高速道路入り口などの文字の大きさを設定します。

　小さめ
➡ふつう
　大きめ

表示設定：通常設定



優先表示

地図画面に表示される地名や道路名、施設名のうち、どれを優先（表示する文字サイズを大きく）して表示するかを設定します。標準は、住所、道路名、施設名の文字は、全て同じフォントサイズで表示します。

➡標準
住所優先
道路名優先
施設名優先



地図色設定[⇒*2]

ナビゲーションの地図色表示の設定をします。

テーマ選択
➡標準設定

昼夜色設定
➡自動
昼色固定
夜色固定

テーマ選択は「MAPLUS．Web」で作成した地図色設定をダウンロードして使用するときに設定します。データがなければ標準設定のみです。



昼色



夜色



ランドマーク表示

変更したいランドマークを選択し、「表示する」「表示しない」を設定することで、地図画面上にランドマーク表示するかしないかを設定できます。設定は、ジャンル単位で設定できます。ランドマーク表示を多くすると、ナビゲーション動作が遅くなる場合があります。ご注意ください。

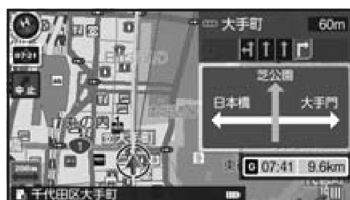
表示設定：通常設定



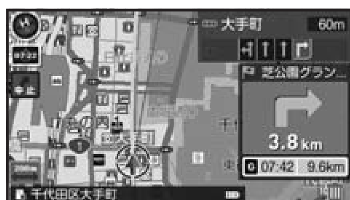
青看板表示

青看板表示の設定を変更します。お

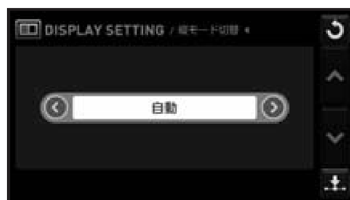
➡表示する
　表示しない



青看板表示する
※青看板表示部はドラッグで移動できます。



青看板表示なし



縦モード切替

縦モード切替えの設定を変更します。自動の場合には、加速度センサーが本体の姿勢を自動的に判断し表示の変更を行います。

➡自動
　横モード固定
　縦モード固定



交差点拡大図表示

交差点拡大図表示の設定を変更します。お好みに合わせて設定ください。

➡表示する
　表示しない



交差点拡大表示する
※交差点拡大表示部は移動できません。



交差点拡大表示しない

表示設定：通常設定

[⇒*1]：案内優先表示

案内優先表示設定にて「 案内方向優先 」に設定した場合、表示設定⇒詳細設定にある下記 3 つの表示設定はできませんのでご注意ください。

1.交差点情報表示
2.交差点情報数
3.到着予想表示

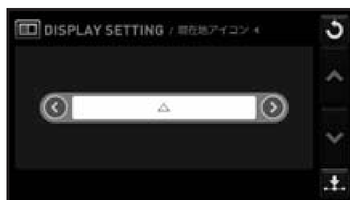
「 レーン情報優先 」を選択した場合は、すべての設定が可能です。

[⇒*2]：地図色テーマ選択について

地図色のテーマを変更するには、MAPLUS.webから地図色ファイルのダウンロードが必要です。また、地図色ファイルを本機に読み込ませるために、microSDカードが必要ですので、ご注意ください。データダウンロードの詳細につきましてはMAPLUS.web (http://maplus-navi.jp/) へアクセスし、ご確認ください。

自動切換え設定しているときは、次の時間で切り替わります。
4月1日～9月30日：6時 (夜表示→昼表示)、18時 (昼表示→夜表示)
10月1日～3月31日：7時 (夜表示→昼表示)、17時 (昼表示→夜表示)

表示設定：詳細設定



現在地アイコン［⇒*3］

ナビゲーション画面に表示される現在地アイコン表示の設定を変更します。

自転車
徒歩
➡△
クルマ
バイク



コンパス表示

ナビゲーション画面に表示されるコンパス（地図方向アイコン）表示の設定を変更します。

➡表示する
表示しない

地図画面上でも、コンパスアイコンをドラッグしてゴミ箱に移動することにより、表示する、表示しないを設定できます。



現在時刻表示

現在時刻表示の設定を変更します。

➡表示する
表示しない

地図画面上でも、現在時刻表示アイコンをドラッグしてゴミ箱に移動することにより、表示する、表示しないを設定できます。



ハイウェイマップ

ハイウェイマップ表示の設定を変更します。

➡表示する
表示しない



表示する



表示しない

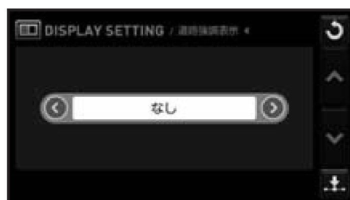
表示設定：詳細設定



軌跡表示 [⇒ *4]

ＧＰＳ軌跡（自車軌跡）を地図画面上に点であらわします。

➡表示する
　表示しない



道路強調表示

地図画面上で主要道路を太く強調して表示することができます。

➡なし
　高速以上強調
　国道以上強調
　県道以上強調



交差点情報表示 [⇒ *1]

レーン情報優先表示選択時の、レーン情報の内容を設定します。

➡レーン情報表示、交差点名表示
案内優先表示を､「 案内優先表示 」に設定していると、本機能は使用できなくなります。



交差点名称



レーン情報

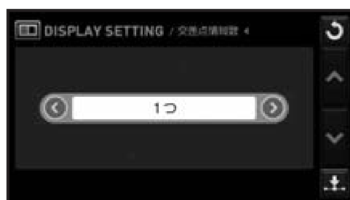
[⇒ *3］現在地アイコン

ルート設定画面で走行モード（クルマ、バイク、徒歩、自転車アローＴモード、ラリーＴモード）を切り替えても、現在地アイコンの表示とは連動しません。

[⇒ *4］軌跡表示

表示しない設定の場合でも、ＧＰＳを利用した測位やあしあとログの記録は行われます。

表示設定：詳細設定



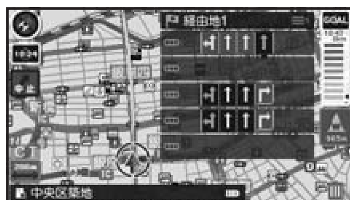
交差点情報数 [⇒*1]

レーン情報優先表示選択時の、レーン情報の数を設定します。

表示しない
➡1つ
2つ
3つ
4つ
5つ



2つ



5つ



道路名・住所表示

ナビゲーション画面下部に表示される交差点情報表示バーの表示の有無を設定します。

道路名表示
➡住所表示
表示しない



到着予想表示 [⇒*1]

到着予想表示の設定を変更します。

➡表示する
表示しない

案内優先表示を、「 レーン情報優先 」に設定していたときに、地図画面上に目的地残距離バー表示の設定を変更します。
案内優先表示を、「 案内方向優先 」にしていると、本機能は使用できなくなります。

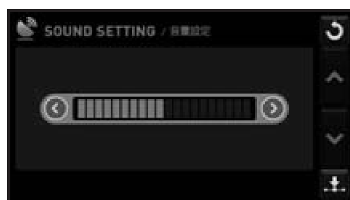


表示する



表示しない

サウンド設定



音量設定

音量を調節できます。メインメニューの音量調節と連動しています。

０～２０段階設定で1段階ずつ設定できます。



案内頻度

ルート案内時の音声案内の頻度を設定します。頻度が高くなるほど案内ポイントの手前から案内を行います。

なし
少ない
➡普通
多い
非常に多い



音声選択 [⇒*5]

案内音声を設定します。購入時は、標準音声のみです。

MAPLUS Webにて購入、ダウンロードした音声データがある場合は、選択肢に追加されます。



センサー連動 [⇒*5]

音声のセンサー連動を設定します。

➡なし
お姉さん

MAPLUS Webにて購入、ダウンロードした音声データがある場合は、選択肢に更に追加されます。

[⇒*5]：音声を選択するには

本体にあらかじめ搭載されているもの以外の音声案内を選択するには、MAPLUS. web から音声ファイルのダウンロードが必要です。また、ダウンロードした音声ファイルを本体に読み込ませるために、microSD カードが必要ですので、ご注意ください。データダウンロードの詳細につきましてはMAPLUS.web (http://maplus-navi.jp/) へアクセスし、ご確認ください。

案内設定



オートリルート [⇒*6]

オートリルートの設定を変更します。案内されたルートから外れた場合に、自動的にリルートします。お使いになられる環境に合わせて設定を行ってください。

➡する
　しない



オービス警告レベル

オービス箇所が近づいた際に警告する頻度を設定します。お使いになられる環境に応じて設定してください。

　警告しない
　低い
➡普通
　高い



目的地方向線

目的地を設定した場合に、目的地までの方向線を表示します。お使いになられる環境に合わせて設定を行ってください。

➡表示する
　表示しない



フェリー利用 [⇒*7]

フェリー利用の設定を変更します。お使いになられる環境に合わせて設定を行ってください。

➡利用する
　利用しない



案内タイミング

音声案内のタイミングを設定します。お使いになられる環境に合わせて設定を行ってください。

➡普通
　少し早め
　もっと早め

案内設定



マップマッチング [⇒*8]

マップマッチングの設定を行います。お使いになられる環境に合わせて設定を行ってください。

強い
➡普通
低い
しない



あしあと記録間隔 [⇒*9]

あしあとの記録間隔の設定を行います。お使いになられる環境に合わせて設定を行ってください。

➡1 秒
2 秒
3 秒

[*6]：徒歩・自転車モードでの案内時のオートリルート

ルート設定画面で走行モードを「 徒歩・自転車 」にしてルート探索・案内をおこなっているときは、ここでの設定にかかわらずオートリルートは行いません。

[*7]：フェリー利用

フェリー航路も含むルート探索を行ったときは、利用しない場合にくらべ探索に時間がかかることがあります。

[*8]：マップマッチング

マップマッチングとはGPSや加速度センサー・電子コンパス等から取得した位置情報を地図上の道路へ補正 (紐付け) する機能です。「 低い 」「 普通 」「 強い 」は設定した強弱から位置や方向等を参考に、適当な道路を探し案内経路に補正させます。「 しない 」は道路と関係なく、自車位置を地図上に表示します。

[*9]：あしあと記録間隔

あしあとログが 1 回で記録できるポイント数は、記録するmicroSDカードの容量により異なります。あしあとを記録する間隔を長くすることで、同じ容量のmicroSDカードでも、より長時間の連続記録が可能になります。

GPS情報画面



GPS情報画面

GPS情報取得ステータスを表示します。

---

❶ GPS情報表示エリア

信号を受信したGPS情報が表示されるエリアです。

ID：GPS衛星ID番号
ELEV:衛星の仰角
AZI:衛星の方位角
SNR:S/N比数値
USED:GPS信号取得・未取得

❷ GPSステータスエリア

GPSから取得した自車の情報が表示されるエリアです。

DATE：西暦年月日
TIME：現在時刻
N：北緯表示
E：東経表示
PDOP：位置精度低下率
HDOP：水平精度低下率
VDOP：垂直制度低下率
QUALITY：測位状態(2D/3D)
ALT:平均海面からの高度
SPEED：移動速度
COURSE：角度

❸ GPSレーダーディスプレイ

天空にあるGPS衛星の位置と、その衛星のID番号を表示します。

❹ 現在地ボタン

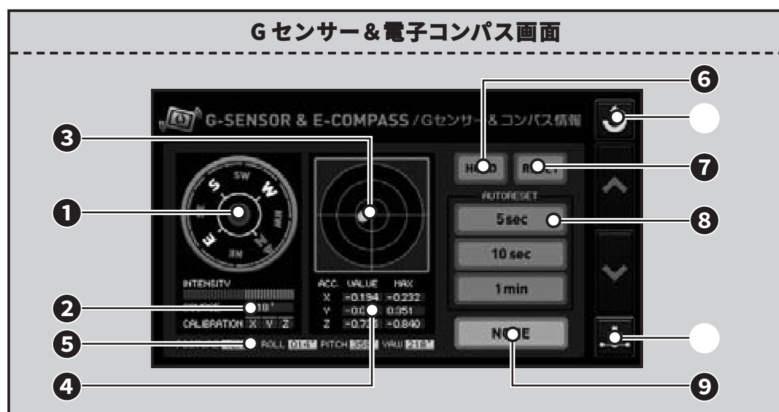
ナビゲーション画面へ戻り、現在地を表示します。

❺ 戻るボタン

ナビゲーション設定メニューへ戻ります。

Gセンサー＆コンパス画面

Gセンサー＆電子コンパス画面



Gセンサー＆コンパス画面

Gセンサーとコンパスを表示します。

---

❶電子コンパスステータス

自分の向いている方位をリアルタイムに表示します。

❷電子コンパス情報

自分の向いている方位をリアルタイムに表示します。

INTENSITY：電界強度
COURSE：方位
CALIBRATION：状態情報

※キャリブレーションされている場合にはXYZの上部がオレンジ色になります。

❸加速度センサーステータス

現在の状態をリアルタイムに表示します。

❹加速度センサー情報

ACC：センサーの軸
VALUE：重力(G)の値
MAX：重力(G)の最大最小値

❺ポスチャーステータス

姿勢、ロール、ピッチ、ヨーの状態を数値でリアルタイムに表示します。

POSTURE：姿勢（水平/垂直）
ROLL：ロール
PITCH：ピッチ
YAW：ヨー

❻ホールドボタン

加速度センサーの状態をホールドするボタンです。

❼リセットボタン

ホールド状態をリセットします。

❽オートリセット設定

自動的にオートリセットする時間を設定します。

❾リセットなし設定（NONE）ボタン

オートリセットをしない設定に切り替えるボタンです。

現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

戻るボタン

ナビゲーション設定メニューへ戻ります。

GPS情報・Gセンサー＆コンパスについて

GPS情報

■GPS情報

GPS（Global Positioning System）とは、全地球測位システムまたは汎地球測位システムともいわれる、地球上の現在位置を調べるための衛星測位システムです。本機では、このGPSの情報を利用して自車位置の特定を行っています。GPS情報では、単純にGPSを取得できているかどうかだけでなく、どの方向のどの番号の衛星を利用しているのかや、各衛星の受信強度などがリアルタイムに分かるようになっています。また、現在の速度や高度なども確認が可能です。

Gセンサー＆電子コンパスについて

■Gセンサー

Gセンサーとは、本体に対してどの方向にどの程度の加速度（G）が掛かっているのかを測定するものです。本機では、3次元（X,Y,Z軸）方向に対する加速度を計測しており、主にトンネル通過時などGPSが取得しにくい場所でも安定したナビゲーションを行うために使用しています。また、エコドライブモードでは、このGセンサーで取得した数値を元に、急加減速の判定をする方式を取っています。

■電子コンパス

電子コンパスとは、地磁気を利用して方位を測定するものです。画面内コンパス上の「N」は常に地磁気の北を指し示しており、本体の向きを上下左右に回転させても自動的に方位を計測します。本機では、主にナビゲーション時の自車の向きに使用しております。

『本体の仕様：測位機能』の項もお読みください。

ワンセグテレビに関するご注意

地上デジタル放送について

地上デジタル放送とは、2003 年 12 月 1 日から、関東、近畿、中京の 3 大広域圏で、地上波の UHF 帯を使用して開始されたデジタル放送です。このデジタル放送サービスのひとつで、携帯電話や移動端末向けに、2006 年 4 月 1 日から開始されたサービスが「 ワンセグ放送 」です。地上デジタル放送用の 6 メガヘルツの帯域を 13 セグメントに分けたうち、12 セグメントは地上デジタル放送用に、残り 1 セグメントをワンセグ放送用に使用しています。ワンセグ放送はこの 1 セグメントで、映像、音声、データを送信する放送方式です。

地上デジタル放送の電波について

受信場所や受信環境によっては、地上デジタル放送電波が弱く受信できない場合があります。

●受信しづらい場所

・放送局から遠い地域、または極端に近い地域
・山間部やビルの陰、地下、トンネル、室内など
・高圧電線、ネオンサイン、無線局、高速道路などの近く
・妨害電波が多かったり、電波が遮断される場所
・移動しながら受信しようとしている場合

●受信状態の改善

次のことを実行することで改善される場合があります。
・室内で視聴する場合は、窓際に移動することで改善することがあります。

本製品は ARIB(社団法人 電波産業会) 規格に基づいた仕様になっています。将来の規格変更があった場合は、仕様を変更する場合があります。

ワンセグ放送サービスについての詳細は、社団法人デジタル放送推進協会ウェブサイトをご覧ください。

社団法人 デジタル放送推進協会ウェブサイト　**http://www.dpa.or.jp/**

ワンセグテレビに関するご注意

画面の表示比率について

地上デジタル放送の画面比率は16：9で固定されています。画面上で映像が4：3で表示されているものは、あらかじめ放送局で4：3比率の映像の左右に余黒（または放送局固有のフレーム）を付加して放送しています。

放送電波の受信状態と映像・音声出力

デジタル放送では、アナログ放送と違い映像や音声にノイズが混ざることはありません。放送電波が途切れた場合は、映像や音声も途切れて表現されたり、映像がモザイク状に表示されることがあります。全く受信できない状況では、映像・音声とも出力されません。

録画について

番組の録画はmicroSDカードへ行います。必ず推奨メーカーの製品を使用し、ＰＣなどでフォーマットを行ってから本体に装着してください。また、録画中は設定ボタンが表示されず、字幕などの設定ができません。あらかじめ設定を行ってください。

●推奨microSDカード

推奨メーカー：東芝、SanDisk

フォーマット形式：microSDカード／FAT形式、microSDHCカード／FAT32形式

録画した番組の再生について

microSDカードへ録画した番組の再生は、録画を行った本体でのみ行うことができます。ＰＣなどの他の機器や、同じ本製品であっても他の本体で録画した番組を再生することはできません。また、他の機器で録画した番組を、本製品で再生することもできません。

受信状態が悪いときの録画について

電波の受信状態が悪いときに番組を録画した場合、受信できなかった部分はカットされて録画されます。このため映像や音声が途切れて録画され、実際の放送時間よりも録画時間が短くなることがあります。

エラーメッセージが出てしまったら

ワンセグテレビのご使用中、ごくまれに「システムエラー：1セグデバイス の準備ができていません。」「アプリケーションエラー」というメッセージが出ることがあります。この表示が出たら、電源スイッチを切って再起動を行ってください。

基本的な使い方

ワンセグテレビを見るには、メインメニューからワンセグボタンを選択し、ワンセグテレビを起動します。本体に収納されているワンセグアンテナを引き出して準備します。なお、ワンセグテレビ機能は、操作モードがドライバーモードになっているときは操作できません。詳しくは『 電源をいれ起動する 』もご覧ください。

1 ワンセグテレビを起動する

P166

ワンセグテレビ機能を起動して放送電波を受信します。初めて使うときや長距離移動のときは、チャンネルスキャンを行ってください。

2 ワンセグテレビを見る

P167

チャンネル切替や音量調節は操作画面から行います。EPG（電子番組表）の表示もできます。

3 ワンセグテレビを録画・再生する

P171

microSDカードへ番組を録画することができます。microSDカードに録画した番組を再生するときも、ワンセグテレビ機能を使用して視聴します。

⚠ 警告

運転中、本製品の操作や注視をしないでください。

事故の原因となります。特に運転者が運転中に操作すること、画面を注視することは大変危険です。運転中は必ずドライバーモードで使用し、運転者は操作を行わず、また注視しないでください。

ワンセグテレビを起動する



本体の電源を入れ、ワンセグアンテナを引き出します。

⚠ 注意

ワンセグアンテナは確実に基礎部分まで引き出してください。無理に折り曲げたり引っ張ると破損するおそれがあります。



メインメニューからワンセグテレビボタンを選択し、ワンセグテレビを起動します。

⚠ 注意

ワンセグテレビ機能は、操作モードがドライバーモードになっているときは操作できません。



ワンセグテレビ操作画面が表示されます。うまく受信できないときは、ワンセグアンテナや本体の向きを変えてください。また、前回使用した場所から移動している場合は放送エリアが変わっている可能性がありますので、チャンネルスキャンを行ってください。

ワンセグテレビ操作画面



ワンセグテレビの操作

チャンネル切替などの操作はこの画面から行います。テレビ画面をタッチするとフルスクリーン表示と操作画面が切り替えられます。また、10 秒間操作をしないと自動でフルスクリーン表示に切り替わります。

---

❶放送映像表示エリア

受信中のチャンネルの映像を表示します。

❷ホームボタン

ワンセグテレビを終了しメインメニューへ戻ります。

❸ナビゲーションボタン

ワンセグテレビを終了しナビゲーションを起動します。

❹戻るボタン

フルスクリーン表示へ切り替えます。

❺録画開始ボタン

microSD カードへの録画を開始します。録画中は録画停止ボタンになります。

❻録画済み番組リストボタン

この本体で過去に録画した番組がリスト表示されます。

❼設定ボタン

ワンセグテレビ全体の設定を行います。EPG（電子番組表）やチャンネルリストを見ることもできます。

❽チャンネル切替ボタン

前後のチャンネルに切り替えます。

❾シークボタン

チャンネルシークを開始します。

音量調節ボタン

本体側の設定音量に加え、音量調節ができます。

ミュートボタン

音声出力を一時的に停止します。もう一度押すと音声出力を再開します。

音量表示

現在の音量設定を表示します。

チャンネル表示

受信しているチャンネル、放送局名、番組名を表示します。

受信感度表示

受信している放送電波の強さを表示します。

ワンセグテレビの表示と操作

チャンネルスキャン

本製品で初めてワンセグテレビを使用するときや、長距離移動をして放送エリアが変わるときは、設定ボタンをタッチしチャンネルスキャンを行ってください。チャネルスキャンを行うと放送エリア内のチャンネルが本体に記録され、チャンネル切替ボタンが使用できるようになり、EPG（電子番組表）を見ることもできるようになります。
なお、受信環境によっては、チャンネルスキャンを行っても受信できる放送電波がない場合もあります。

チャンネルの変更

シークボタンまたはチャンネル切替ボタンで変更します。

●チャンネルボタンで変更する
チャンネルスキャン時に本体に記録されたチャンネルへ順番に切り替えます。

●シークボタンで変更する
チャンネルシークを行い、受信できたチャンネルを表示します。

フルスクリーン表示

フルスクリーン表示では、番組が画面いっぱいに映し出されます。次の場合や操作を行ったときに、操作画面からフルスクリーン表示へ切り替えます。

●操作画面からフルスクリーン表示への切り替え
・操作画面で 10 秒以上何も操作を行わなかったとき、自動的に切り替えます。
・操作画面の、映像部分をタッチするとフルスクリーン表示へ切り替えます。
・戻るボタンをタッチするとフルスクリーン表示へ切り替えます。

●フルスクリーン表示から操作画面への切り替え
フルスクリーン時に画面をタッチすると、操作画面へ切り替えます。

音量調節

メインメニューでのマスター音量設定に加え、ワンセグテレビ独自の音量調節ができます。音量調節ボタンを押して調節してください。ワンセグテレビ上での音量は、操作画面上の音量表示にあらわされます。ワンセグテレビ上の音量をいっぱいまで調節しても音が小さい場合は、一旦ワンセグテレビを終了し、メインメニューの設定内の音量も調節してください。

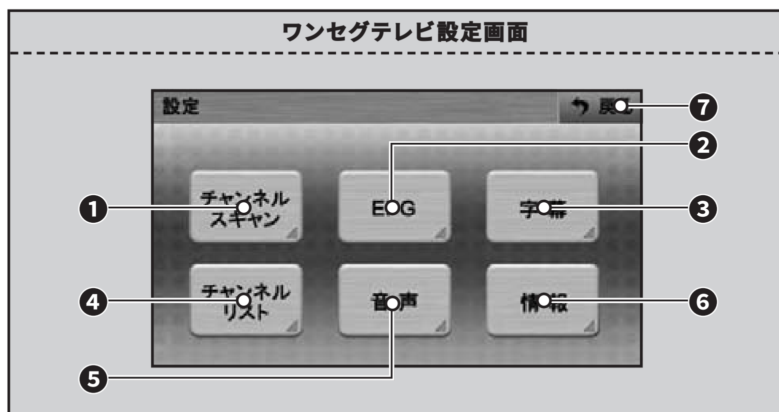
音声のミュート

一時的に音声を消したいときは、ミュートボタンを押します。ボタンを押すと表示が変わり、ミュート中であることを表示します。ミュートの解除は、もう一度ミュートボタンを押すと解除されます。

ワンセグテレビの終了

ホームボタンを押すと、ワンセグテレビを終了してメインメニューを表示します。ナビゲーションボタンを押すと、ワンセグテレビを終了してナビゲーション機能を起動します。

ワンセグテレビ設定画面



ワンセグテレビ設定画面

操作画面の設定ボタンをタッチすると表示される設定画面です。チャンネルスキャンや字幕表示など、操作画面から行うときより詳細な設定を行うことができます。また、EPG（電子番組表）やチャンネルリストもこの画面から見ることができます。

---

❶チャンネルスキャン登録ボタン

チャンネルスキャンのモードを選択してスキャンを行えます。

❷ EPGボタン

現在受信しているチャンネルのEPG（電子番組表）を表示します。

❸字幕ボタン

字幕表示の有無を設定します。

❹チャンネルリストボタン

受信可能な放送局をリスト表示します。

❺音声／設定ボタン

主音声と副音声の出力モードを設定します。

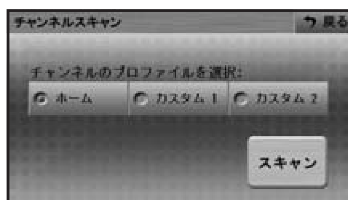
❻情報ボタン

ソフトウェアのバージョンを表示します。

❼戻るボタン

前画面に戻ります。このボタンは、項目ごとの設定画面で共通です。

ワンセグテレビの詳細設定



チャンネルスキャン登録

異なるエリアのチャンネルリストをあらかじめ登録しておき、簡単に切り替えることができます。プロファイルを選択してスキャンボタンをタッチすると、チャンネルスキャンを開始します。スキャンが完了すると自動的にチャンネルリスト画面を表示します。３つまでプログラムリストを保存可能です。



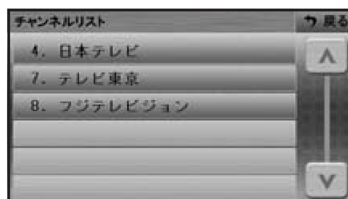
EPG

受信中のチャンネルのEPG（電子番組表）を表示します。番組名にタッチすると、番組の出演者などの情報を表示します。戻るボタンをタッチして戻ります。



字幕

字幕表示の種別と表示の有無を設定できます。



チャンネルリスト

スキャンされたチャンネルをリスト表示します。放送局名をタッチすると、チャンネルを切り替えることができます。



音声／設定

主音声と副音声の出力を切り替えます。

ワンセグテレビを録画する

録画の前に

ワンセグテレビ番組はmicroSDカードに録画します。必ず推奨メーカーの製品を使用し、ＰＣなどでフォーマットを行ってから本体に装着してください。また、録画中は設定ボタンが表示されず、字幕などの設定ができません。あらかじめ設定を行ってください。

●microSDカード

推奨メーカー：東芝、SanDisk
フォーマット形式：microSDカード／FAT形式、microSDHCカード／FAT32形式



録画方法

録画したいチャンネルを表示し、操作画面の録画ボタンをタッチします。



録画が始まります。録画中は録画ボタンは録画停止ボタンに変わり、中央に録画時間が表示されます。録画中も音量調節ボタンやミュートボタン、戻るボタンは使用できます。画面をタッチしてフルスクリーン表示も可能です。録画中は字幕などの設定は変更できません。



録画停止ボタンを押して録画を終了します。

録画した番組を再生する

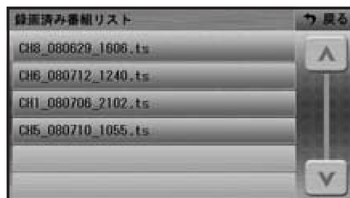
再生の前に

番組を録画したmicroSDカードを本体へ装着してください。microSDカードへ録画した番組の再生は、録画を行った本体でのみ行うことができます。PCなどの他の機器や、同じ本製品であっても他の本体で録画した番組を再生することはできません。また、他の機器で録画した番組を、本製品で再生することもできません。

再生方法



録画したmicroSDカードを本体に装着し、再生ボタンを押します。



録画済み番組リストが表示されるので、再生したい番組を選択すると、フルスクリーン表示で再生が始まります。



再生中は操作画面の録画ボタンが一時停止ボタンに、録画済み番組リストボタンが停止ボタンに変わります。

メディアプレーヤーを使う

お使いのmicroSDカードへ、お好みのデータを保存することにより、音楽•動画•静止画の再生がメディアプレーヤーで可能です。なお、メディアプレーヤー機能は、操作モードがドライバーモードになっているときは操作できません。詳しくは『電源をいれ起動する』もご覧ください。

対応フォーマット
ミュージックプレーヤー：MP3、WMA
ムービープレーヤー：MP4、WMV、H.264
フォトビューワ：JPEG、BMP

microSDカード推奨メーカー：東芝、SanDisk
フォーマット形式：microSDカード／FAT形式、microSDHCカード／FAT32形式

1 ミュージックプレーヤーを使う

→ P176

microSDカード内に保存された、音楽ファイルを再生することができます。また、ナビゲーション中も再生可能です。

2 ムービープレーヤーを使う

→ P177

microSDカード内に保存された、著作権で保護されていない一般的なMP4、WMV、H.264を再生することができます。

3 フォトビューワを使う

→ P178

スライドショー形式での再生やズーム機能を搭載したフォトビューワ機能では、microSDカード内に保存されたJPEG及びBMPファイルを表示することができます。

⚠ 警告

運転中、本製品の操作や注視をしないでください。

事故の原因となります。特に運転者が運転中に操作すること、画面を注視することは大変危険です。運転中は必ずドライバーモードで使用し、運転者は操作を行わず、また注視しないでください。

メディアプレーヤーのご注意

microSD カードについて

⚠ 警 告

microSD カードは推奨メーカー製品を必ず使用してください。

推奨メーカー以外のカードは動作保証対象外ですのでご注意ください。

データの読み込み中にmicroSD をカード絶対に取り出さないでください。

microSD カード内のデータ破損や、本体故障の原因となりますので、データの読み込み中にはmicroSD カードは絶対に取り出さないでください。また、読み込み中にmicroSD カードを取り出したり、本体の電源を切った場合や、静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合は、データが破壊されることがありますのでご注意ください。

大切なデータはバックアップを取ってください。

大切なデータは万が一の場合にそなえ、他の記憶媒体などに、定期的にバックアップされることをおすすめします。保存されたデータが消去してしまうことがあっても、弊社では一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

microSD カードは安全な場所に保管してください。

取り出したmicroSD カードは、カードに付属したケースに入れるなどして保管し、お取り扱いには十分ご注意ください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことがないように、保管場所も十分ご注意ください。

● microSD カードに保存されたデータの判別を本体で行うため、再生画面が表示されるまでに時間がかかる場合がありますので、ご了承ください。

microSD カードの準備

メディアプレーヤーを使うには、microSD カードを所定の方法でフォーマットした上で、所定の名前の付けたフォルダに、あらかじめ再生したいファイルを入れておく必要があります。

● microSD カードのフォーマット

容量が 2GB 以下の microSD カードは FAT 形式、microSDHC カードは FAT32 形式でフォーマットを行ってください。

●フォルダの作成

フォーマットしたmicroSD カードを本体へ装着し、本体の電源を入れると、フォルダが自動的に作成されます。

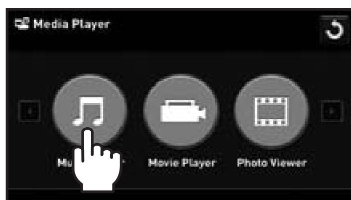
フォルダ名「MUSIC」：音声ファイル（MP3、WMA）を保存します。

フォルダ名「MOVIE」：動画ファイル（MP4、WMV、H.264）を保存します。

フォルダ名「PHOTO」：画像ファイル（JPG、BMP）を保存します。

●詳しくは『使用上のご注意：microSD カードの使用』をご覧ください。

各プレーヤーを起動する



利用したいプレーヤーをタッチして起動してください。



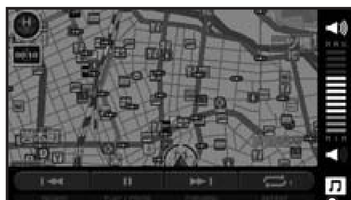
microSD カードに保存された音楽や動画がリスト表示されます。再生したいファイルをタッチしてください。



再生モードに切り替わり、選択した音楽や動画、静止画が再生されます。



フォトビューワではリスト表示した後にサムネイル表示します。画像を選択すると大きく表示します。



ミュージックプレーヤーは、ナビゲーション中も再生が可能です。ナビゲーション起動中に、画面上に表示されている音符ボタンをタッチすると、ミュージックプレーヤーが画面内で起動します。右下の音符ボタンをタッチすると、音楽の再生はされたままで、プレーヤー画面は非表示になります。

ミュージックプレーヤー画面



ミュージックプレーヤー操作画面

MP3、WMAフォーマットの音声・音楽ファイル再生が可能なミュージックプレーヤーです。メインメニューのミュージックプレーヤーボタンを選択し起動した後、microSDカードに保存したファイルを再生します。

❶音楽情報表示エリア

音楽情報表示エリアには、タイトル情報が表示できる場合に、タイトルやアーティスト名を表示します。また、再生時間バー部分をタッチすることで、音楽の操作も可能です。

❷逆スキップボタン

1 曲戻しをします。

❸再生／一時停止ボタン

音楽の再生、一時停止操作を行います。

❹スキップボタン

1 曲送ります。

❺リピートモード切替ボタン

音楽再生モードの切り替えを行います。全曲リピート、1曲のみリピート、リピートしないの 3 種類の切り替えが可能です。

❻音量調節（大）

再生中の音楽の音量を大きくします。

❼音量調節（小）

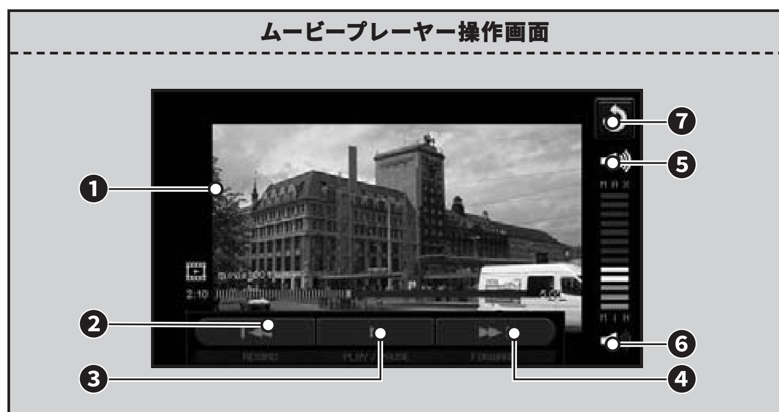
再生中の音楽の音量を小さくします。

❽戻るボタン

ミュージックプレーヤーのリスト表示画面に戻ります。

対応ファイル形式：MP3、WMA

ムービープレーヤー画面



ムービープレーヤー操作画面

対応したファイル形式の動画を再生できるムービープレーヤーです。メインメニューのムービープレーヤーボタンを選択し起動した後、microSD カードに保存した動画ファイルを再生します。

---

❶動画再生エリア

動画が再生表示されるエリアです。再生ファイル名、再生時間などが表示されます。再生時間バーを操作することにより動画の操作も可能です。

❷巻き戻しボタン

再生中の動画を巻き戻します。

❸再生／一時停止ボタン

動画の再生、一時停止操作を行います。

❹早送りボタン

再生中の動画を早送りします。

❺音量調節ボタン（大）

再生中の動画の音量を大きくします。

❻音量調節ボタン（小）

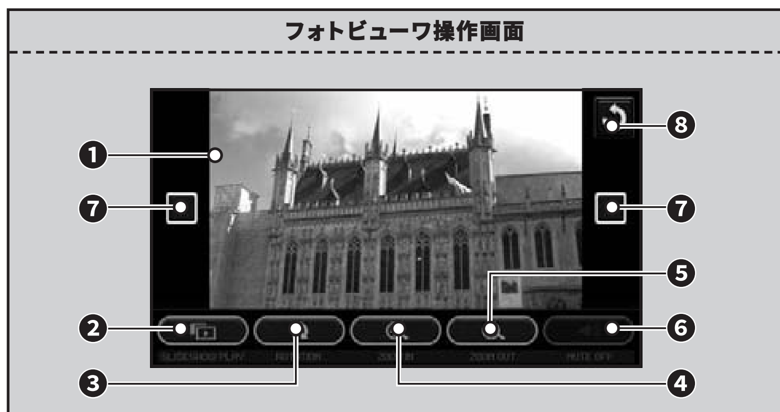
再生中の動画の音量を小さくします。

❼戻るボタン

ファイルリスト表示へ戻ります。

対応ファイル形式：MP4、WMV、H.264

フォトビューワ画面



フォトビューワ操作画面

対応したファイル形式の画像を見ることができるフォトビューワです。スライドショー・ズーム表示機能も備えています。メインメニューのフォトビューワボタンを選択し起動した後、microSDカードに保存した画像ファイルを再生します。

---

❶静止画表示エリア

選択した静止画が再生表示されるエリアです。

❷スライドショーボタン

スライドショーを開始または停止させます。

❸ローテーションボタン

画像を回転して表示させます。

❹ズームインボタン

表示中の画像を拡大表示します。

❺ズームアウトボタン

表示中の画像を縮小表示します。

❻ミュートボタン

ミュージックプレーヤーで再生中の楽曲の音量をミュートします。

❼コントロールボタン

前後の画像へ移動し、表示します。

❽戻るボタン

リスト画面へ戻ります。

対応ファイル形式：JPEG、BMP

本体の基本設定をする

ここでは本体の基本設定を行います。お使いになられる環境に応じて、設定を行ってください。主な設定項目は下記及び次項を参照ください。

設定メニュー画面（1）



設定メニュー画面

メインメニューの設定を選択し設定モードへ切り替えてください。

---

❶画面設定ボタン

本体のディスプレイに関する設定を行います。

❷音量設定ボタン

本体のマスター音量の設定を行います。

❸ Audio Output ボタン

スピーカー出力の設定を行います。

❹次へボタン

設定の残りの項目を表示します。設定項目は全部で 4 項目あります。

❺戻るボタン

メインメニューへ戻ります。

設定メニュー画面



設定メニュー画面（2）

本体の各種設定を行います。

---

❶その他の設定ボタン

タッチロック設定、加速度センサー・電子コンパスのキャリブレーション、システム情報の確認を行います。

※電子コンパスのキャリブレーションは使用しません。

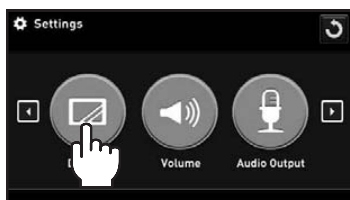
❷次へボタン

本体設定メニュー（１）へ戻ります。

❸戻るボタン

メインメニューへ戻ります。

画面設定



画面設定

画面設定ボタンをタッチし、画面設定を開始します。



明るさ設定

「Day」と表示されている時は昼間の明るさを設定してください。昼夜切換えボタンで「Night」に変更し、夜間の明るさを設定してください。
４月1日～9月３０日：６時 (夜表示→昼表示)、1８時 (昼表示→夜表示)
１0月1日～3月31日：7時 (夜表示→昼表示)、17時 (昼表示→夜表示)



自動バックライトオフ

操作を行っていないときに画面のバックライトを自動でオフにする、オフタイマーを設定します。Neverに設定すると時間が経過してもバックライトはオフになりません。



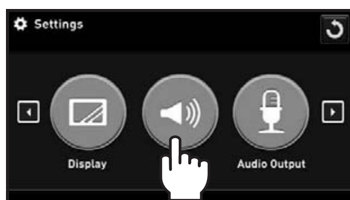
画面のキャリブレーション

画面のキャリブレーションを行います。キャリブレーションはタッチパネルのタッチ位置の精度が低下したと感じたときに行ってください。STARTをタッチするとキャリブレーションが開始しますので、画面の指示に従って設定を行ってください。



よりタッチパネルの精度を高めるためには、指先などよりもスタイラスなどの先端が細いもので設定を行うことをおすすめします。ただし、針や釘などの鋭利な先端形状の金属物での設定は画面を傷つけますので絶対にしないでください。

音量設定



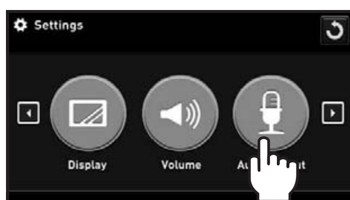
音量を設定する

本体のマスター音量を設定します。マスター音量とは別に、ワンセグテレビやメディアプレーヤーでは個別に音量の設定が可能です。



お使いになられる環境に応じた音量に設定してください。また、ミュートをオンにした場合は、内蔵スピーカーおよびヘッドホン端子からは音声は出力されませんのでご注意ください。

スピーカー出力設定



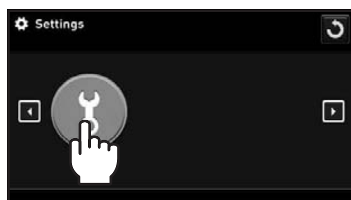
スピーカー出力設定

本体内蔵スピーカーから音声を出力させたくない場合は、スピーカー出力をオフに設定してください。



その場合でもヘッドホン出力からは音声は出力されますので、ヘッドホンでのみ音声を聴きたい場合には、オフにすることで内蔵スピーカーからの音声出力はされません。

その他の設定：タッチパネルオートロック



タッチパネルロック

誤操作防止のため、一定時間が経過するとタッチパネルの入力を禁止するタッチパネルオートロックを設定できます。設定するにはその他の設定をタッチし、タッチパネルオートロック設定を行います。



タッチパネルオートロックを選びます。

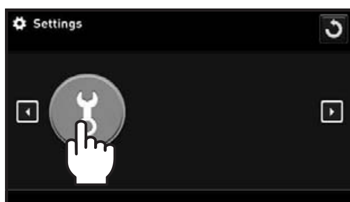


お使いになられる環境に応じて、任意の設定を行ってください。Neverに設定すると、オートロックは行いません。



タッチパネルがロックされた状態で１回、画面をタッチするとタッチパネルロックの解除をするかしないかを表示します。
解除したい場合は「 はい 」をタッチしてください。

その他の設定：センサーセッティング



その他の設定

その他の設定をタッチし、センサーの設定を行います。



加速度センサーのキャリブレーション

加速度センサーは出荷時にキャリブレーションが行われていますが、精度が低下したと感じたらキャリブレーションを行ってください。その他の設定から、センサーセッティングを選びます。



水平な場所へ、画面を上にした状態で設置し、本体が水平になっていることを確認してから、START を静かにタッチしてください。



「キャリブレーションが完了しました」メッセージが表示されれば設定は完了です。画面をタッチして前画面に戻ってください。

※電子コンパスのキャリブレーションは使用しません。

その他の設定：システム情報



システム情報を見る

本体のシステム情報の確認を行うには、その他の設定画面よりシステム情報を選択します。



システム情報画面では、プリインストールされているOSやメディアプレーヤー、各アプリケーションのバージョン情報が確認できます。



※スポーツ＆エコクラスターアプリケーションのバージョン情報はスポーツ＆エコクラスター画面、右上に表示しています。



システムの初期化を行う

本体の設定を初期化し、工場出荷時の状態に戻します。



システム情報初期化画面を選びます。STARTをタッチすると初期化を行います。

地図データベースについて

地図データについて
●この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（©2009 財団法人日本デジタル道路協会）を使用しました。（測量法第 44 条に基づく成果使用承認 07-125P）[2008 年 9 月発行データ使用]

交通規制データについて
● 本製品に使用している交通規制データは、2008 年 9 月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。

電話番号データについて
● 電話番号データは、日本ソフト販売株式会社「Bellemax®」を使用しました。

注意事項
● データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
●この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
●いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

その他©記載
©2009（財団法人）日本デジタル道路地図協会
©2009 INCREMENT P CORP.

オービスデータ・速度警戒エリアデータについて

オービス・速度警戒エリア情報について
●本製品には、2008 年 12 月末時点で、OPTION／SSR 委員会が確認したオービス情報を収録しています。
●本製品には、全てのオービスポイントが収録されているわけではありません。
●本製品にて提供されるオービスポイントなどの情報の正確性、完全性、有用性、特定目的への合致等について、何等の保証をするものではありません。また、理由のいかんを問わず、本情報を利用または利用できなかったことに起因してお客さまに生じたいかなる損害に関し、一切責任を負わないものとします。

お問い合わせ
●新規オービスの設置情報に関するお問合せは下記にお願いいたします。
株式会社三栄書房 OPTION／SSR 委員会
メールアドレス：n_yoshioka@san-eishobo.co.jp

商標・著作権・ライセンスなど

この製品は、主にGPSを利用したナビゲーション機器です。

Windows Media™について

Windows Media™ は、米国 MicrosoftCorporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MP3 について

MP3 とは「MPEG1 Audio Layer 3 」の略称であり、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。営業目的で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細につきましては、http://www.mp3licensing.com をご覧いただき、十分なご確認をされた上で、ご使用ください。

microSD ロゴは、商標です。



QR コードについて

「 QR コード 」は (株) デンソーウェーブの登録商標です。

表示フォントについて

本製品に使用しているフォントは株式会社モリサワから使用許諾を受けており、「 新丸ゴ R 」はモリサワの商標です。

故障かな？と思ったら

◎本体の起動と終了

症状	原因	処置	P
・動作しない。 ・電源が入らない。 ・コントロールユニットの電源確認マークが点灯しない。	・電源ハーネスの配線が間違っている。 ・電源ハーネスのヒューズが切れている。 ・エレクトロタップのロックが閉まっていない、または接触不良を起こしている。	・取付方法に基づいて、＋B、IGN、GND の配線を確認してください。 ・配線を確認後、ヒューズを交換してください。 ・エレクトロタップの配線部分を確認してください。	30 18
・スタンバイボタンを押しても起動しない。	・電源スイッチがオフになっている。	・電源スイッチ（主電源）をオンにしてください。 通常は電源スイッチをオンにしたままスタンバイボタンでオンオフすることをおすすめします。	36
・勝手に再起動する。	・本体起動中にmicroSDカードを取り出した。	・本体起動中microSDカードを取り出すと再起動しますmicroSDカードは本体の電源を切ってから取り出してください。	36
・勝手に終了する。 ・起動と終了を繰り返す。	・電源ハーネスの配線が外れた。 ・電源ハーネスのヒューズが切れた。 ・エレクトロタップのロックが外れ、接触不良を起こしている。 ・外部電源との接続を切った。	・取付方法に基づいて、＋B、IGN、GND の配線を確認してください。 ・配線を確認後、ヒューズを交換してください。 ・エレクトロタップの配線部分を確認してください。 ・外部電源との接続を切り、10 秒以上に操作を行わなかった場合は自動的に本体電源を切ります。	30 18

故障かな？と思ったら

◎本体の起動と終了

・ナビゲーションの自車位置を認識するのに時間がかかるようになった。 ・イグニッションをいれた時、時計表示が合わない。少しすると合う。 ・画面の明るさ設定を行っているのに、イグニッションをオンしたとき、設定と違う明るさになっている。	・内蔵のボタン電池が経時劣化し、ＧＰＳ情報のメモリバックアップができなくなった。	・お買い上げいただいた販売店様へ内蔵ボタン電池検査・修理依頼をしてください。	6

故障かな？と思ったら

◎本体の設定

症状	原因	処置	P
画面が暗い。	画面の明るさを調節していない。	画面設定から明るさを調節してください。	181
一定時間が経つと勝手に画面が暗くなる。	自動バックライトオフ設定をしている。	画面設定の自動バックライトオフ設定をNeverにしてください。バックライトオフ設定が解除されます。	181
タッチパネルの反応が悪い。タッチしたところと離れた場所を認識する。	タッチパネルの認識精度が低下している。	画面設定からキャリブレーションを行ってください。	181
タッチパネル操作ができない。	操作モードがドライバーモードになっている。	ドライバーモードでは10km/h以上で移動中しているとタッチパネルがロックされ操作できません。助手席モードでは移動速度による制限はありません。	36
	タッチパネルオートロックが設定されている。	その他の設定からタッチパネルオートロック設定をNeverにしてください。タッチパネルロックが解除されます。	183
音声・音楽が聞こえない。	音量が小さい。	本体やアプリの音量設定を確認してください。	182
ナビゲーションのときだけ音声の音量が小さい。	本体の設定音量が小さい。	ナビゲーション音声の音量は、本体の音量設定のみがそのまま反映されます。本体の音量設定を調節してください。	182
イヤホンでは音声・音楽を聴けるのに、スピーカーから出力されない。	スピーカー出力設定がオフになっている。	本体のスピーカー出力設定をオンにしてください。	182

故障かな？と思ったら

◎本体の機能：ＧＰＳ測位

症状	原因	処置	P
GPS電波を受信できない。	購入後初めて使用する、または長期間使用しなかった。	見晴らしのよい場所で受信するまでお待ちください。15～20分程度かかることがあります。	28
	内蔵ボタン電池が完全に放電された状態から使用している。	受信するまでに時間がかかることがあります。	28
	物陰など、GPS電波が入りにくい場所へ本体を設置している。	物陰にならない、電波が入りやすい場所へ移動させてください。	28
	車のフロントガラスなど、熱線吸収ガラスや熱線反射ガラス越しにGPS電波を受信しようとしている。	これらのガラスの影響の少ない位置に移動させる。	28
	高層ビル付近や高架道路の下など、GPS電波が届きにくい場所で使用している。	見晴らしのよい場所へ移動してください。	28
	携帯電話など、電波を送受信する機器が近くにある。	原因となる機器からなるべく離してお使いください。	28
	雨、雪、曇天などの悪天候	GPS電波が遮られ、受信しづらくなることがあります。	28
	上空のGPS衛星の配置が悪い。	GPS衛星が上空に少ない状況では受信しづらいことがありますが、時間の経過とともに衛星の配置が変わり、受信状態も改善します。	28

故障かな？と思ったら

◎Sports&Eco Cluster

症状	原因	処置	P
・MicroSDカードがささっていませんの表示を行う。 ・ナビゲーションのあしあとマークデータが保存できない。 ・ＥＣＯ履歴データが保存できない。 ・燃費計算機で入力したデータが保存できない。 ・Sports&EcoClusterのログとれない。 ・Sports&EcoClusterのログとれない。 TRIALができない。 TRIALができない。	・MicroSD カードの容量が減っている。 または保存できる容量が残っていない。	・不要なデータを削除するか、新品の推奨MicroSDカードを購入して挿入してください。	18 64
・車速、エンジン回転数の値がおかしい。 ・「Ｄｅｆｉユニットが接続されていません」が表示される。	・SPORTS&ECO Clusterの Settings画面で車速パルス設定、気筒数設定が適正ではない。 ・通信ケーブルが、本体またはコントロールからはずれかかっている、はずれている。 ・車により純正メーターと指示が違う場合があります。	・SPORTS&ECO Clusterの Settings画面で車速パルス設定、気筒数設定の再設定を行ってください。 ・通信ケーブルの接続を確認してください。 ・４０km/h時に１０km/h以上違う場合は、Defi お客様相談電話に問い合わせしてください。	31 60
・ECO メータのつるが伸びやすい、伸びにくい。	・エコ達成レベルの設定が低い、高い。	・エコ達成レベルを設定しなおしてください。	45

故障かな？と思ったら

◎ Sports&Eco Cluster

症状	原因	処置	P
・ＳＰＯＲＴＳ＆ＥＣＯ ClusterのＴＲＩＡＬモードタイム計測の値がおかしい ０−１００km／h ０−４００m TRIAL	・タイム計測誤差は、±２秒程度あります。 故障ではありません。 ・タイム計測誤差が±２秒以上ある場合は、次のことが考えられます。 •0−100km/h計測の場合: 1)車速・エンジン回転数信号ハーネスの配線が、はずれそうになっている。 •0−400m, TRIAL計測の場合: 1)天候が雨や曇りでＧＰＳの受信状態が悪い。 2)車速・エンジン回転数信号ハーネスの配線が、はずれそうになっている。 3)近くに高いビルや壁があるような場所で計測した。 4)内蔵のＧＰＳ受信機が故障した。	・通信ケーブルの接続を確認してください。 ・天候が悪い場合、ＧＰＳの受信状態が悪くなり誤差が大きくなる場合があります。 故障ではありません。 ・周囲に高い建造物や高架橋のないクローズドコースで計測してください。 ・いずれの場合にもあてはまらない場合は、お買い上げいただいた販売店様へ検査修理依頼を行ってください。	28 30
・MicroSD カードがささっていませんの表示を行う。 ・ナビゲーションのあしあとマークデータが保存できない。 ・ＥＣＯ履歴データが保存できない。 ・燃費計算機で入力したデータが保存できない。 •Sports&EcoCluster のログとれない。 TRIAL ができない。	・MicroSDカードが挿入されていない。 ・MicroSDカードがおかしい。	・別途、推奨のMicroSDカードを購入し、パソコンでフォーマットを行い挿入してください。 ・推奨の MicroSDカードであることを確認してください。 推奨でないものは、推奨のMicroSD カードに交換してください。 •MicroSDカードのフォルダ構成またはデータが破壊している。 バックアップをとり、フォーマットしなおしてください。	36

故障かな？と思ったら

◎本体：加速度センサー

症状	原因	処置	P
加速度センサーの精度が低下している。	キャリブレーションが正しく行われていない。	キャリブレーションは本体の設定のセンサーセッティングから行います。水平な場所に、必ず画面を上にした状態でキャリブレーションを行ってください。	184

故障かな？と思ったら

◎ナビゲーション機能：地図画面

症状	原因	処置	P
実際とは違う場所を現在として表示している。	GPS電波を受信していない。	GPS電波を受信していないときの現在地の表示は、最後にGPS電波を受信した場所になっています。GPS電波を受信すると正しい現在地を表示します。	28
現在地があちこちに飛んで表示されたり、地図が回転する。	GPS電波の受信が不安定になっている。	現在地を正確に測位するのが難しい状況です。見晴らしのよい場所へ移動しGPS電波を受信してください。	28
本体の向きを変えても、画面がタテヨコに切り替わらない。	表示設定が横モード固定または縦モード固定で設定されている。	表示設定メニューより、縦モード切替を自動に設定してください。	152
	横モードにのみ対応している画面を表示している。	画面によっては縦モード表示に対応していないものがあります。	-
現在時刻などのボタンや表示が画面から消えている。	非表示になっている。	地図画面のごみ箱をタッチすると、非表示になっているものが表示されます。画面に戻したいものはタッチして選択すると元の位置へ戻ります。	70 154
特定の業種の企業アイコンが画面に表示されていない。	ランドマーク表示が非表示になっている。	表示設定メニューより、ランドマーク表示の設定を行ってください。	151
実際にはない施設や店舗などが地図上に表示されている。	データの収録時期から実際の状況が変わっている。	データの収録時期より後に生じた変更が反映されていないことがあります。	186
地図色が勝手に変わる。	表示設定の地図色設定が自動に設定されている。	自動に設定されているときは18時以降は夜モードに切り替わります。変更したくない場合は昼固定または夜固定を選択します。	151

故障かな？と思ったら

◎ナビゲーション機能：ルート設定

症状	原因	処置	P
ルート探索画面に経由地追加ボタンがなく、経由地を設定できない。	目的地が設定されていない。	目的地を設定すると、経由地追加ボタンが画面に表示されます。	99
ルート探索モードの一部または全部が選択できない。	移動手段・ルート表示方法で、徒歩・自転車モードまたはラリーTモード・アローTモードを選択している。	徒歩・自転車モードでは、ルート探索モードはオススメまたは距離優先から選択します。ラリーTモード・アローTモードはルート探索を行わないため、ルート探索モードはありません。	103
自宅へのルート探索ができない。	自宅登録が行われていない。	自宅登録を行わないと、自宅へのルート案内はできません。自宅が現在地になっているときか、地点検索を行って、地点ポップアップメニューから自宅位置を表示し、自宅登録を行ってください。	75 95

故障かな？と思ったら

◎ナビゲーション機能：ルート案内

症状	原因	処置	P
ルート案内画面に案内情報ウィンドウが表示されない。	表示設定の案内優先表示が、ルート情報優先に設定されている。	案内方向優先に設定してください。	112 150
青看板（一般道案内標識）が表示されない。	表示設定で青看板表示を行わないよう設定されている。	表示をするよう設定してください。	114 152
交差点拡大図が表示されない。	表示設定で交差点拡大図表示を行わないよう設定されている。	表示をするよう設定してください。	116 152
	次案内表示に縮小されて表示されている。	次案内表示をタッチすると、案内ポイントに差し掛かったときに交差点拡大図が表示されます。	117
ハイウェイマップが表示されない。	表示設定でハイウェイマップ表示を行わないよう設定されている。	表示をするよう設定してください。	154
	次案内表示に縮小されて表示されている。	次案内表示をタッチすると、ハイウェイマップを表示します。	119
有料道路や高速道路にいるのに、画面上では並行する一般道にいる。	測位誤差などにより起こる現象。	地点ポップアップポップアップメニューより、別道路に切り換えを選択すると、変更することができます。	111

故障かな？と思ったら

◎ワンセグテレビ機能

症状	原因	処置	P
操作できない。	操作モードが『ドライバー』で設定されている。	操作モードを助手席モードに切り替えると操作できます。	36
ワンセグテレビを受信できない。	チャンネルスキャンを行っていない。	チャンネルスキャンを行って、受信できる放送局を探索してください。	168
	ワンセグアンテナを収納したままになっている。	ワンセグアンテナを引き出してご使用ください。	166
	放送エリア外で受信しようとしている。	一部エリアでは未放送の地域があります。	168
ワンセグテレビを録画できない。	microSDカードが装着されていない。	新品の推奨microSDカードを購入して挿入してください。	-
録画した番組が途切れている、一部しか録画できていない。	受信状態が悪いときに録画した。	電波が途切れているときに録画すると、受信できなかった部分をスキップして録画します。このため、実際の放送時間より録画時間が短くなることがあります。	171
録画した番組を再生できない。	番組を録画したmicroSDカードが装着されていない。	本体のチャンネルリストで表示されるのは録画履歴です。履歴に対応する番組データがmicroSDカードにないと再生ができません。番組を録画したmicroSDカードを装着してください。	-
	他の機器で録画した番組を再生しようとしている。	他の機器や、同じ製品であっても他の本体で録画した番組を再生することはできません。	172

故障かな？と思ったら

◎メディアプレーヤー機能

症状	原因	処置	P
操作できない。	操作モードが『ドライバー』で設定されている。	操作モードを助手席モードに切り替えると操作できます。	36
音声・音楽、動画、画像を再生できない。	microSDカードが装着されていない。	再生したいデータを収録したmicroSDカードを本体へ装着してください。	-
	microSDカード内のディレクトリに正しく収録されていない。	対応した名前のフォルダに正しく収録しないと、本体で再生ができません。PCなどを使ってただしいフォルダに入れ直してください。	20
	対応していないファイル形式のファイルを再生しようとしている。	対応ファイル形式と、再生しようとしているファイル形式を確認してください。	20



Defiお客様相談室／〒940-2141　新潟県長岡市藤橋1-190-1
【受付時間】9:30～12:00／13:00～17:00（土･日曜、祭日、当社休日を除く平日）
【電話番号】(03)3835-3639　　【FAX番号】(03)3834-8116
【Defi Webサイト】　www.nippon-seiki.co.jp/defi/i

製造元：(本体) 株式会社エディア Made in China
(ﾕﾆｯﾄ) 日本精機株式会社 Made in Japan
販売元：日本精機株式会社

'10.01-2